

十二年硫化染料ヲ撰定セシ以來紺染トシテノ優等品ノミヲ應用シ其ノ成績歴々見ルベキモノアリト  
ス且福野染色株式會社創立以來染色統一セラレ大ニ信用ヲ博スルニ至レリ

岡山縣

本縣ハ備前織物及中備物産ノ二同業組合ヨリノ出品ヲ主トシ邑久上道其ノ他ヨリ亦多數ノ出品アリタ  
リ、備前織物組合ノ出品ニ係ルモノハ近來長足ノ進歩ヲ呈セルモノニシテ殊ニ製織ノ技術ニ於テ又染  
色ノ方法ニ於テ大ニ改善セラレタルヲ認ムルト共ニ價格亦相當ニシテ他ト競争スルノ資格ヲ具備スル  
ニ至レルモ恨ムラクハ縞柄ノ撰擇ニ於テ意ヲ缺キ未ダ一地方ノ需用ニ適應スルニ過ギザルノ誹アルコ  
トナリ當業者將來心ヲ柄樣ノ改良ニ傾ケ廣ク需用ヲ喚起センコトヲ望ム同組合ノ小倉袴地ハ全國ニ於  
テノ主産地ナル丈ケ織込佳良確ニ他地方ニ比シ一頭地ヲ拔ケルノ感アレドモ從來ニ比シ別ニ進歩ノ形  
跡ヲ認メズ、中備物産其ノ他ニ至リテハ前者ニ比シ一籌ヲ輸スルモノニシテ改良ノ余地多ク存スルヲ  
見ル

廣島縣

本縣ハ縞木綿出品中點數ニ於テ第二位ヲ占メ福山縞ヲ主トシ沼隅郡廣島市其ノ他ヨリノ出品モ少カラ  
ズ概シテ品質一定シ價格低廉染色技術共ニ亦一段ノ進歩ヲナセルモノアリ、然レドモ柄合ニ至リテハ  
苦心ノ跡歴然タルモ未ダ完全ノ域ニ達セザルモノニシテ製織後ノ所理恰當ヲ缺ケルハ今後改良スベキ

ノ點ナリトス、

染色堅牢度試驗成績表

産地	品名	出品人	價格	染色試驗成績						
				溫湯	石鹼	曹達	酢酸	乾摩	擦濕摩	日光
廣島縣深安郡	縞木綿	兒玉ヨシ	一、五〇〇	一	五	四	五	三	四	四
同	同	松本左一	二、八五〇	一	四	三	三	二	三	四

山口縣

本縣ハ廣島ニ次ギテ多數ノ出品アリ其ノ大部分ハ周防織物同業組合地區内ノ出品ニ係リ一種ノ特色ヲ  
有シ組織染色共ニ佳良ナルモノ多ク且近來組合ノ監督獎勵等ニヨリ品位稍一定セルト價格ノ比較的  
廉ナルトハ大ニ賞揚スルニ足ルトハ雖柄合ノ撰擇ト整理ノ方法ニ至リテハ猶幾多ノ研究ヲ要ス殊ニ縞  
絲ノ染色ハ地絲ニ比シ用意周到ナラザル缺點ト其ノ色相野鄙ナル嫌アリ望ムラクハ更ニ社會ノ進運ニ  
鑑ミ意匠ニ整理ニ將タ染色ニ技ヲ練リ術ヲ磨キ以テ一大發展ヲ遂ゲンコトヲ次ニ小倉類ハ優良ニシテ  
進歩ノ形跡ヲ認ムルモ概シテ手觸ノ粗硬ナル缺點アリ無地織ハ價格低廉ナレドモ技術色相共ニ甚ダ拙  
劣ニシテ經斑、織段著シク紺色ハ稍黒キニ失ス

染色堅牢度試驗成績表

產地	品名	出品人	價格	染色試驗成績					
				溫湯	石鹼	曹達	酢酸	乾摩擦	濕摩擦
山口縣大島郡	瓦斯縞	岡村仁太郎	一、二〇〇	三	三	二	二	二	三
同玖珂郡	縞小倉	美濟堂	四、七〇〇	二	一	二	一	二	一

山口縣機業狀況一斑

一、機業ノ趨勢並ニ現況 本縣產出ノ織物種類ハ縞木綿、木綿縮、蚊帳地、「タオル」等ニ大別ス  
 縞木綿類ハ大島、玖珂、熊毛ノ三郡ヲ以テ其ノ產地トシ同業組合ヲ周防織物同業組合ト稱セリ  
 縞木綿ハ近キ數年前マデハ農家子女ノ副業トシテ各戸ノ製造ニ係ルモノ其大部ヲ占メシモ近時從來  
 ノ藍染業者又ハ仲買商等織元トナリ出機制大ニ行ハル、ニ至リ又一轉シテ工場組織漸ク行ハレント  
 スルノ趨勢ヲ呈シ足踏機又ハ力織機ハ日ヲ逐フテ其ノ數ヲ増サントス  
 上述ノ如クナレバ近來ノ製品ハ大ニ改良ノ跡ヲ示シ其ノ産額亦増加ノ傾キアリ  
 縞木綿ニ用フル紺絲ハ大抵硫化染料ノ下染ニ藍ノ上掛ヲ施シタルモノ用ヒラレ時トシテハ藍ヲ以テ  
 下染ヲナスモノナキニアラス、  
 木綿縮ハ同業組合ヲ岩國縮同業組合ト稱シ其ノ産出地ハ玖珂郡ノ一部及ビ熊毛郡ノ一小部ナリ廣中  
 縮ハ三十五年以來ノ創製ニ係リ漸次發達ノ域ニアレドモ未ダ長足ノ進歩ヲ見ルニ至ラズ

本縣四十年度ノ織物産額ハ綿織物八十萬六千四百五十四圓紺綿交織物五萬六千一百〇一圓麻織物二十  
 五萬五千九百九十五圓ナリ

二、周防織物同業組合 大島、玖珂、熊毛三郡ヲ區域トシテ柳井町ニ事務所アリ全地織物ノ起源ハ  
 遠ク大内時代ニアリ舊幕時代ニ於テ名聲ヲ博シタルモ明治十四五年頃ヨリ粗製濫造ノ弊ヲ生ジ十九  
 年頃其ノ極度ニ達シ爲メニ信用地ニ墜テ商店ハ舖ヲ閉ヂ工場亦機械ノ聲ヲ聞カザルニ至ル茲ニ於テ  
 縣ハ當業者ニ警戒ヲ加ヘ彼等又覺醒スル所アリ廿六年縣令ノ發布ニヨリ三郡木綿織物同業組合ヲ組  
 織シ專ラ品質ノ改良ヲ計リ成績漸ク著ハレ産額ノ増加ヲ見ル卅一年更ニ重要物産組合法發布ニヨリ  
 今ノ名ニ改メ事務所ノ一部ニ機業傳習所機業模範所及標本陳列所ト稱スルモノヲ附設シ技手ヲ置キ  
 製品ノ検査當業者ノ指導獎勵等ニ努力シツ、アリ  
 三、縣ノ指導獎勵、縣ノ從來斯業獎勵ノ爲ニ採リタル方法トシテハ(一)同業組合ニ對シテ補助金下  
 附、(二)巡廻教師ノ設置、(三)染織講習所ノ設立及ビ郡設傳習所ノ補助等ニシテ今其ノ主ナル事項  
 ヲ摘記スレバ組合補助金トシテハ明治二十三年木綿織物組合ニ於テ三郡聯合改良染色傳習所ヲ開ク  
 ニ當リテ之ニ對シテ百五十圓ヲ補助シタルヲ始メトシ爾後五ヶ年間毎年三百圓ヅ、補助ヲ與ヘ廿九  
 年ニハ朝鮮向白木綿獎勵費トシテ千圓ニ増額シタリ其他年々多少ノ増減アリタルモ當時ハ七百圓ヲ  
 補助シツ、アリ、尙此他綿縮組合ニ向テモ年々補助アリ、明治三十三年ニハ染色巡廻教師ヲ置キ翌

年機業巡迴教師ヲ置キ三十五年ニ至リテ染色講習所ヲ設置シ斯業ノ改良發展ヲ期圖セリ  
 染織講習所當初ノ目的ハ主トシテ生徒ヲ養成シ家内工業トシテ斯業ヲ汎ク縣下ニ普及セシムルト同  
 時ニ從來ヨリノ織物ノ改良發展ヲ期スルニアリシナリ然ルニ近來斯業界ノ狀態ハ各戸製造ヨリ漸次  
 出機制トナリ又工場組織ニ移ラントスルノ傾向アルニ鑑ミ本所モ次第ニ試驗事業擴張ノ必要ヲ認め  
 益々之ニ重キヲ置クノ方針ニ據リ機具ノ改善整理試驗其ノ他直接間接ニ其ノ指導獎勵ニ努力シツ、  
 アリ

和歌山縣

本縣ニモ亦多數ノ出品アリテ染色ノ改善ニ於テ稍見ルベキモノアリト雖未ダ幼稚ノ域ヲ脱スル能ハザ  
 ルモノニシテ柄合ニ於テハ勿論製織整理ノ技ニ於テ今後急速ノ改良ヲ遂ゲザレバ四圍ノ現況ニ照シ單  
 ニ地方用タルニ甘ゼザルベカラズ當業者宜シク時勢ノ推移ニ鑑ミ之ニ應ズル製品ヲ販出スルノ覺悟ナ  
 カルベカラザルナリ

染色堅牢度試驗成績表

産地	品名	出品人	價格	染色試驗成績						
				溫湯	石鹼	曹達	酢酸	乾摩擦	濕摩擦	日光
和歌山縣伊都郡	綿	小島鹿之助	一、六〇〇	一	三	二	一	四	四	一

同	同	同	同	一、五〇〇	二	二	二	三	四	一
同	西牟婁郡	同	同	松木トヲエ	一、四五〇	三	一	二	二	二
				松下岩太郎						

徳島縣

本縣ノ出品ハ阿波織ヲ主トシ普通縞無地織小倉等之ニ次グ縞ハ一時衰頹ノ悲境ニ陥リシガ近時當業者  
 ノ奮發勉勵ハ縣當局者ノ指導獎勵ト相待テ改良進歩ノ實ヲ擧ゲ大ニ發達ノ氣運ニ會シ需用日ニ増シ産  
 額月ニ加ハリ昔日ノ盛況ヲ凌駕スルニ至レリ故ニ今回ノ出品中ニハ佳品ノ賞揚スベキモノ極メテ多ク  
 殊ニ柄合及ビ整理ノ趣向一般ニ甚ダ巧妙ニ赴ケルヲ認ム然レドモ未ダ改良ノ全蹟ヲ擧ゲタリト爲スニ  
 足ラザルヲ以テ今後益々奮勵シテ將來ノ大成ヲ期スベシ縞以外ノ織物ニ至リテハ尋常一様ニシテ特ニ  
 評騰スルノ要ナシ

染色堅牢度試驗成績表

産地	品名	出品人	價格	染色試驗成績						
				溫湯	石鹼	曹達	酢酸	乾摩擦	濕摩擦	日光
徳島縣徳島市	阿波	織佐々木次郎		一	一	一	一	二	一	三
同	同	美馬儀一郎		一	三	五	一	二	三	五

徳島縣機業狀況一斑

一、阿波染織同業組合 全組合ハ輸出羽二重ヲ除クノ外縣下ノ織物製造業、織物販賣商、織物仲買商、織物原料染色業者、染絲販賣業者ヨリ成リ營業上ノ弊害ヲ矯正シ當業者ノ利益ヲ増進スルノ目的ヲ以テ時勢ノ進運ニ併セ屢々定款ヲ改正シ内規ヲ釐革シ斯業ノ發展ニ勉メ居レリ技術部ニハ目下技師技手ヲ置キ一面當業者指導ノ任ニ當リ一面不正品取締ヲ嚴ニシ尙試驗場ニ於テハ常ニ進歩的方針ヲ以テ各種ノ染織試驗ヲナシツ、アリ

二、織物ニ對スル縣ノ保護獎勵 本縣ハ明治卅二年度ヨリ織織事業ノ獎勵ヲ試ミ縣費ヲ以テ久留米ヨリ教師ヲ聘シ縣下各郡市ニ傳習場ヲ設置セシメ志望者ヲ集メテ傳習ヲ行ヒ爾來繼續シテ明治三十九年度ニ至レリ本事業ハ一般ニ副業トシテモ亦專業トシテモ恰好ノ産業ナルノミナラズ其ノ染料ハ本縣藍ヲ用フルモノナルガ故ニ他ノ緋生産地ニ比シ生産費ヲ減ジ市場ニ供給シ得ルノ便アルガ故ニ大ニ之ヲ獎勵シ斯業ノ發展ヲ期シツ、アリ

本縣蠶絲業ノ發展ニ伴ヒ明治三十六年羽二重ヲ起スノ有利ナルヲ認メ羽二重補助規定ヲ設定シ石川縣ヨリ教師ヲ雇聘シ各工場ヲ巡廻指導セシメ同四十年同業組合ノ組織成ルニ及ビ同組合ニ補助ヲ與ヘ居レリ

明治三十九年度ニ於テ織物製織ノ下拵即絲線整理等ヲ共同地ニ經營セシムルハ縣下織物業ノ進歩ヲ促シ一ハ絲線整理等ヲ賃仕事トシ製造家ノ手ヲ離レシムルヨリ生ズル惡弊ヲ防止セントシ動力下拵

機械補助規定ヲ定メ二ヶ年間之ヲ實行シ大ニ動力機械ノ發達ヲ促セリ

人造藍ノ市場ニ供給セラレ尙他種ノ人造色素中漸次靑藍ニ代用スベキモノ、發見セララル、ヲ見テ根本的ニ科學的試驗ニヨリ是等染料ノ適否優劣ヲ精査シ其ノ眞價ヲ知り以テ本縣染織事業ノ後來ノ覺悟ヲ定ムルコト必要ニシテ且急務ナルヲ認メ徳島市美馬儀一郎ハ明治三十五年私費ヲ投ジ染色試驗場ヲ設置シ器械ヲ備ヘ技師ヲ聘シ廣ク縣下染業者ノ疑問ヲ解決シ試驗ノ結果ハ之ヲ當業者ニ公示シ技師ヲシテ實地指導ノ任ニ當ラシメタルハ本縣織物界ニ與ヘタル利益ハ蓋シ尠少ナラザルベシ、明治三十九年阿波染織同業組合ニ於ケル染料使用ノ改正定款ノ實施セララル、ニ至リ同試驗場ハ當初ノ目的ヲ達シタルモノトナシ試驗場ノ建物機械器具ヲ擧ゲテ之ヲ染織同業組合ニ寄附シタリ現今ノ染織同業組合ノ試驗場是ナリ

縣立工業學校ハ明治三十七年ノ創設ニシテ本科ニ於テハ染織木工ノ適良ナル技術者タルベキモノ、養成ヲナセリ然ルニ本縣ノ織物業ハ未ダ家内の工業ニ屬シ其ノ設計準備製織等機業家ノ主婦若クハ子女ノ手ニヨリテ經營セララル、モノニシテ世運ノ進歩ニ伴ヒ織物事業ヲ向上セシムルノ能力ニ乏シク從ツテ市場ノ競走ニ於テ遺憾少シトセズ之ガ改良上進ヲ計リ需用ノ變遷ニ應ズベキ製織ヲナシ、縣下織物業ノ發展ニ資センガ爲メ毎年短期(三ヶ月)織物生産地ニ臨時教場ヲ開設シ職員ヲシテ出張教授ヲナシ機業家ノ主婦子女又ハ工女ニ機業上ノ智識ヲ與ヘ已ニ郡市ヲ通シ第五回ヲ終ヘ其ノ成績

頗ル見ルベキモノアリ

三、織機ノ改良 本縣ノ織物ハ手工業ヲ以テ其發達ヲ遂ゲタルコト他ノ産地ト異ナルナシ、然ルニ近時ニ至リ賃銀ノ關係又ハ縣當局或ハ組合等ノ保護獎勵ノ爲メ足踏式織機ノ應用普及シ動力織機ヲ使用スル工場續出シ其製品ノ面目ヲ革メツ、アルモノ尠カラズ現今足踏織機ノ數約一千臺動力機ノ數約八百ニ及ブ徳島市堺紡績分工場、美馬、福井、長尾、中山、加藤等ノ諸工場、三好郡、大武工場、山林工場等何レモ動力織機ヲ使用シ良好ノ製品ヲ得ツ、アリ將來是等ノ經驗ニヨリ益々其ノ勃興ヲ見ルベキヲ疑ハズ尙那賀郡大和工場ハ動力織機ヲ利用シ「ガーゼ」ヲ製織ヲナシ其ノ結果頗ル佳良ナリ

四、各種綿織物産額

明治四十年度

品	種	反	數	價	格
織	織		一一八、三〇八		九二、四四四
綿	色織		三九一、七三二		三五七、〇七二
綿	「フランネル」		二四〇、五八六		二〇八、三六三
紺	紺		七一、三三九		二八八、七〇九
小	紺		九九、四四一		二一二、九七二
倉	紺		一八、七六一		四六、九〇三

白 木 綿

一八四、九六六

九五、四六一

愛媛縣

本縣ハ比較的多數ノ出品ヲナシ前回ニ比スルニ稍々進歩ノ形跡アリ染色及ビ意匠ニ於テ間々佳良ノ存スルヲ認ム然レドモ大體ニ就テ之ヲ評スレバ未ダ製織ノ技幼稚ニシテ他ノ主要ナル産地ノ製品ト比較スベカラズ殊ニ製品ノ均一ト整理ノ恰當ヲ缺ケルハ大ニ遺憾トスル所ナリ當業者宜シク時勢ノ趨向ニ鑑ミ一層ノ刷新ヲ圖ルベシ

染色堅牢度試験成績表

産地	品名	出品人	價格	染色試験成績						
				溫湯	石鹼	曹達	酢酸	乾擦	濕擦	日光
愛媛縣	越智郡瓦	斯 縞山本	利吉	一、三五〇	一	二	三	三	二	二
同	同	縞 木	綿今井	佐太郎	二、〇〇〇	二	二	四	三	三
同	神居郡同	高橋梅	太郎	一、二〇〇	一	二	一	一	三	三

愛知縣

本縣ハ今次共進會ノ開催地タリシ爲メ出品多數ニシテ品種亦多様ナリ流石ハ本邦中樞ノ綿織産地ナル丈ケ其意匠組織ニ變化多キ技術ノ巧妙ナル誠ニ感賞ノ値アリ、然レドモ仔細ニ之ヲ觀察スルトキハ開

々染色ノ不完全ナルモノ柄様ノ陳腐ナルモノ又價格ノ當ヲ得ザルモノ之ナシトセズ且同一種類ノ織物ニテモ各自ノ好ム所ヲ製造スルガ如ク品質區々各組合間ニ何等ノ脈絡ナキヤノ疑フベキモノアルハ頗ル遺憾ナリ、出品中尾西組合ハ最多數ヲ占メ普通織物、瓦斯縞、双子、縞「セル」、寧波布、被面等ニシテ品質佳良柄合ノ時好ニ適シタルモノ尠カラズ殊ニ細絲物ハ近來ニ於ケル技術一層進歩セルモ太絲物ニ至リテハ遠州縞ニ一籌ヲ輸スルガ如シ又同組合其他ヨリ出品セル縞「セル」地ハ配色意匠優雅ニシテ製織上ノ技亦巧妙ニシテ外觀觸感共ニ本「セル」ニ彷彿タルモノアリ名古屋、丹羽、葉栗、愛三、其ノ他ノ組合地區内ノ出品モ前者ト大同小異ニシテ其中本縣ノ特産トモ稱スベキ黒八ハ益々發展セル如クナルモ概シテ經糊ノ施法不良且經筋ノ甚シキモノアリ宜シク改善ヲ要ス三河組合ノ縞物ハ柄行素朴製織亦拙劣概シテ發展ノ跡ナシ

染色堅牢度試驗成績表

產地	品名	出品人	價格	染色試驗成績				
				溫湯	石鹼	曹達	酢酸	乾擦
愛知縣中垂郡節瓦	斯加藤廣三郎	一、九〇〇	三	三	四	二	一	三
同 同	斯大喜商店	四、五〇〇	二	一	二	二	二	一
同 同	縞日比野長十郎	一、三〇〇	一	二	二	一	四	三
同 同	縞木綿角田清五郎	九五〇	一	三	四	一	三	四

同海西郡同

加藤甚太郎

、九八〇

一

二

三

二

二

二

二

二

尾西織物同業組合業況一斑

本組合ノ業務ノ趨勢及内地向織物ノ沿革等ハ屢々諸種ノ報告書ニ記載サレシ所ナルヲ以テ茲ニハ其等ノ事項ヲ省略シ輸出織物ノ沿革及全組合ノ採レル織物検査方法等ノ概要ヲ參考ノ爲メ記述セントス

臺灣輸出物 本組合ニテ臺灣ニ輸出セラル、モノハ尺一、尺二、尺三、ト稱スル無地白木綿ナリ之ハ明治二十九年頃海東郡津島村ノ三輪宗輔臺北地方ヲ視察シ白木綿ノ輸出ヲ思ヒ立チ之ヲ試ミタリ然ルニ經驗ニ乏シク注意ニ缺クル所アリ、加之銀塊價格ノ高低ハ變化極リナキヲ以テ常ニ其ノ價格ニ變動ヲ及ボスノ不便等アリテ永續スルニ至ラザリキ其ノ後明治三十二年頃津島町ノ大橋助左衛門及ビ富永新六ノ輸出品ニ關シ視察ノ必要ヲ感ジ個人トシテ其ノ途ニ上リ臺北彰化等ヲ視察シ其ノ結果試ニ三四十棚ノ輸出ヲナセシガ別ニ初メヨリ支店ヲ設クルノ設備整ハザルヲ以テ運送店ニ托シ置キ僅ニ一小店舖ノ準備ヲ了ヘテ開店セシニ意外ノ結果ヲ見ルニ至レリ此ニ於テ遂ニ臺北ニ本店ヲ設ケ彰化ニ支店ヲ設置シテ尺一、尺二、尺三、ノ白木綿ヲ販賣セリ然レドモ初メ一兩年ハ收支ノ償ハザルモノアリシモ本支店ノ繼續ヲ維持セシニ順次良好ナル傾向ヲ見ルヲ得タリ明治三十五年頃富永新吾ハ臺南ニ百棚ノ輸出ヲ試ミ店員ヲ派シテ販賣セシメタルニ是レ亦好果ヲ收ムルニ至レリ斯クシテ是

等ノ諸氏ヨリ續々輸出ヲナセルヲ見テ津島町ノ商人等之ニ倣フテ輸出ヲナシ彼地ニ於テ買辦ヲ營ム  
モノアルニ至リ輸出ノ盛況ヲ來セリ次デ白綿ノ輸出セラル、アリ、各機業家ハ彼地ノ商人ト直接取  
引ノ約ヲ結ビテ其製造ニ從事スルモノアルニ至リ愈々活氣ヲ呈シ斯業益々盛ニシテ現今百五十萬本  
ヲ算スルノ盛況ヲ見ルニ至レリ

朝鮮方面輸出物 現今朝鮮定ト稱セラレ盛ニ彼地ニ輸出セラル、白木綿ハ其ノ販路ヲ彼國ニ開ケル  
コト今ヲ距ルコト遠カラズ明治二十二年頃第一銀行支配人伊藤與七ナル人釜山、元山地方視察ノ結  
果白木綿輸出ノ利アルベキヲ見其ノ德源ニヨリ海東郡津島町伊藤長七ハ始メテ朝鮮へ白木綿ノ輸出  
ヲ試ミタルニ果シテ好果ヲ收メタリ是ヨリ輸出ノ端緒開ケ行キシニ其ノ後大坂市ノ商人五百井長平  
及ビ日印貿易合資會社ノ朝鮮ニ支店ヲ設置スルニ及ビ伊藤長七ハ之ヲ好機トシ同店ニ托シテ盛ニ輸  
出ヲナシ其ノ販路ノ擴張ヲナセリ然シテ其ノ産額ノ如キ十七八萬疋ヲ算スルニ至レリ明治二十七八  
年戰役後前ノ伊藤長七ハ個人トシテ朝鮮視察ノ途ニ上リ其ノ結果益々輸出ノ擴張ヲナシ明治三十三  
四年頃ニ至リテハ獨リ津島町ノミナラズ附近ノ商人一般ニ之ニ從事スルニ至リ輸出品ノ製産額頗ニ  
増加ノ傾向ヲ示セリ明治三十五年ニ至リ始メテ納戸無地ヲ輸出セシニ甚歡迎ヲ受ケ全輸出品ノ三分  
ノ一ヲ占ムルニ至レリ而シテ輸出ノ總額二十三萬疋ヲ計上スルノ概況ナリシガ一兩年ノ増加ハ四  
十萬ヲ算スルニ至レリ明治三十九年ニ至リ縞白木綿ノ輸出ヲ始メ以テ現今ニ至レリ

支那方面輸出物 輸出織物ニ至リテハ中島郡北部ノ機業家其産出ノ細物ヲ以テ之ヲ製セントスルモ  
ノナキニアラザリ然レドモ如何ナルモノヲ製スベキカニ就テハ明カナル方針ヲ取ルノ途ニ窮シ  
ツ、モ試験的ニ支那地方就中上海方面ニ輸出ヲ試ミタリキ是レ明治十年頃ノコトニシテ爾來引續キ  
輸出ノ途ヲ絶タザリキ、然レドモ其ノ名ハ輸出ナルモ其ノ實甚ダ微々タルモノニシテ一般機業家ニ  
對シテ影響ヲ與フルコト大ナル能ハザリキ、日清戰役後羽二重縞(絹綿交織)ノ輸出ヲ試ミシニ戰捷  
ノ餘威ト世ノ趨勢トハ稍此方面ニモ好況ヲ呈シ殊ニ上海及ビ中部支那ハ盛ニ此織物ヲ歡迎シ機業家  
ヲシテ大ニ望ヲ囑セシムルニ至レリ、其ノ最盛ニ輸出シタルハ明治三十年及ビ三十一年ノ頃ニシテ  
輸出ノ額百萬反ヲ超過スルノ盛況ヲ呈スルニ至レリ、此ニ於テ各機業家ハ一道ノ光明ヲ此方面ニ認  
メタルヲ喜ビ産出甚ダ努メ輸出品ノ前途極メテ好望ナリシニ不慮ノ點ヨリ一大頓挫ヲ蒙ルルニ至レ  
リ、即チ産出ハ盛ナルモ彼等ノ嗜好ト販路ノ事情ニ暗キヲ以テ徒ニ奸商ノ爲メニ謀ラレ利益ハ次第  
ニ彼等奸商ノ懷ヲ暖ムル而已ニテ機業家ノ利益次第ニ薄ク從ツテ粗製濫造ノ弊ニ陥リ加之染色ノ不  
完全ハ益々此不況ヲ大ナラシメ價格ハ次第ニ下落シテ復立ツ能ハザルニ至ラシメタリ畢竟這般ノ失  
敗ハ彼地ノ事情ニ暗ク販路ノ模様不案内ナルノ結果ニ外ナラズ此時ニ當リ之ガ挽回ノ策ハ速ニ彼地  
ノ狀況ヲ詳ニシ彼ノ嗜好ニ投ジ彼ノ要求ニ應ズルノ製品ヲ産スルニアルノミ時恰モ第五回内國勸業  
博覽會織物審査員タリシ起町ノ渡邊芳次郎ハ翌三十六年其ノ専門ノ織物ニ關シ視察ノ命ヲ受ケ農商

務省ヨリ派遣セラレテ清國ニ向フ同人ハ此命ヲ好機トシ備ニ彼地ノ狀況ヲ視察シ當地方輸出品ノ不況ヲ救済セシトシ普ク調査ノ歩ヲ進メ微細ニ彼地ノ狀況ヲ視察シ將來執ルベキ方針ニ於テ研究甚ダ努ム同人ガ視察セシ地方ハ支那内地一般ニ涉リシモ北方ハ加工ノ度低キ手厚モノヲ要求スルヲ以テ細物業ニ關係スルコト比較的少ナケレバ主力ヲ中部及ビ南部支那ニ注ギ以テ需用ノ狀態消費ノ度合嗜好ノ品質外國品トノ比較等諸種ノ方面ヲ視察シテ歸朝セリ然シテ同人ガ視察ノ結果ヲ農商務省ニ報告シタル一部ヲ抄録センニ『清國ニ於ケル本邦織物販路ノ頓ニ不振ナル又我ガ織物ノ信用ヲ失墜セシ事等ノ各地視察ノ現況ニ鑑ミ慨歎スルニ餘リアリ是レ本邦斯業者ノ清國內地需用ノ狀態ヲ知悉セズシテ單ニ本邦ニ在留スル清人ノ好商輩ニ依リ欺騙的行爲ノ遂行セラレタル結果ハ茲ニ全然不信用ヲ買ヒ支那本國ニ於ケル清商及ビ需用者ノ一ニ忌厭スル所トナリ日本産織物ノ商標ハ恰モ不正不良ノ品タルヲ證間スルガ如キ感念ヲ抱カシムルニ至レリ之レ畢竟我貿易業者及ビ製造家ノ大部ハ小資本家ナルノミナラス多クハ背徳ノ行爲ヲ願ミザル小人輩ノ從事スルト又斯業ノ取引ガ多ク間接取引ニシテ直接取引ヲ勵行セザルニヨリ相互ノ狀況ヲ覺知スルニ由ナク隨テ販賣者及ビ製造者ノ注意スベキ缺點ヲ發見スルコトナクシテ只在留清商ノ注文スル價格ニ應ジ格向ナル品ヲ製織供給スルモノナレバ自然品質ノ粗製濫造ニ傾キ又當業者ノ大多數ハ清國向輸出織物ト云ヘバ品質ノ如何ニ拘ハラズ廉品ヲ製産セザレバ彼ノ嗜好ニ適セザルモノナリト誤信シ敢テ反省ヲ試ミザルニ起因スル

等此等ノ弊害其影響スル所大ナリ、然シテ清人ハ其實決シテ價格ノ低廉ナル粗惡品ヲ好愛スルガ如キ愚ヲナスコトナク最モ經濟ヲ重シ實用ヲ賞揚スルコト遙ニ本邦人ノ右ニ出ヅ故ニ將來該地ニ輸入ヲ圖リ販路ヲ求メンニハ品質ノ堅牢ニシテ永久ノ使用ニ堪ユベキ組織ニ深ク注意セザルベカラズ而シテ我ガ輸出織物ノ擴張ヲ計ランニハ輸出品ニ對シ最モ嚴重ナル検査ヲ施シ苟シクモ信用ニ危害ヲ與フベキ粗製品ノ海外ニ濫出ヲ禁ジ直輸出ヲ獎勵スルヲ得策トス云々』ト同人ハ率先之ガ實行ヲ期シ歸朝ノ後職工ヲ督シテ幅廣モノヲ織ラシメ東洋膠布ト命ジテ輸出ヲ試ミシニ甚ダ彼國人ノ嗜好ニ投ジ盛ニ歡迎ヲ受ケ豫期以上ノ好果ヲ收ムルヲ得タリ之ガ爲メ一時悲境ニ沈淪セシ輸物モ再ビ盛運ノ曙光ヲ見ルニ至リ機業家ノ之ニ從事スルモノ漸ク多ク次デ支那寧波地方ノ織物ニ準ジテ寧波布ト稱スル綿織物ヲ製シテ輸出スルニ至リ次第ニ好況ニ向ヘリ其ノ後洋通、紋織物、小倉地等各種ノ織物盛ニ輸出セラレ輸出品専門ノ製造家及ビ製造品賣商ヲ營ムモノ等相次デ生ズルニ至レリ是等ノ人々ハ神戸商人ノ手ヲ經テ輸出スルアリ清國ニ支店ヲ設ケテ直接彼地ニ輸出スルアリ或ハ清商ト特約ヲ結ビテ販賣スルモノアリテ遂ニ今日ノ盛況ヲ呈スルニ至レリ

滿洲方面輸物 滿洲方面ハ支那南部地方ト異ナリ其需用ハ質素ニシテ堅實ヲ尙ビ外觀ノ美ナルヨリハ手厚ナル粗布ヲ嗜好スルヲ以テ白木綿ヲ適セリトス、明治二十八年一月中島郡平和村ノ角田市郎兵衛ハ農商務省ノ指定ニヨリテ大連ニ支店ヲ設置シ巾廣ノ納戸尺一、尺二ノ白木綿、紺無地ノ類ヲ



販賣スルニ至レリ、斯クテ明治三十九年ニ至リ同人ハ農商務省ヨリ滿洲利源調査員ヲ命ゼラレ大連ニ向ヘリ當時戰後ノ經營陸軍省ニ關スルコト多ク同人モ亦陸軍指揮ノ下ニ旅順、大石橋、昌圖、奉天、遼陽、鐵嶺、安東縣地方ヲ調査シテ歸朝シ翌四十年長春ニ支店ヲ設置スルニ至リ盛ニ輸出ノ途ヲ講ジ以テ現今ニ至レリ、

二、輸出織物累年産額

反 數	三十九年	四十年	四十一年	四十二年
價 格	九〇七、三二六 一、一三四、一五七	六三七、四九〇 七六四、九九一	六一八、六二一 八〇四、二〇七	五八〇、七五一 九五六、九〇一

三、織物検査方法

(甲)略式鑑定法

一、肉眼鑑定法

織物ノ絲質、染色、手觸リ、持續性等ノ如キハ肉眼ニヨリテ熟練ノ結果鑑別シ得ルコト多キヲ以テ此方法ニ依ルコトアリ

二、銘柄鑑定法

商標、符號、若シクハ織物ノ織リ初メ、織リ留メ、俗ニ界切ノ状態、色相等ニヨリ鑑定スルコトアリ

リ

三、臭味鑑定法

正紺染及ビ藍ノ上染ヲナシタルモノハ其臭氣ニヨリ又硫化色素若シクハ他ノ染料ヲ混用シタルモノハ其臭氣ニヨリテ鑑定スルコトアリ

(乙)正式鑑定法

(A)普通検査法

(一)堪染力試験

可檢物ヲ冷水又ハ熱湯ニ投ジテ煮沸シ乾燥ノ後其變色褪色等ノ有無ヲ檢シ尙浸出サレタル色素ノ度合ニヨリテ堪洗力ノ強弱ヲ檢ス

(二)堪鹼力試験

規定ノ石鹼溶液中ニ可檢物ヲ投入振蕩シテ放置ノ後色素ノ脱落如何ヲ檢シ又之ヲ加熱沸騰セシメ脱色ノ濃淡ヲ檢シ更ニ其布片ヲ取り出シ充分水洗シテ乾燥ノ後檢ス

(三)堪酸力試験

硫酸稀溶液ニ可檢物ヲ投ジ暫時加熱ノ後其脱色液ノ有無多少ヲ見布片ヲ引キ揚ゲ水洗乾燥シテ其變褪如何ヲ檢ス

(四)アルカリ液堪抗力試験  
結晶曹達ノ規定溶液中ニ可檢物ヲ投ジ暫時加熱ノ後振蕩シ其色ノ浸出度ヲ檢シ尙之ヲ引揚ゲ乾燥シテ其變褪如何ヲ檢ス

(五)堪光試験  
標準色ヲ作り置キ堪光試験器ニ可檢物ヲ挟ミ一定時日間日光ニ曝シ標準色ニ比較シ其褪消ノ度ヲ檢ス

(六)摩擦試験  
漂白布ヲ以テ可檢物面ヲ強ク摩擦シ其着色ノ度ニヨリテ強弱ヲ判定スルノ簡便法ヲ用フ  
(B)紺色検査並ニ類似品及ビ混合物検査法

(一)硝酸試験  
規定ノ硝酸溶液中ニ可檢物ヲ投ジ沸騰點ニ於テ煮沸シ其變色褪色及ビ反應狀態ニヨリテ判定ス  
(イ)日本正藍、(ロ)「インヂゴ」ノ割建使用ノモノ、(ハ)「インヂゴピア」割建使用ノモノ、(ニ)同上ノ染法ニヨリ辨柄及ビ鹽化「マンガン」ヲ使用スルモノ、(ホ)鹽基性染料(「インドインブルー」)ノ上掛ヲナセシモノ、(ヘ)同上ノ單寧酸ノ固着ヲナセルモノ、(ト)「メチルバイオレット」ヲ使用スルモノ、(チ)「ダイクブルー」ヲ使用シ澱木エキスを硝酸鐵ノ固着ヲナセルモノ、(リ)同上直接染料ノ茶粉ヲ混入シタ

ルモノ(ス)「ログウード」エキスを「ラ上掛セルモノ

以上夫々反應ノ模様ニヨリテ判定ス

(二)硫酸試験

可檢物ヲ規定液中ニ浸シテ判定ス

(三)「アルコール」試験

(イ)日本正藍、(ロ)「インヂゴ」殊ニ「ジャバド」ヲ混用セルモノ、(ハ)「インヂゴ」殊ニ「マドラス」ヲ混用セルモノ、(ニ)「インヂゴピア」ヲ混用スルモノ、(ヘ)總テ「アニリン」染料ヲ使用セルモノ、(ト)單ニ硫化色素ヲ使用セルモノ

以上夫々其反應ノ模様ニヨリテ判定ス

(四)「アミル」アルコール試験

(イ)日本正藍、(ロ)同上「インヂゴ」殊ニ「ジャバ」混用ノモノ、(ハ)同上「インヂゴ」殊ニ「マドラス」混用ノモノ、(ニ)同上「インヂゴピア」混用ノモノ、(ホ)硫化染料應用ノモノ  
以上夫々反應ノ模様ニヨリテ判定ス

(五)鐵劑使用ノ有無試験

此試験ハ主トシテ紺緋ノ検査ニ應用セラルルモノニシテ最初可檢物ヲ稀薄硫酸液中ニテ暫時煮沸

シ後布片ヲ取り出シ其液中ニ稀薄黃血鹽ニ僅カニ鹽酸ヲ滴下シ酸性ニ化セルモノヲ注加シ其反應ヲ檢ス

(六) 硫化染料使用ノ有無試驗

「クロールカルキ」ノ溶液中ニ可檢物ヲ投シ暫時加熱スルトキハ單ニ硫化色素ノミナルトキ若シクハ藍及ビ「インデゴ」ノ上掛又ハ下染ヲナセルモノナルトキ容易ニ察加セラル、ナリ此試驗ハ主トシテ紺紺ノ試験ニ用フ

(七) 不正増量検査法

一定ノ大サニ織物ヲ切斷シ微温湯中ニテ充分糊材ヲ揉ミ落シ乾燥シタル後重量ヲ計リテ減量ヲ知リ増量ノ割合ヲ知ル

各種織物ニ對スル試薬及ビ検査

(一) 木綿織物及ビ絹綿交織物

試薬種類 石鹼「アルカリ」濃硫酸(「ログウード」検査)稀硫酸

(イ) 絹綿交織中緋入大柄疋ト稱スル織物検査ハ其意匠配色ニ至リテハ一般絹綿交織ニ比シテ一層ノ精査ヲ要スレドモ染色試験ニ至リテハ稍緩ナリ

(ロ) 木綿織物中溶衣地ニ屬スルモノハ其外觀ノ美醜ニ注意シ堪洗力ノ如何ニヨリ格付ヲナスヲ主ト

ス

(二) 柞蠶交織物

緯絲全部ニ柞蠶絲ヲ使用シ又ハ經絲即チ節絲ニ柞蠶ヲ混用スルモノ(米澤織物類粗品ノ如キ)ハ衣服裁縫後又織物ノ儘ニテモ丈巾ノ收縮ヲ免レズ殊ニ一度洗濯ニ附スルニ於テハ著シキ縮皺ヲ生ジ即チ製織ノ目的ニ合一セザルモノアルヲ以テ其使用ノ多寡ヲ考査スルハ勿論一般試薬ニ堪ユルモノト雖尙一層嚴ナル格付ヲナス

(三) 紺紺

本品ハ漸ヲ追フテ日本正藍染ニ改良セシムル目的ナレバ他ノ染料ヲ使用シタルモノハ如何ニ試薬ニ堪ユルモノト雖合格若シクハ不合格品トナス

試薬ノ種類 石鹼「アルカリ」、黃血鹽、硝酸、硫酸

(四) 無地織物其他

(イ) 紺無地ハ紺紺ノ試験法ヲ準用スルモノニシテ格付ニ至リテハ紺紺ニ比シテ稍緩ナリ

(ロ) 白木綿ハ定款ノ規定スル重量及ビ丈巾ニ從ヒ嚴密ナル検査ニヨリ格付ヲナス

近來此種ノ織物ニ不正増量藥俗ニ「クレート」ト稱スル石粉使用ノモノアレバ不正増量検査法ニヨリ検査ヲ勵行ス

(六)納戸無地其他ノ裏地物ハ紺緋ノ試薬ヲ準用スルト雖石鹼摩擦試験ニ重キヲ置ク綿毛交織物(毛織物、綿毛織物、又ハ絹綿毛織物ヲ含ム)ハ木綿織物及ビ絹綿交織物ノ試験ニ準ジ酸、「アルカリ」、石鹼ニ依リ試験スルモ殊ニ石鹼試験ニ注意シ之ニ堪ユルモノヲ普通合格品トス

(ニ)風通織ノ如キ紋織物ハ其織物ノ耳ニ注意シ意匠配色ヲ考査シ試薬ハ(一)ニヨリ準用格付ヲナス(ホ)雜織物(綿、麻、稻毛、麻布等)ハ未ダ其製品モ少ナク製織物ノ丈巾ノ縮少ヲ免レズ検査ノ際能ク注意スルコト

(七)清國輸出入蒲團地及ビ無地織物等ノ製品検査ニ付キテハ規定ヲ設クベキモ當分従前ノ例ニヨリテ検査ス

以上叙述シタルモノ、外奈良、石川、鳥取、香川、高知等諸縣ノ出品ニ至リテハ孰レモ染色ノ點ニ於テ多少ノ改善ヲ認ムレドモ組織意匠其ノ他舊態依然概シテ地方用ニ適應スルノ品質ニテ需用ヲ廣ク喚起セシムルニ足ルノ資格ヲ具備セザルモノナリ、營業者克ク時勢ノ推移ト嗜好ノ變遷トヲ察シ勇往敢爲ノ氣風ヲ以テ茲ニ一大刷新ヲ圖ルニ非ラザレバ目下過渡期ノ製織界ニ處スルニ於テ其ノ販路ハ漸次他ニ侵略セラレ復タ起ツ能ハザルノ否運ニ會スベシ京都、大坂、群馬、栃木、滋賀、長野ノ諸府縣ハ出品多カラズ其品種亦雜駁ナルヲ以テ別ニ評論ヲ加ヘズ

其三 綿「チル」

綿「チル」ノ出品ハ和歌山縣ヲ最トシテ愛媛、徳島、滋賀、愛知等之ニ次ギ其他ノ府縣ハ出品甚ダ僅少ナリ、一般ニ先回ニ比シテ起毛ノ方法モ進歩シ間々整理ノ工程ヲ施セルモアリテ進歩ノ状態ヲ現セリ且捺染術ノ進歩ハ意匠考案ニ染色方法、染料撰擇等ニ大ニ面目ヲ一新セリ、然レドモ中ニハ漂白方法ノ不充分ナル染料應用ノ完カラザル機織方法ノ洽カラザルヲ以テ尺巾ノ不揃且玉石混淆ノ誹ヲ免レズ今左ニ主ナル府縣ニ就キテ之ヲ評スベシ

和歌山縣

本縣ハ本邦綿「チル」界有數ノ産地ニシテ紀州「チル」ノ名ハ天下ニ轟ケリ、今回ノ出品ハ百六十點ニシテ其ノ人員四十六人ノ多キヲ示セリ、其ノ種類ハ捺染「チル」ヲ主トシテ色無地「チル」、白無地「チル」、英「チル」、藍棒「チル」、白綿「チル」等ニシテ、就中捺染「チル」、色無地「チル」等多數ヲ占メタリ多クハ二十番手ヲ經トシ、八番、十番、十二番手ヲ緯トセルモノニシテ又裏地「チル」ハ主トシテ緯ニ十四番手、十六番手ヲ用ヒタルガ如シ

全體ヲ通ジテ組織好ク起毛完全ニシテ柄行悪カラズ殊ニ捺染物ニ於テハ意匠斬新ニシテ品質佳良ノモノ少カラズ實ニ斯界獨得ノ妙技ヲ發揮セリ、巾尺モ稍々一定シテ一商品タルニ耻デザルモノト云フベシ、然レドモ多數ノ出品中往々起毛長キニ失スルアリ巾尺不同ノモノ尠カラズ殊ニ捺染物ニ於テ濃色ヲ用ヒテ配合ノ妙ヲ失シ却テ嫌惡ノ觀ヲ呈セシムルモノアリシハ甚ダ遺憾ナリキ、斯ノ如キハ小製造

家ノ手ニナルモノナランモ當事者ノ一顧ニ値スベキモノト云フベシ

和歌山織布株式會社出品ノ無地「チル」ハ組織好ク巾尺一定シテ染色惡シカラズ起毛整然トシテ其ノ綿製ナルヤヲ疑ハシムル程ナリキ、第一綿「チル」株式會社出品ノ捺染「チル」ハ意匠斬新ニシテ配色甚ダ好ク目ヲ射ルガ如キ強キ色ト雖ヨク穩健ノ體ヲ得テ一段ノ光彩ヲ發揮セシハ原ト是レ全社ノ全力ヲ注ギシ丈ケアリテ優良ノモノタルヲ失ハザリキ其ノ他和歌山染工合名會社、松太合名會社、福島嘉六郎、中場信次郎、北島七兵衛等ノ出品ハ其ノ優秀ナルモノナリキ

徳島縣

本縣綿「チル」ノ出品ハ十八點ニシテ七人ノ出品ニ係リ之ヲ前回ニ比シ進歩ノ形跡ヲ認メザルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、今出品ノ主ナルモノハ綿「チル」及ビ無地物ニシテ捺染物ヲ見ズ其ノ多クハ組織、染色、起毛共ニ完全ナリト云フコト能ハザルベク殊ニ起毛ノ長キニ失スルハ甚ダ惜ムベシ、一段ノ注意ヲ要ス尺巾ノ不同ナルハ手織機ヲ用ヒタル爲メナルベク染色ノ光澤鈍キハ染色ト整理ノ當ヲ失セシニヨルナラン又柄合ハ原色ニ近キ色多ク單純ニシテ到底幼稚タルノ評ハ免レ難カラン、美馬儀一郎ノ出品ニ係ル無地「チル」ハ組織染色共ニ優良ナルモノニシテ起毛惡シカラズ觸感柔軟ニシテ而カモ品質一定セルハ一商品トシテ耻シカラヌモノト謂フベシ

愛媛縣

本縣ノ出品ハ今治町ノ産出ニ係リ白無地「ネル」ヲ以テ名アリ、之ヲ今回ノ出品ニ就キテ見ルニ白無地、赤無地、捺染物及ビ藍棒等ニシテ出品點數七十二點出品人員二十一名ニシテ就中白無地最多カリキ之ヲ前回ニ比スレバ力織機ノ使用其ノ範圍ヲ擴メタルガ爲メニ製品ノ統一ヲ來シ組織善良ニ赴キ大ニ進歩ノ見ルベキモノアリ、無地物ハ組織ト起毛ト共ニ佳良ニシテ大ニ稱揚スルニ足ルト雖捺染物ニ至リテハ柄合配色共ニ光彩ナキハ甚ダ遺憾ナリ、又棒藍「ネル」ハ組織堅牢ニシテ堪久性ニ富ミ實用品タルヲ失ハズ出品中尺巾ノ不揃ナルモノ、染色ノ鮮明ナラザルモノ、起毛ノ長キニ失スルモノ等ヲ見タルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、斯ノ如キハ使用セル器具器械ノ不統一ナルト用絲ノ撰擇ヲ誤リタルニ依ラズンバアラズ敢テ當業者ノ省慮ヲ促ガス

愛知縣

阿部合名會社出品ニ係ル白「ネル」ハ組織ヨク經緯ノ權衡其宜シキヲ得テ起毛整然トシテ長キニ失セズ實ニ優良ナルモノト稱スルヲ得ベク伊豫織物合資會社柳瀬義昌、岡田恒太、野間直政、宮崎儀三郎等ノ出品ハ其優良ナルモノナリキ

出品點數十五點、十五人ノ出品ニ係ル、概ネ藍棒ニシテ組織染色共ニ堅牢ニシテ堪久性ニ富ムガ故ニ軍隊并ニ勞働者用トシテ多大ノ需用アリ今ノ面目ヲ失セズ益々製品ノ着實ナルヲトニ注意セバ蓋シ一大物産タルニ至ラン

滋賀縣

出品十六點、十五人ノ出品ニ係ル未ダ幼稚ノ域ヲ脱セズ、故ニ敢テ茲ニ之ヲ評セズ

其他、東京、大阪、京都ノ三府及ビ兵庫、奈良、岡山等ヨリ僅少ノ出品アリシト雖其ノ全豹ヲ窺フニ由ナキヲ以テ茲ニ批評ヲ略ス

其四 木綿緋

木綿緋ハ近時ニ至リ其ノ需用擴マリ從來夏期ノ需用タリシモ近來冬期ニモ大ニ用ヒラル是レニ地合染色ノ堅實ナルト意匠柄合ノ嗜好ニ投ゼルトニ依ル今後尙改良發達ニ勉メナバ益々需用ヲ喚起スルコトヲ得ルニ庶幾ンカ

木綿緋ノ產地ハ今回ノ聯合府縣外ニハ久留米及ビ薩摩ノ二ヶ所アルノミニテ伊豫ノ松山、大和ノ御所地方埼玉ノ所澤ノ三大緋生産地ニ次ギテハ備後、尾州等ニシテ中ニハ大柄ノ生氣漲ルガ如キアリ小柄ノ穩健喜ブベキアリ、或ハ價格ノ低廉ナルヲ以テ鳴リ或ハ柄合ノ清冽賞スベキアリ、要スルニ緋木綿ハ其ノ意匠ニ染色ニ組織等種々ナル點ニ於テ近來最進歩シタルモノナレドモ其ノ今後研磨ヲ要スベキ點尠シトセズ、今主ナル各府縣ニ分テテ之ヲ評スベシ

埼玉縣

本縣出品ハ所澤緋又ハ武藏緋ト稱セラレ斯界ニ於テ有名ナルモノナリ、出品僅少ニシテ其ノ全豹ヲ知

ルニ山ナシト雖製品着實ニシテ地色ヨリ何等否定スベキ缺點ヲ認メズ、優ニ中流人士ノ嗜好ニ適スベキモノト云フベシ、井關丑五郎、出品ハ其ノ優秀ナルモノナリキ

奈良縣

本縣ニ於ケル出品點數ハ五百五十三、人員百三十八名ナリ、抑大和緋ノ稱呼ハ白緋ヲ連想セシムル如ク實ニ白緋ノ出品多數ヲ占メタリ、中柄物及ビ小柄等ニ比較的優良ノモノヲ見シモ大柄物特ニ大柄緋緋ニ於テハ柄行單純ニシテ見榮エ少ク到底中小柄ノ比ニ非ザルナリ

本縣出品ノ大部分ハ其板縮ノ方法宜ンキニ適セルガ故ニ緋ノ限界判然トシテ紛交ナク一見清潔ノ感ヲ覺エ殊ニ價格ノ低廉ナル他府縣ノ到底企圖シ能ハザル所ニシテ實ニ本邦有數ナル白緋ノ產地ト云フベシ、然レドモ大柄物ニ至リテハ意匠ヲ施ス余地尙ホ多キニ係ラズ意匠ハ殆ンド全二律ノ下ニ分岐セラレタルガ如キハ甚ダ遺憾トスル所ナルノミナラズ中ニハ往々組織粗ニ過グルアリ經緯絲ノ均衡ヲ失スルアリ或ハ染色不備ノ疑アルモノ等アリテ商品ノ名譽ヲ毀損スルモノ尠カラザルハ斯業者ノ最モ留意スベキ點ニシテ如此ンバ如何ニ價格ノ低廉ナルモ好ク商品タルノ體面ヲ如何ニセシ

今其ノ優秀ナルモノヲ舉グレバ三浦猪太郎、吉川小七郎、卯圖豐藏、高井仙太郎、堀江三郎、安川甚五郎等ノ出品ナリトス

静岡縣

本縣ノ出品ハ點數四十七點、人員十五名ナリ、蚊緋小柄物ヲ主トス摸樣ニ紛交ナク、品位柄行等下劣ノ風ナク可ナリノ出來ト云フベク之ニ反シテ大柄物ニ至リテハ何等見ルベキモノナク未ダ幼稚ノ域ヲ脱セズト云フノ外ナシ、要ハ伊豫、廣島等ノ如キ大柄物ノ製造并ニ生産状態トテ調査シテ範ヲ之等先進ノ地ニ則ルニアリ

島根縣

本縣出品百三十點ニシテ五十九名ノ出品ニ係ル別ニ評スル程ノモノヲ見ズト雖大柄緋ニ於テ殊ニ佳良ノモノヲ見タリ、就中繪緋ニ於テ其ノ技他ノ摸倣シ能ハザルノ巧アリ價格頗ル高價ニシテ而モ一般人士ノ嗜好ニ背クヲ以テ其ノ販路ハ僅々一少部分ニ限ラレタルガ如シ

廣島縣

本縣ノ出品點數七百八ニシテ三百六十二名ノ出品ニ係ル蓋シ木綿緋ノ出品トシテ最多數ノモノナリ大柄物非常ニ多ク柄合ノ豐富ナル到底愛媛縣ニ比スベクモアラザレドモ可ナリノ變化ヲ認メタルハ吾人ノ甚ダ快トスル所ナリ全體ヲ通ジテ緋部ノ純白ニ仕上ラザリシハ清潔ノ觀ニ乏シク品位ヲ下スコト數等ナレバ適等ナル漂白ト緋染トノ研究ハ目下ノ急務ナリト信ズ、然レドモ普通緋織物ノ通弊トシテ數ヘラルベキ摸樣ノ紛交少ナクシテ整然タル或ハ緋絲ノ數多ク柄行豐富ニシテ見榮エ多キハ何人モ否定スル能ハザルベク染色ハ割建及ビ硫化染料ヲ用ユルモ中ニハ其ノ統一ヲ缺ケリト認ムベキモノアルハ

染色經營組織ノ不完全ヨリ來リシモノナラン當業者ノ一考ヲ要ス

備後織物株式會社、阪木エイ、眞谷重次郎等ノ出品ハ其ノ優秀ナルモノナリキ

徳島縣

本縣ノ出品ハ七十一點人員二十三名ナリ、蚊緋、小柄緋及ビ小中柄ニ佳良ノモノヲ認ムルモ多數ノ出品中既ニ大和緋ニ於テ評セシガ如キ缺點アルヲ免カレザルハ當業者タルモノ、一顧ヲ促ス

愛媛縣

本縣ノ木綿緋ハ松山緋若シクハ伊豫緋トシテ斯業界ニ鳴ル、今回ノ出品ハ六百二十二點ニシテ實ニ二百一十一人ノ出品ニ係ル之ヲ前回ニ較ブルニ組織染色共ニ幾多ノ進歩ヲナシ、殊ニ意匠ノ進歩ノ著シキハ掩フベカラザルノ事實ニシテ何人モ之ヲ否定スルコト能ハザルベシ、又出品中大柄物、中柄物多ク小柄物ハ極メテ尠シ、然ルニ大柄物ニ至リテハ意匠ヲ施スベキ余地多キモノナリトハ云ヘ其ノ柄行甚ダ豐富ニシテ變化ニ富メル天下其ノ比ヲ見ズト云フベク組織ト染色共ニ否定スベキ點ナシ、殊ニ漂白ノ適度ニ行ハレタルモノハ黑白整然トシテ區劃サレ、施サレタル意匠ハ遺憾ナク其ノ光彩ヲ發揮シ一見快感ヲ覺エシム中柄物ニ至リテハ左程ノ柄行ノ變化ヲ見ザルモ概シテ大柄物ト大差ナキガ如シ  
中柄小柄物ニ於テ緋部分ニ漂白ノ不充分ニシテ純白ニ仕上ラザルモノアリ爲ニ清潔ノ觀ヲ失ヒ殊ニ意匠ヲ施スベキ余地少キガ故ニ柄行トシテ新規ノ感ヲ與フルモノ少ク概ネ皆舊套ヲ脱セザル意匠ニ過ギ





其五 縮木綿

縮木綿ノ出品ハ栃木、滋賀、山口ノ諸縣ニシテ東京府ヨリハ力織機製ノモノ、出品ヲ見タレドモ大阪府ヨリ大阪織物合資會社製ノ出品ヲ見ザルハ斯業界ニ取リテ遺憾ニ堪ヘザル所ナリ  
今左ニ主ナル府縣ニ就キテ之ヲ評セン

東京府

東京製布株式會社ノ出品アルノミニシテ全豹ヲ窺フニ由ナシト雖同社出品ノモノハ力織機ノ織製ニ係ルガ故ニ製品ノ均一セルハ勿論組織緻立等何等非難スベキ點ヲ認メズ又丈巾等モ一定シテ商品トシテ決シテ恥シカラヌ物ト云フベシ全社ガ力織機ノ應用ニ着目セルハ蓋シ斯界ノ好趨勢ナリト囑目セラルル所ニシテ奮勵一番現況ノ完成セラレンコトヲ切望シテ已マザル所ナリ

栃木縣

本縣ノ出品ハ二百點ニシテ七十四名ノ出品ニ係ル、其中瓦斯縮ハ組織佳良緻立均一ニシテ觸覺甚ダ可ナリ殊ニ足利地方ヨリ出品セルモノニ優良ノモノ多ク佐野町附近ノモノニ比シ一頭地ヲ抜キタルノ觀アリキ又小巾物ニ至リテハ吉野入り、鶉入其ノ他各種ノ混合組織ニテ種々ナル意匠ニナル單着尺并ニ中形用ノ製品多ク出品セラレシト雖概シテ廣巾物ト其ノ組織緻立等其ノ軌ヲ全シク前途發展ノ見込ミ充分ナルヲ認メシハ甚ダ快トスル所ナリ全體ヲ通ジテ色物ヨリハ白無地ニ於テ比較的優良ナルモノ

多ク其ノ色澤緻立共ニ佳良ナルガ如ク柄行トシテハ縞物多數ヲ占メ格子模様多キニアラザルモ配色其ノ宜シキヲ得タルモノハ一種云フベカラザル光彩ヲ放チテ觀者ヲ喜バシメタリ、霜降模様ノモノ何等可否スベキモノナシ

普通品ハ大中巾ヲ通ジテ二三優良ナリト認ムベキモノナキニアラザルモ概シテ進歩ノ形跡ヲ認メズ就中緯絲ノ打ち込ミノ不平均ナルト緻立ノ均一ナラザルト仕上糊ノ過多ナルト及ビ巾ノ一定セザルトハ斯業者ノ最注意ヲ要スベキ點ナリトス、殊ニ輸出大中巾物ニ於テ其ノ必要ヲ認ムルハ從來縮業者ニ望ミシ一般ノ囑望タリシガ今回モ之ヲ繰リ返サルヲ得ザルニ至リタルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、由來本縣ノ縮縮ハ本邦ニ於ケル一大產物ニシテ海外ノ輸出額ハ實ニ年々百數十萬圓ノ巨額ニ上リ其ノ消長ハ實ニ本邦縮縮貿易ノ盛衰ニ係ル然シテ吾人ヲシテ未ダ此歎ヲ發セシムル所以ノモノハ機械器具ノ不統一ト不完全トニ歸セザルベカラズ、苟モ主因茲ニ存スルトセバ斯業ニ從フモノ縮業ノ經濟的現況ニ鑑ミ或ハ共同燃絲ニ或ハ織機ノ統一等ノ産業的組織ニ改善ノ途ヲ講ズルハ蓋シ現今最大ナル急務ナラント信ズ

今出品ノ主ナルモノヲ舉ゲレバ川島久兵衛、奥澤泰一郎、吉田半藏、小泉儀八、奥澤和平等ノ出品ナリキ

滋賀縣

本縣ノ縮木綿ハ高島縮トシテ知ラル、所ノモノナリ今回ノ出品ハ百九點ニシテ三十六名ノ出品ニ係ル  
 白無地、赤地、縞物等アリテ組織トシテハ平縮、紹縮、紋紹縮等アリ概シテ巾一定セズ撚絲ノ不完全ナル  
 爲メ織「ムラ」甚ダシク一見品位ヲ下落セシムルヤ大ナリ、楊柳仕上ヲ施シタルモノヲ見タリト雖其ノ  
 不完全ナル到底栃木縣ニ及バザルコト遠シト云フベシ、要スルニ柄行普通ニシテ組織又進歩セルト認  
 ムベキ點ナク、色澤不良染色亦取ルベキ點ヲ見ズ、今後産業組織ノ改善ハ蓋シ目下ノ急務ナラン、大  
 藤龜吉出品ノ紹縮ハ其ノ優秀ナルモノナリキ  
 山口縣

本縣ノ縮木綿ハ百七十四點、五十一名ノ出品ニ係ル、古來岩國縮トシテ世ニ知ラル、所ノモノナリ、  
 近來廣幅物ノ産出ニ汲々タルノ跡歴然タルハ甚ダ快心ニ堪ヘズ、之ヲ今回ノ出品ニ見ルニ組織緻立幅  
 丈等好ク均齊ヲ保チ商品トシテノ資格ヲ備ヘタルハ大ニ賞揚スルニ足ルト雖強テ缺點ヲ舉グレバ整理  
 ノ方法其ノ當ヲ得ザル爲メ布目ノ整然トシテ正シク組織セズ灣曲シテ打チ込マレタルハ一見直ニ其ノ  
 本質ヲ誤マラル、コト甚ダシク當業者ノ大ニ注意ヲ要スベキ點ニアラザルナキカ  
 小巾物ニ至リテハ製品區々ニ亘リテ統一スル所ナシ、間々二三優良ナルモノナキニアラザルモ概シテ  
 意匠柄行普通ニシテ別段吾人ノ注意ヲ惹クニ値スベキモノナク、染色ニ指摘スベキ點ナシト雖配色淡  
 味ニ過グルナキヤノ感アリ、之ヲ要スルニ是等ハ各個製造ニ係ル商品ノ得テ免ルベカラザル通弊ナリ

ト雖吾人ヲシテ今後ノ方針如何ヲ云ハシメバ其ノ統一ヲ圖リ商品トシテノ第一資格ヲ作ルハ勿論ナリ  
 而シテ斯界目下ノ現況ニ照ラシ容易ニ行ハレ得ベシト信ズルモノハ其ノ地風ヲ變ジテ御召風トナシ兼  
 ネテ柄行ヲ全ク御召模様ニ擬セバ蓋シ時機ニ投ジタルモノナランカ  
 今出品ノ主ナルモノヲ舉グレバ合資會社義濟堂玖珂縮織工場ノ出品ニナル大巾木綿縮、菊元小一郎出  
 品ノ小巾縮ノ如キ其ノ秀デタルモノナリキ  
 其他三重縣、島根縣ハ僅ニ一二點ノ出品ニ止マレバ敢テ茲ニ評セズ

染色堅牢度試験成績表

産地	品名	出品人	價格	染色試験成績						備考
				湯	石鹼	曹達	醋酸	日光	添縮	
栃木縣足利町	瓦斯格子縮岩下喜七郎			—	—	—	—	—	—	
同	瓦斯縮川島久兵衛			—	—	—	—	—	—	

其六 色木綿

色木綿ノ種類ハ紺木綿ヲ主トシ納戸木綿、蒔黄木綿等ニシテ紺木綿トシテハ埼玉縣ノ青縞、愛知縣ノ  
 紺木綿等其名著レ納戸木綿ハ愛知縣、蒔黄木綿ハ三重縣ヲ以テ主産地トス其ノ他多數ノ縣ニ於テ幾分  
 ノ産出ヲ見ザルハナシ要スルニ色木綿ハ白木綿及ビ縞木綿ニ次ギテ都鄙一般ニ需要多キ品種ナレバ一

ノ重要ナル織物タルヲ失ハザルナリ

一般ニ色木綿トシテ考フベキハ近來染色ノ術開ケシト同時ニ白木綿又ハ金巾類ヲ後染シテ之ヲ適當ニ整理シ體裁ノヨキ無地木綿ノ状態ニ於テ普通ノ色木綿ヨリモ裏地用等トシテ比較的ニ上等ノ場處ニ使フサル、ニ在リ殊ニ「シコライコル」仕上ヲ施セルモノノ如キハ動モスレバ絹布ノ壘ヲ廉セントスルニ到ル之ヲ以テ色木綿業者ハ宜シク其織色ノ特色ヲ發揮シ生産費ヲ節減シ以テ需要ヲ擴メンコトヲ企圖セザルベカラズ然レドモ如上生産費ヲ節減セントスルノ結果粗製ニ流ルルガ如キハ斷ジテ之ヲ避ケザルベカラズ

今主要ナル府縣ニ就キ之ヲ論評スベシ

埼玉縣

本縣ハ青綿ノ主產地トシテ其ノ名高ク出品モ亦極メテ多シ本縣ニハ地機製及ビ高機製ノ二種アリ地機製ハ一種ノ特色ヲ有シ一部需要者ノ愛尚スル處ナリシニ工費ノ高キヨリ漸次産額減少シツ、アルモ其ノ特色タルヤ得テ奪フベカラザルヲ以テ或程度マデハ需要ヲ保持シ得ベキカ又高機製ノモノニハ是亦用絲ノ關係ヨリシテ他府縣産ノモノニ比シ特色ヲ有スト雖價格高キニヨリ尾州紺ノ爲メニ販路ヲ奪ハレントス現ニ本縣青綿ノ主產地タル行田地方ニテモ其名産タル足袋製造ノ原料トシテ尾州紺ノ盛ニ輸入セラル、ヲ見テ知ラルベシ本縣當業者タルモノ宜シク適當ナル生産費節減ノ方法ヲ講ジ織機ニ染色

ニ考究ヲ重ヌベシ

三重縣

本縣ノ出品ハ蒔黃木綿ニシテ需要頗ル多シ近來染色ニ改新ヲ施シタル出品アリタリト雖中ニハ不完全ナルモアリ尙ホ整理ヲ應用シテ蒔黃木綿ニ或特殊ノ研究ヲナスベシ他府縣ニ於テモ續々此種木綿ヲ製出スルノ時ナレバ先輩タル本縣ハ一層ノ新機軸ヲ出シテ世ノ好ニ後レザラントトヲ勉ムベシ

愛知縣

本縣ノ紺木綿、納戸木綿ハ近來大ニ發達シ來リタリ然レドモ其ノ發達セシ點ハ主トシテ價格ノ方面ニ於テシ染色方法等ハ餘リ改進セザルガ如シ今出品ニ付テ之ヲ見ルニ染色ノ不堅牢ナルモノアリ、夫レ紺及ビ納戸木綿ノ生命ハ一ニ染色ノ堅牢ヲ期スルニ在リサレバ本縣當業者タルモノ工業政策トシテ價格ノ低廉ナルハ固ヨリ望ムベキコトナリト雖其ノ價格ト適用トノ上ニ調和ヲ圖ルコトニ注意セザルベカラズ

其他ノ府縣ハ批評ヲ省畧ス

左ニ染色堅牢度試験成績表ヲ掲ゲテ參考ニ供セン

染色堅牢度試験成績表



府縣名	點數	人員	一等	二等	三等	四等	計	出品人員
東京	三一六	一一一	—	—	—	—	一一一	二六
京都	五六	二二	—	—	—	—	二二	二九
大阪	二五四	一一五	—	—	—	—	一一五	二七
神奈川	六八一	二〇二	—	—	—	—	二〇二	二〇
兵庫	三九五	二五一	—	—	—	—	二五一	二〇
新潟	八六三	四〇三	—	—	—	—	四〇三	二〇
群馬	七二	三六	—	—	—	—	三六	二〇
茨城	九七	四六	—	—	—	—	四六	二〇
栃木	二五九	一五六	—	—	—	—	一五六	二〇
奈良	九三〇	三三九	—	—	—	—	三三九	二〇
三重	四三七	一六五	—	—	—	—	一六五	二〇
靜岡	七四六	二二三	—	—	—	—	二二三	二〇
山梨	—	—	—	—	—	—	—	—
滋賀	—	—	—	—	—	—	—	—
岐阜	—	—	—	—	—	—	—	—
廣島	二〇八三	七四二	—	—	—	—	七四二	二六
山口	八六二	二七一	—	—	—	—	二七一	二八
和歌山	五五四	一四一	—	—	—	—	一四一	二八
徳島	六四四	一八一	—	—	—	—	一八一	二八
香川	八八	五二	—	—	—	—	五二	二八
愛媛	一〇四〇	三八七	—	—	—	—	三八七	二八
高知	一七六	八一	—	—	—	—	八一	二八
愛知	九一八	六六〇	—	—	—	—	六六〇	二八
計	一、三八九三	五、五一八	二〇	二	二	二	二六	二六

府縣名	點數	人員	一等	二等	三等	四等	計	出品人員
東京	三一六	一一一	—	—	—	—	一一一	二六
京都	五六	二二	—	—	—	—	二二	二九
大阪	二五四	一一五	—	—	—	—	一一五	二七
神奈川	六八一	二〇二	—	—	—	—	二〇二	二〇
兵庫	三九五	二五一	—	—	—	—	二五一	二〇
新潟	八六三	四〇三	—	—	—	—	四〇三	二〇
群馬	七二	三六	—	—	—	—	三六	二〇
茨城	九七	四六	—	—	—	—	四六	二〇
栃木	二五九	一五六	—	—	—	—	一五六	二〇
奈良	九三〇	三三九	—	—	—	—	三三九	二〇
三重	四三七	一六五	—	—	—	—	一六五	二〇
靜岡	七四六	二二三	—	—	—	—	二二三	二〇
山梨	—	—	—	—	—	—	—	—
滋賀	—	—	—	—	—	—	—	—
岐阜	—	—	—	—	—	—	—	—
廣島	二〇八三	七四二	—	—	—	—	七四二	二六
山口	八六二	二七一	—	—	—	—	二七一	二八
和歌山	五五四	一四一	—	—	—	—	一四一	二八
徳島	六四四	一八一	—	—	—	—	一八一	二八
香川	八八	五二	—	—	—	—	五二	二八
愛媛	一〇四〇	三八七	—	—	—	—	三八七	二八
高知	一七六	八一	—	—	—	—	八一	二八
愛知	九一八	六六〇	—	—	—	—	六六〇	二八
計	一、三八九三	五、五一八	二〇	二	二	二	二六	二六

#### 第四章

##### 第二十七類 絹綿交織物

絹綿交織物ハ從來ノ共進會ニ於テハ其主成セル纖維ノ多少ニ據リ夫々絹織物若クハ綿織物ノ類ニ包含セシメ比較審査シタリト雖近來此種織物ノ産額著シク増加シ加之技術ノ進歩亦著大ニシテ重要ナル織物ノ一種類トナリタルガ故ニ今回ノ共進會ニハ之ヲ獨立シテ一部類トナシタルハ頗ル當ヲ得タルモノト信ス然レトモ由來絹綿交織物タル絹木綿兩纖維ノ混交ノ度區々ニシテ一定セザルハ勿論往々甚タシキ間隔アリ假令バ糸入縞ノ如ク綿糸ヲ主成分トシテ絹絲ノ混入最尠キモノアリ或ハ朱子御召等ノ如ク經絲ノ全部ニ絹絲ヲ使用セルモノアリ若ハ瓦斯甲斐絹ノ如ク緯絲ニノミ絹糸ヲ織リ込タルモノモアリ隨ツテ是等兩纖維ヲ混交セルノ差異懸隔甚ダシキヲ免カレズ之ヲ以テ一服ノ許ニ比較査定スルコト困難ナルニヨリ其ノ混合ノ度合ニ應シ或ハ品種ノ異ナル程度ニ依リテ分別シテ審査ヲ爲セリ

今回ノ共進會ニ於ケル絹綿交織物ノ出品點數ハ二千六百六十二其人員千二百十四名ニシテ其區域ハ二府二十五縣ニ亘リ之カ出品ヲ見サル府縣ハ大阪、山梨、石川、徳島ナリ而シテ是等ノ出品物ハ着尺地大部分ヲ占メ其他ハ朱子帶地類及ビ天鷲絨等ニシテ概シテ進歩ノ傾向ヲ見ルハ喜ブ處ナリ殊ニ其著シキモノハ技術ノ巧意匠ノ優共ニ一見純絹織ノ觀アルモノ尠カニハ是レ織成ノ進歩ト仕上ノ精巧ト相待ツテ之ガ發達ヲ招キタル結果ニ外ナラズ然レトモ流行ハ時々刻々變遷シテ底止スル所ナキヲ以テ尙能

ク時好ノ趨勢ヲ鑑ミテ意匠ヲ凝ラシ且技術ノ研鑽ヲ怠ラザルニ於テハ前途大ニ囑望スルニ足ルヲ信ズ  
然レドモ一方ニ於テハ往々染色ノ不堅牢ナルモノ多キヲ見ルハ勿論其ノ織成柄行共ニ凡臭ヲ脱セザル  
モノ尠カラズ殊ニ絲入縮ノ如キ着尺地中ニハ技術柄合共ニ徒ニ舊套ヲ蹈ミ更ニ改善ノ跡ナクシテ發達  
ヲ認ムル能ハザルモノ多シ斯ノ如ク粗織索然少シモ交織タルノ價值ヲ發揚セザルモノアルハ頗ル惜ム  
ベキコトナリ宜シク織成上ニ改良ヲ施シ絹絲ノ眞價ヲ發揮センコトヲ勉メ能ク時好ノ如何ヲ顧ミ需要  
ニ適應スベキ製品タル様ニ層ノ研究ヲ要スルハ當業者ノ最モ熟考スベキ所ナリ  
次ニ主要ナル各府縣ノ出品ニ分チテ之ヲ概評スレバ左ノ如シ

東京府

本府ノ出品ハ夜具縞ヲ主トシ他ハ雜然トシテ見ルニ足ラズ却テ退歩ノ傾アリ抑本府下ノ夜具縞ハ青梅  
町ノ産物トシテ其名高ク從來好評ヲ博セルニ係ラズ今回ノ出品物ニ於テハ殊ニ其ノ意匠ニ斬新ノモノ  
ナク技術ノ賞スベキモノナシ是レ其ノ高名ニ甘ジテ研究ヲ怠リタルヤノ觀ナクシテバアラズ然レドモ染  
色ハ稍優良ナルモノ尠カラザルヲ認ム尙色相及堅牢度等ヲ研究スベキハ勿論意匠技術ニ一層ノ工夫ヲ  
凝ラサンコトヲ望ム

京都府

着尺地ノ出品ハ少ク且見ルニ足ルモノナシ天鵝絨ハ稍可ナルモ出品尠キヲ憾ム又朱子、二三ノ優良品

ヲ認ムト雖モ多クハ粗造品ニ係リ技術ノ進歩ヲ疑ハシム殊ニ輸出綿朱子ハ清國ニ於ケル需要多ク之カ  
粗製ニ滯ル如キハ對外貿易上轉々寒心ニ堪ヘズ當業者深ク粗製ヲ戒メ永遠ノ發展ヲ期セラレンコトヲ  
望ム尙内地向帶地ニ於テモ織製整理ヲ粗悪ナルモノ甚ダ多シ之レ價格ヲ低廉ナラシムル爲メ粗濫ヲ敢  
テスルノ觀アルモ將來ノ發展ヲ阻止スルハ憂アリトス當業者ノ猛省ヲ促ス

兵庫縣

本縣出品物ハ丈幅稍均整スルニ至リタルハ大ニ喜ブベキモ縞柄及ビ整理共ニ未ダ幼稚ノ域ヲ脱セズ尙  
一段ノ注意ト研究ヲ要ス

新潟縣

本縣出品物ハ孰レモ見附縞ノ絲入ノモノニシテ舊態依然更ニ進歩ノ點ヲ認メズ殊ニ柄合ノ如キ今一層  
ノ工夫ヲ要ス

埼玉縣

本縣出品物ハ技術意匠共ニ優良品ニ乏シカラズト雖染色ノ不良ナルモノ多キヲ認ムルニ至リタルハ遺  
憾ナリ殊ニ武藏織物同業組合ノ出品中ニハ染色ノ不堅牢ナルモノ及柄合ノ陳腐ナルモノ尠カラズ埼玉  
織物同業組合ノ出品ハ概シテ進歩ノ感アルモ往々柄合ノ組成上多數ノ色相ヲ應用シテ一縞柄ヲ現ハス  
ガ如キモノアリ是レ斬新ナル意匠ヲ致サントシテ斯ル弊ニ滯リタルノ感アリト雖却テ之ヲ爲メ價格ヲ

失墜スルノ傾アリトス蓋シ意匠トシテハ美感ヲ呈セシムルコト必要ナルベキモ尙清雅ニシテ能ク品格ヲ保ツコトニ注意セザルベカラズ宜シク意匠家ノ指導ニ須ツヲ要ス

#### 群馬縣

本縣ノ出品ハ種類多シ綿朱子及ビ其他ノ帶地ハ本縣ノ持産タルニ係ラズ品質ノ佳良ナルモノニ乏シク織方粗雜ナルト仕上ノ不注意ナル爲メ裏糊ノ表面ニ滲透セルモノ尠カラズ是レ其ノ價格ノ低廉ヲ欲シ粗製ヲ敢テシ一時ノ利益ヲ獲得セントスルノ弊ナキヲ保セズト雖斯ノ如クンバ却テ需要者ノ信用ノ墜落シ遂ニ需要ノ減退センヲ恐ル殊ニ近來福井其他ノ地方ニ於テモ之ガ産出ヲ見ルニ至リタルヲ以テ當業者ハ宜シク粗製ヲ戒シメ永ク特産タルノ名譽ヲ保持スルニ努力センコトヲ望ム又伊勢崎、邑樂兩織物同業組合ノ出品ニ係ル工風緋及大島緋ハ進歩著シク世間ノ嗜好ヲ喚起シ産額ヲ高ムルニ至リタルハ大ニ喜ブベシ加之技術意匠共ニ見ルベキモノ多ク染色モ概ネ稍良好ノ觀アルモ往々不堅牢ノモノヲ認ムルハ遺憾ナリ殊ニ同業組合ノ検査取締大ニ嚴ニシテ一意此物産ノ聲名ヲ發揚スルニ努ムト聞ク眞ニ賞揚スベキナリ然レドモ尙一方ニ染色ノ不良ナルモノアルハ當業者ノ共同一致ノ足ラザルモノアルヲ覺テ宜シク製品ノ改良發達上互ニ協力盡瘁セラントヲ希望ス又觀光縮緬ハ唯價格ノ低廉ヲ主トスル爲メ地質脆弱、組織ノ粗雜ニシテ耐久力ニ乏シク且縞物ノ如キハ染色ノ不良ナル爲メ耐光並ニ耐洗力ヲ欠グ宜シク是等ノ欠點ヲ改良シテ其ノ發達ニ努ムベキナリ

#### 栃木縣

交織御召ハ本縣ノ特色トスル處ニシテ意匠配色共能ク時好ニ適シ他機業地ニ於ケル縞柄ノ模範トナル亦故ナキニアラズ之ニ加フルニ組織整理共ニ宜シク一見シテ本御召ニ比適スルモノ尠カラズ其ノ技術ノ進歩大ニ賞揚スベシ然レドモ中ニハ往々粗製ニ流レ組織粗雜ニシテ耐久力ニ乏シク染色不良ニシテ僅カ水洗ニスラ堪ヘザルハ勿論日光ニヨリテ變褪ノ度甚シキモノ多キヲ認ムルハ遺憾ナリ蓋シ本縣ノ交織物ハ染色ノ不堅牢ナル批難ヲ聽クコト既ニ久シク之ガ改善ノ遲々タルヤ當業者ハ毫モ此等ノ點ニ留意セザルヤノ疑ナキ能ハズ將來宜シク粗惡品ノ防止ニ注意シ外觀ノ優美清雅ナルガ如ク其内容ノ實ヲモ伴ハシメ以テ永遠ノ發達ニ誠實ナランコトヲ望ム、新秩父、耳出等ノ出品ハ舊態依然トシテ進歩ヲ認メズ又觀光縮緬ハ群馬縣ニ於ケルガ如シ

#### 三重縣

本縣ノ出品物ハ瓦斯絲入縞其大部分ヲ占ム從來ニ比シテ大ニ面目ヲ改メ組織ノ緻密ナルト染色ノ稍良好ナルハ大ニ賞スベキモ縞柄配色等斬新ノモノニ乏シク概シテ陳腐平凡ト評スルノ外ナシ本縣ニハ縞ニ縣立工業試驗場ヲ設置シ染織以外ニ圖案ノ設ケアリト當業者宜シク其ノ指導ヲ受ケ以テ自己製品ノ改良ニ資シ之ヲ利用スルニ勉ムベシ

#### 愛知縣



本縣ノ絹綿交織ハ出品甚ダ多ク概シテ進歩セルヲ認ム隨テ其ノ織成柄合等ノ佳良品ニ乏シカラザルノミナラズ價格ノ低廉ナルハ能ク需要者ノ嗜好ニ投ズルニ足ルベシ殊ニ細絲ノ應用尤モ巧ナルト地色縞色ノ撰擇能ク調和シ縞柄ノ組立凡ナラザルハ熟技ノ結果ニ基因セザルヲ得ズ然レドモ發達ト熟練トハ往々巧ニ不正品ヲ製作シ奇利ヲ術フモノヲ生ズルノ弊アリ今回ノ出品中往々品質ノ粗雜染色ノ不良ナルモノヲ認ムルモ之ガ爲ナランカ蓋シ本縣ノ如ク産額、技術ニ於テ既ニ物産トシテ聲價アルモノハ個個人的信用ノ取引ニアラズシテ寧ロ地方的信用ニヨリテ取引セラル、モノナレバ各當業者ハ一時的利己心ニ驅ラル、ナク各自公德ヲ重シ不正品ヲ製出スルコトナク永久的地方ノ利益ニ盡瘁スルノ覺悟ヲ必要トス

名古屋附近ニ産出スル大島緋ハ其ノ意匠甚ダ進歩セルヲ認ムルモ製織ニ堅緻オラザルモノアルハ遺憾トス愛知物産組ノ朝日織メ如キハ織成精緻且仕上巧妙ナルハ其ノ品位ヲ發揮シ且意匠配色ノ優雅ナルメ又揃スベシ唯々價格ノ比較的廉ナラザルヲ憾ム帝國燃絲織物株式會社製出ノ輸出向朱子ハ組織仕上其ニ優良ナリ尾西織物同業組合ノ出品中ニハ原絲ノ織度ヲ應用シテ御召風ノ感觸ヲ帶バシメ或ハ毛絲ヲ混用セズシテ成織仕上ノ結果「セル」地ノ風味ヲ現ハシタルガ如キハ進歩ノ顯著ナルモノト謂フベシ加之地色ト筋色ノ配色及ビ整理ノ如キ苦心ノ跡歴然タルモノ尠カラズト雖往々織成メ不誠實染色ノ不堅牢ナルモノアルヲ認ムルハ遺憾ナリ是レ一時ノ奇利ヲ收メントシテ品位ノ不良ヲ願ミザル結果ナル

ベキカ是等不誠實ハ將來ノ發展ヲ阻害スルノ恐アレバ當業者タルモノ大ニ戒ムベキハ勿論組合ノ嚴重ナル検査勵行ト相俟テ地方物産ノ信用ヲ益々發揮スベシ丹羽葉栗織物同業組合ノ出品ハ絲入縞及ビ縞地等ニシテ地質ノ緻密ナルト意匠柄行ノ佳良ナルモノアルハ意ヲ得タリ尙配色及ビ技術ノ上ニ研究スベキ餘地アルヲ認ム大ニ奮勵セラレシコトヲ希望ス

静岡縣

本縣ノ出品物ノ多クハ絲入縞ニシテ地色ハ藍ヲ使用セルモノ多キモ價格ヲ廉ナラシムル爲メ比較的多量ノ紅殻ヲ使用スル傾向アリ故ニ外見ハ良好ノ觀アルモ一度之ヲ洗濯スルトキハ大ニ地色ヲ損スルノ嫌アリトス注意スベシ且往々組織粗惡ニシテ地質ノ堅緻ヲ欠クモノアリ其ノ他柄合等ニモ改良スベキ點少カラズ

滋賀縣

本縣ノ出品ハ僅少ナルモ天鵝絨ハ發達著シク重要物産トシテ殆下覇ヲ爲サントスル感アリ尙技術ノ研究ハ勿論整理ニ注意ヲ注ギ表面ノ光澤ヲ發揮スルニ至ラバ一段ノ光彩ヲ添フベシ

岐阜縣

本縣出品ハ大島緋瓦斯絲入及ビ絹紬等ヲ主トセリ縞類ノ如キハ概シテ柄合巧妙一種ノ特趣アリト雖共進會出品トシテ殊ニ好奇心ニ驅ラレ意匠突飛ニ流レタルガ如キハ苦心ノ跡歴然タルモ却テ時好ニ離レ

嫌厭ヲ招クノ憾アリ將來大ニ猛省アラシムコトヲ望ム又大島緋ハ多ク經緯ノ密度粗ニシテ地質甚ダ軟弱ナリ尙耐久力ニ當マシメントトヲ要ス瓦斯絲入緋及ビ縞地ハ組織柄合大ニ進歩セルヲ認ムルモ染色ノ不堅牢ナルモノアルハ遺憾トス絹緋ハ技術特獨ニシテ柞蠶使用ノ巧妙ナルヲ認ム以上ノ各交織物ハ製織區域ノ一方ニ纏マルニ係ラズ美濃縞及ビ竹ヶ鼻機業ノ兩同業組合アリテ分立シ將來發展上ニ遺憾ナキ能ハズ宜シク合同ノ機速カナランコトヲ望ム

福井縣

本縣ノ綿朱子ハ近來ノ創始ニ係ルト雖經緯ノ組織稍可ナルハ大ニ喜ブベキモ織疵多ク且整理ノ完カラザルハ未ダ幼稚ノ然ラシムル欠點ナルベシ尙原料ノ撰擇製織ノ注意ハ勿論仕上ノ技術ニ研究スベキ點少ナカラズ

岡山縣

本縣出品物ハ稍進歩ノ微アリト雖丈幅ノ均整ヲ欠キ柄合ノ平凡ナル如キ未ダ地方ノ需要品タルニ止マリ物産タルノ資格ニ達セズ大ニ發奮スベキナリ

廣島縣

本縣ノ出品ハ瓦斯絲入地多ク甚ダシキ粗品ヲ見ズ稍進歩ノ傾アリ是レ組合ノ活動ト當業者ガ能ク改善ニ務メタル結果ニ依ランカ然レドモ尙絲造不良ニシテ布面ニ皺裂理ヲ生ジ外觀ヲ損セルモノ及ビ配色

ノ調和ヲ欠クモノアリ整理ノ助長ト相俟ツテ大ニ研究スベシ山繭織ハ柄合ニ於テ多少ノ進歩ヲ認ムト雖地質粗亂ニ傾キタル感アリ是レ或ハ價格ヲ低廉ナラシムル爲メニ出タル結果ナルモ却テ山繭織ノ眞價ヲ減退スルノ嫌アリトス宜シク其特色ヲ維持シ以テ改善ヲ怠ラズ大ニ發達ヲ期スベキナリ  
次ニ絹綿交織物堅牢度試驗表並ニ出品點數及褒賞人員表ヲ示セバ次ノ如シ

染色堅牢度試驗成績表

産地	品名	出品人	價格	染色試驗成績							
				溫湯石鹼	曹達	醋酸	日光	溫湯石鹼	曹達	醋酸	
新瀉縣 見附町	新節織	小畑長助	二	二	二	二	二	二	二	二	二
同	瓦斯絲織	新井慶七	二	二	二	二	二	二	二	二	二
同	風光織	久保又六	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同	瓦斯絲織	澁谷半九郎	三	三	三	三	三	三	三	三	三
同	絲入結城	長谷川爲吉	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同	島田結城	島田久治	二	二	二	二	二	二	二	二	二
同	大和紬	皆川次郎	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同	結城	市川寅吉	二	二	二	二	二	二	二	二	二
同	絹綿交織	高野初五郎	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同	高貴吉野	青木伊平	二	二	二	二	二	二	二	二	二
同	絹綿交織	青木伊平	二	二	二	二	二	二	二	二	二
埼玉縣 入間郡 水谷村	絹綿交織	青木伊平	二	二	二	二	二	二	二	二	二
同北足立郡 大宮町	絹綿交織	青木伊平	二	二	二	二	二	二	二	二	二

產地	品名	出品人	價格	染色試驗成績	添綿添綿添綿添綿備考
同入間郡仙波村	同	宮岡瀧藏	二		
同飯能町	同	中里彌三郎	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同加治町	同	宮岡茂助	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同與宮町	同	山崎惣平	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	小槻藤治郎	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	大川戸倉吉	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同入間郡所澤町	同	橋本清三	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	田中儀作	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	荻野常吉	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	荻井熊太郎	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	福田康次郎	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同北足立郡與野町	同	松山百太郎	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	清水仁兵衛	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	平岡徳次郎	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	關野吉兵衛	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	九橋巳代吉	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	原金四郎	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二

四百六十六

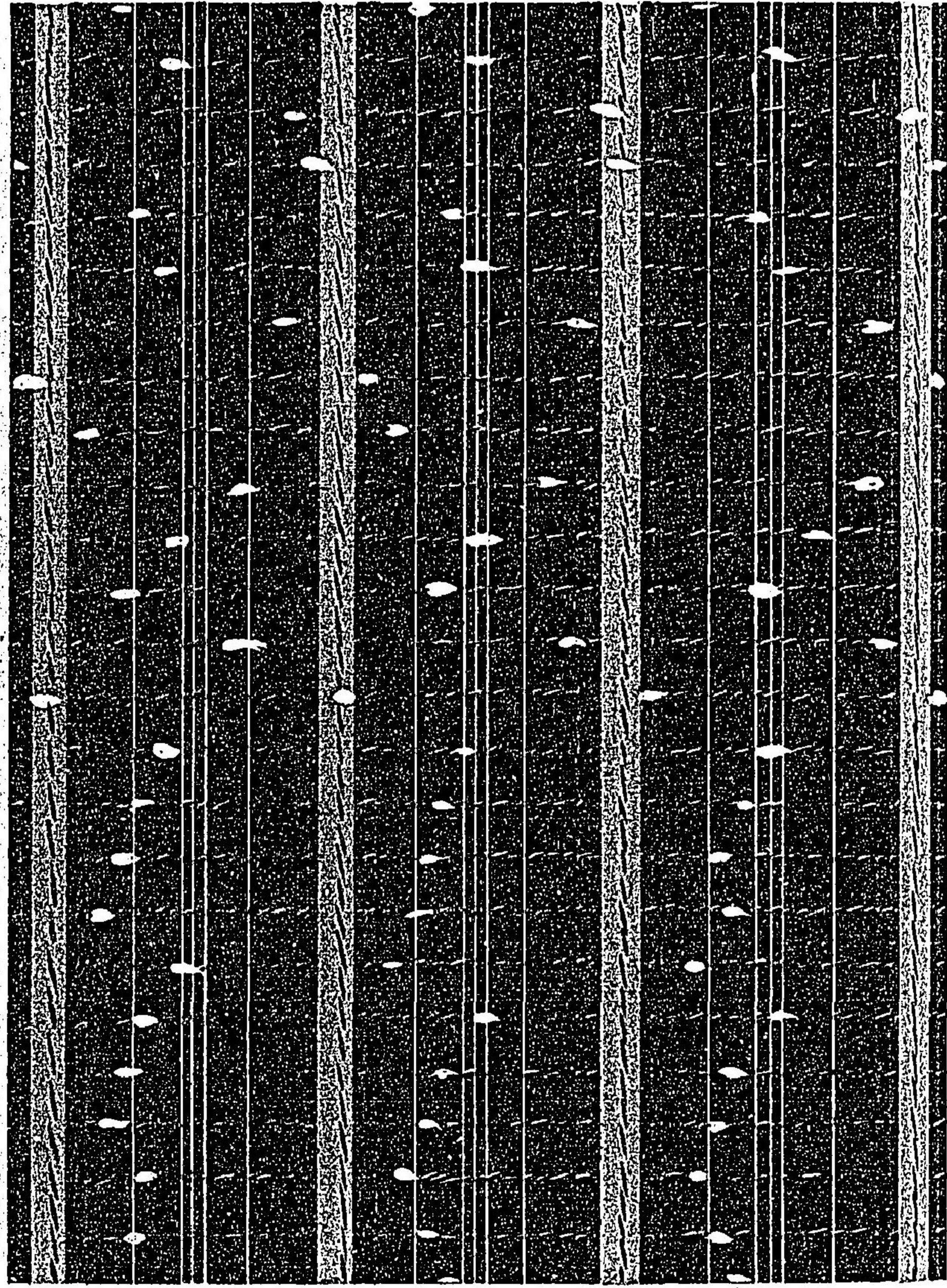
產地	品名	出品人	價格	染色試驗成績	添綿添綿添綿添綿備考
同同	同	工風緋	二		
同同	同	御召縮緬	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	大島緋	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	御召縮緬	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	竹葉縮緬	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	青梅縮緬	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	紋御召	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二
同同	同	同	二	溫湯石鹼曹達醋酸乾 日光	二

四百六十七

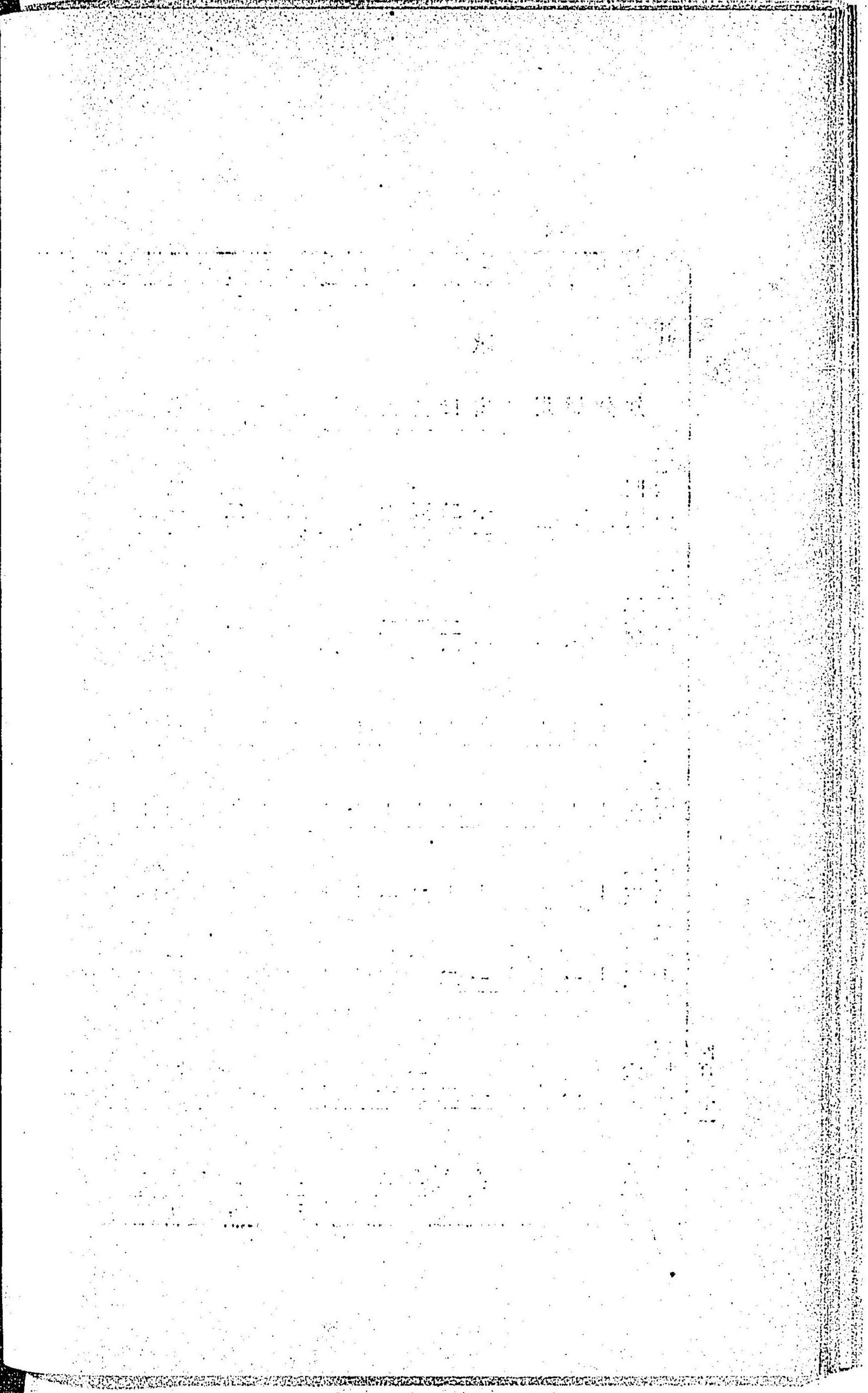




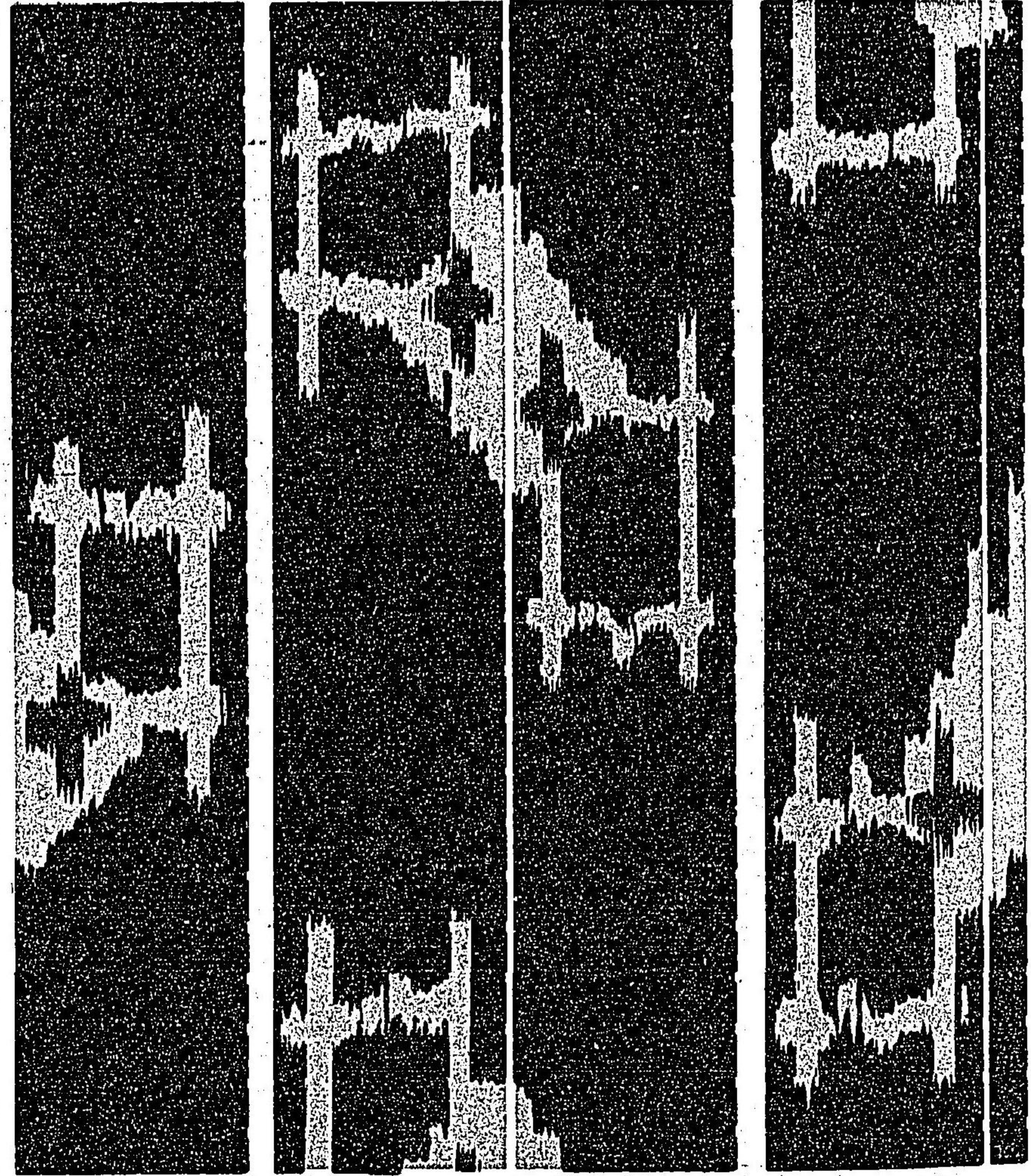
京棧玉川現物大



東京府河邊輝吉

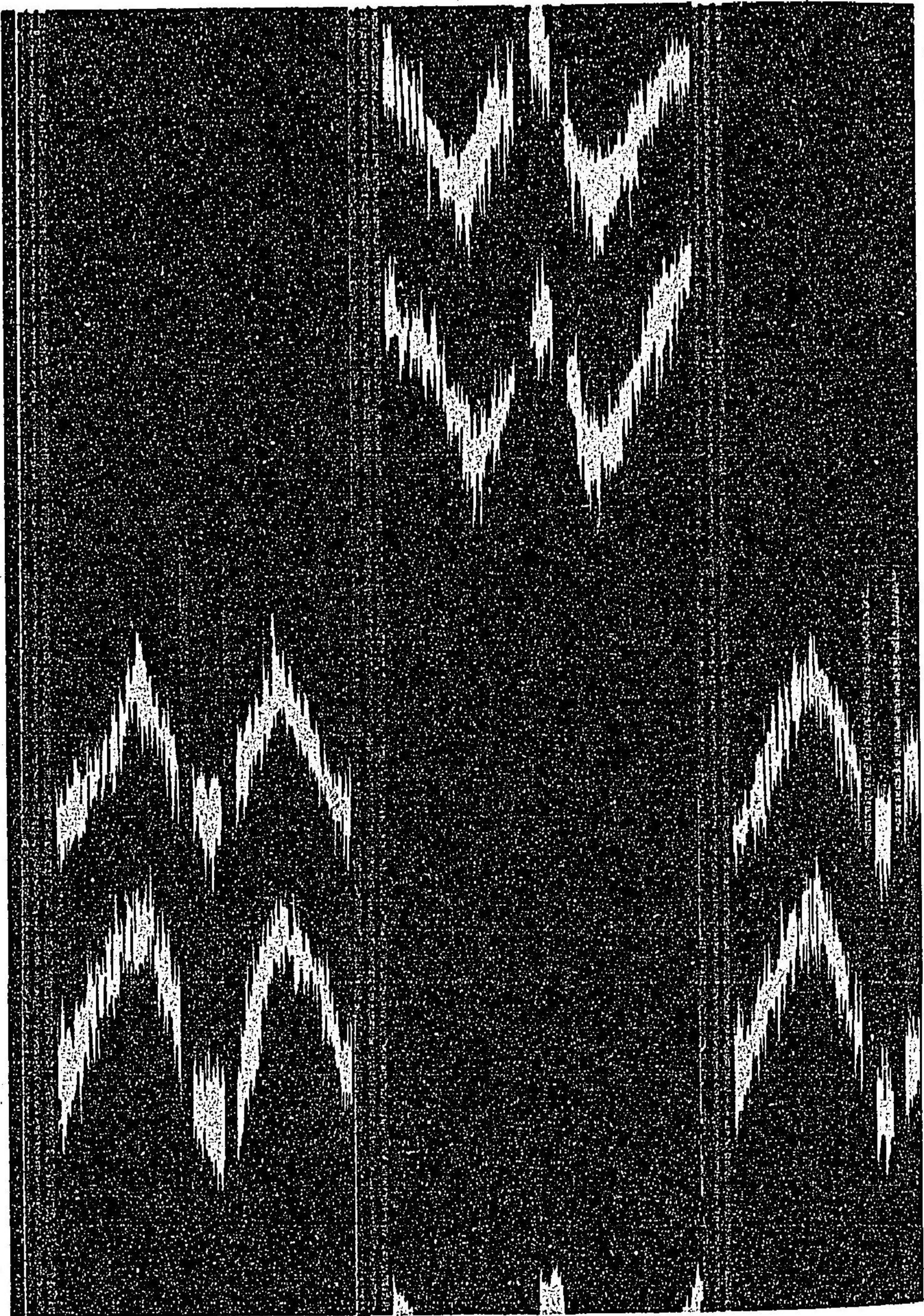


吉野入風織 現物大



栃木縣 茂木重三郎

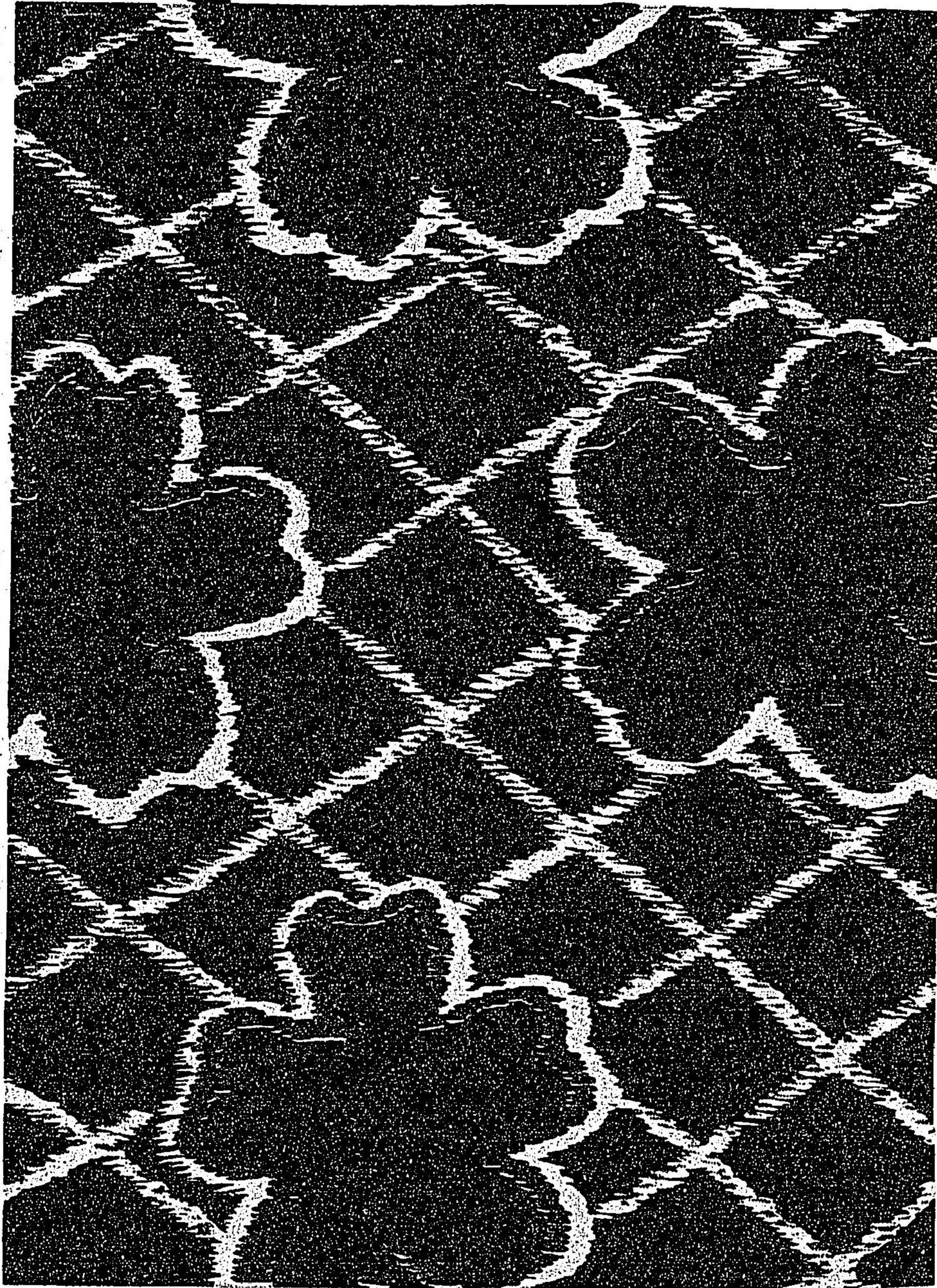
大柄吉野 現物大



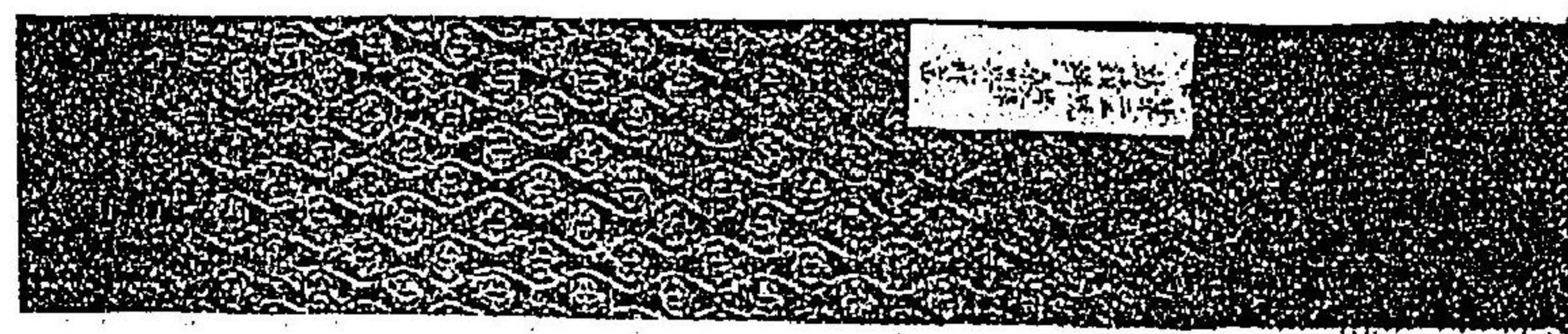
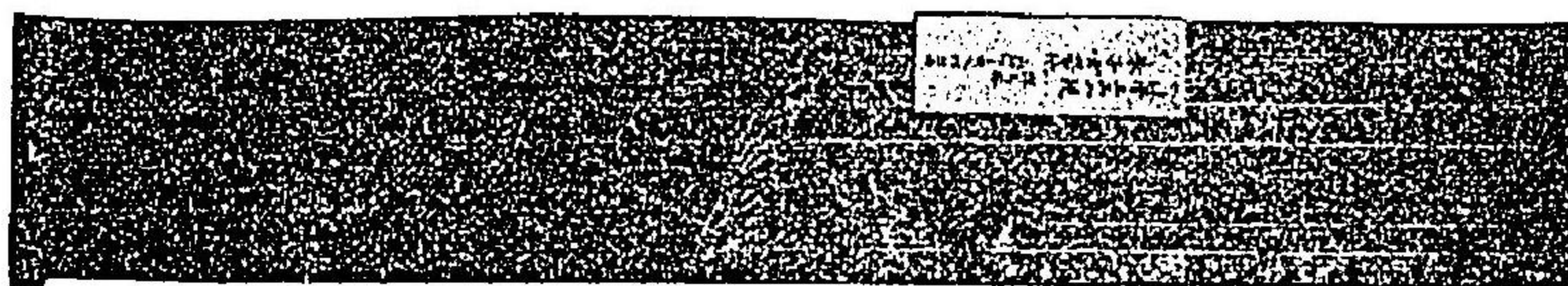
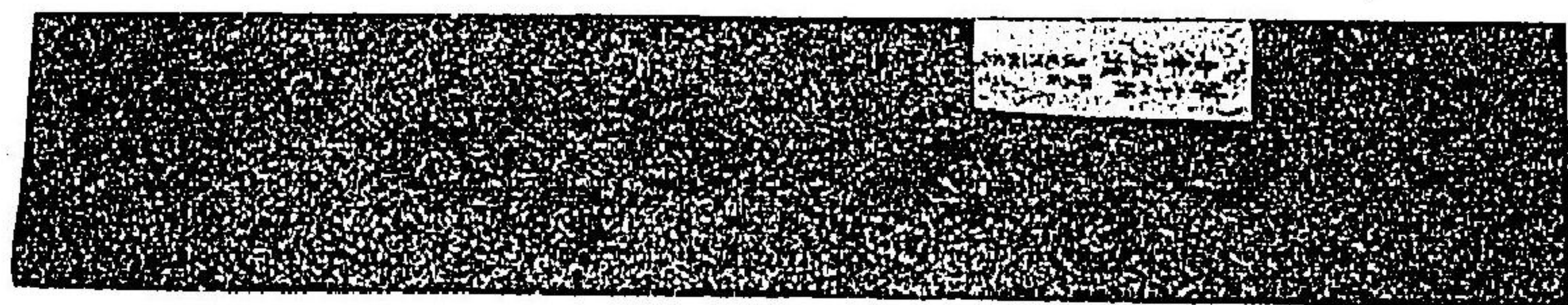
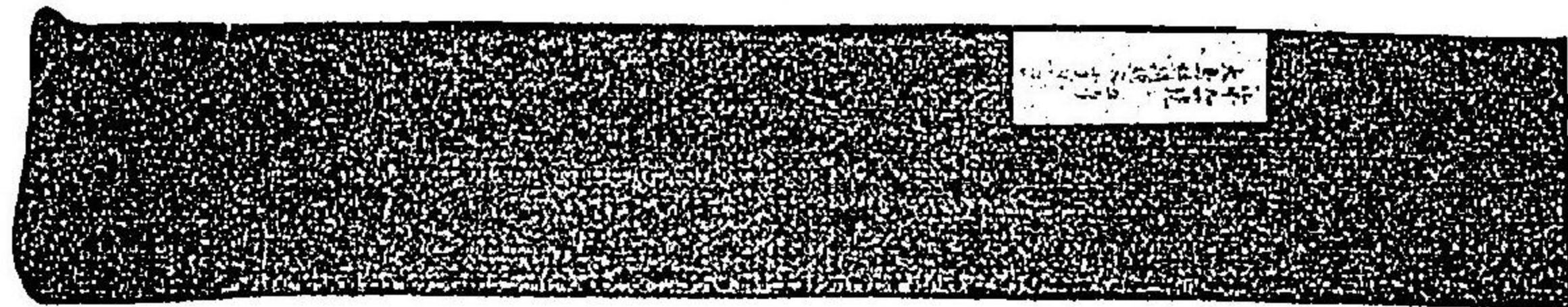
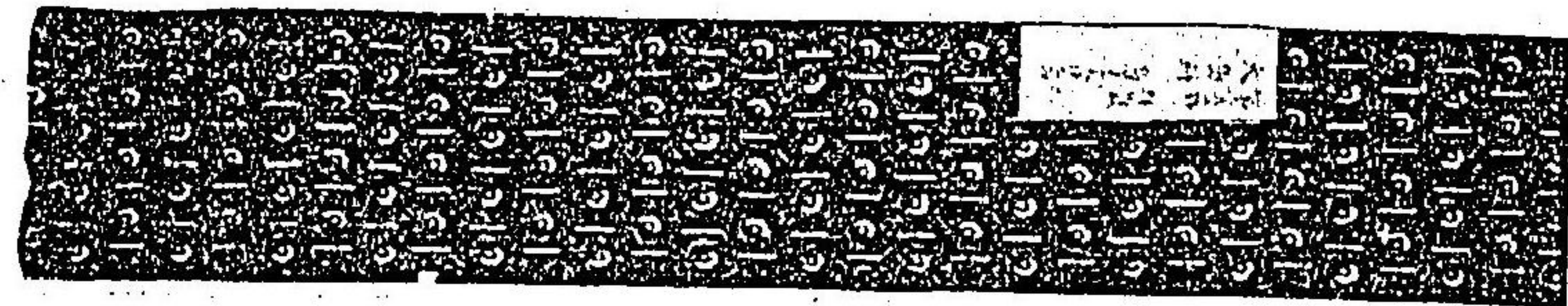
愛知縣 小川吉太郎

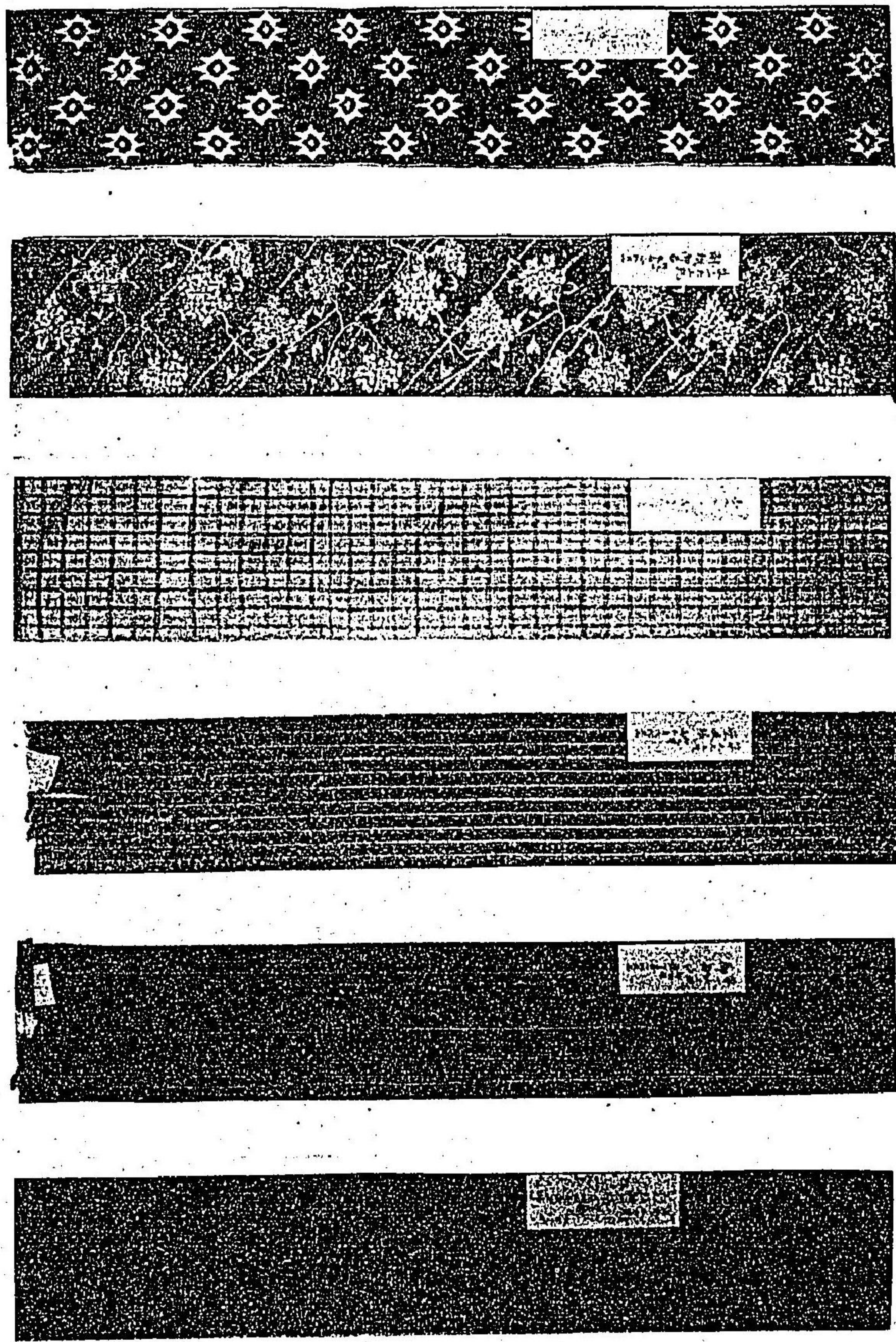


大  
島  
組



岐阜縣  
太田平右衛門





第五章

第二十八類 麻、毛其他ノ織物

其一 毛織物

毛織物及其ノ交織物ノ出品ハ東京、京都、大阪、兵庫、新潟、群馬、三重、福井、徳島及愛知ノ三府七縣ニ亘リ其ノ出品人員五十四名ニシテ點數ハ百二十ナリ、本會ハ前會ニ比シ聯合府縣ノ數ヲ増加セシヲ以テ随ツテ其ノ出品人員ニ於テモ又點數ニアリテモ著シク増加シ且各縣共ニ其ノ産額及ビ品種ヲ増加シ製品ハ益々改良セラレシハ明ニ之ヲ認ムルコトヲ得ベシ

今本會ニ出品セル主ナル品種ニ就キテ之ヲ見ルニ「セルヂ」、「モスリン」紺絨、霜降絨、絹紋「モスリン」袴地、「フランネル」、毛布、膝掛、旗布、毛織上布、被布地、綿毛交織、「バット」、馬糞織等ニシテ特ニ東京、大阪、福井ノ「モスリン」東京、愛知ノ「セルヂ」並ニ東京、兵庫ノ紡毛絨ニハ見ルベキモノ乏シカラザルナリ

今是等主ナル毛織及交織物ニ就キテ之ガ概評ヲ試ミシニ「セルヂ」、袴地、其他之ニ類セルモノニハ或ハ著シク進歩發達セルモノアレド多クハ原料毛絲ノ研究ニ足ラザル處アルガ如ク又其ノ縞柄ニ於テモ研究ノ余地多キヲ認メタリ染色ニ至リテハ或ハ絲染ノモノアリ、「トツブ」ニテ染色シ然ル後粗紡精紡ヲ施セルモノヲ使用セルアリ、而シテ其ノ絲染ノモノハ或ハ堅牢色ノモノアレドモ染色ノ際ニ於ケル織

維ノ交絡ヲ恐レ沸騰充分ナラズ爲ニ色合ノ堅牢度ヲ得ザルノミナラズ又其ノ色澤ヲモ損ゼルモノアリ、特ニ布染ニアリテハ染價ノ低廉ナルヲ競フノ結果著シク不堅牢ノモノアリ是等ハ共ニ羊毛纖維ノ性質ヲ知悉シ而シテ之ガ適當ノ染色法ヲ研究スルノ必要ヲ明カニ示セリ之レ愛知縣下ノ出品ニ特ニ多キヲ認メタル處ナリ其ノ他製織ニ至リテハ經絲ノ伸長其ノ度ヲ得ザルモノアリ之ガ爲メ緯絲ノ打込ニ適度ヲ得ザルモノアリ、又仕上ノ方法ニ至リテハ多クハ不完全ナルヲ免カレザルモノノ如シ、尙仕上ノ方面ヲ觀察スレバ不完全ナル其ノ仕上ハ直ニ織物ノ趣味ヲ損スルモノナルヲ恐ル、ガ故ニ織下シニアラズンバ僅ニ毛羽燒法ヲ施シ壓搾及ビ蒸氣ニテ所理セルガ如キ不完全ナルモノヲ出品セルアルヲ見ルニ至リテハ如何ニ本邦ニ於ル羊毛織工業ノ未ダ創業ニ屬スルモノナリトハ云ヘ無謀モ茲ニ至リテハ亦甚シキヲ感ズルナリ、是レ製織家ノ未ダ羊毛其モノ、性質ヲ究メズ需用者ノ之ヲ使用スルニ當リ如何ナル理學ノ影響ヲ受ケ羊毛ハ之ガ爲メ如何ナル變化ヲ及ボスモノナルカヲ知ラズ彼ノ絹織物ノ如ク又木綿織物ノ如ク製織後ノ趣味外見ヲ永久ニ保持スルモノナリト想像セルモノ、如キ是レ或ハ製織家ノ罪ニ非ラズトスルモ需用者ニ對シ寧ロ不親切ト云ハザルヲ得ザルナリ、又紡毛絨ニ就キテ見ルニ毛布ノ如キハ著シキ進歩ヲ認メ外國製品ニ比シ敢テ遜色ナキモノヲ製造スルニ到レルハ大ニ喜ブベシ然レドモ縞物及ビ膝掛等ノ如キモノノ中ニハ原毛ノ開毛混毛其宜シキヲ得ズ紡績モ亦不完全ニシテ製織ノ不注意ハ多ク仕上ニ至リテ全く不適當ナルヲ認メタリ、又「モスリン」業ハ多大ノ進歩ヲ來タシ

其ノ製品ニハ大ニ見ルベキモノアルニ至レルハ喜ブベシ然レドモ其ノ精練漂白ニ於テハ大部分ハ未ダ研究ノ足ラザルモノ、如シ又染色セルモノヲ見ルニ染色後ノ所理ニ一考ヲ費サル未成品多キハ何ゾヤ、「フランネル」類ニ至リテハ其ノ出品多カラズ茲ニ評論スベキノ必要ヲ認メズ然レドモ一般ニ毛織物ノ製造ハ未ダ幼稚ニシテ之ヲ海外品ニ比スベクモアラザルナリ、毛織物工業家ハ宜シク羊毛ノ性質ヲ知り之ニ適セル製織法ヲ施シ其ノ用途ニ應ジ適當ナル仕上法ヲ施サンコトヲ希望ノ至リニ堪ヘザルナリ

## 其二 麻織物及其他織物

麻織及ビ其ノ他織物ノ出品ハ麻織ニ於テ越後上布、石川縣ノ能登縮、滋賀縣ノ近江麻布、奈良縣ノ奈良麻布及ビ滋賀、福井、奈良ノ蚊帳地並ニ東京府ノ帝國製麻株式會社製品等ニシテ之ヲ前回ニ比シ格段進歩ノ形跡ヲ認メズト雖只或一部ニ染色法ノ改進セルアリ、其ノ他織物ハ前回ニテハ雜織物トシテ取扱ハレシモ今回ハ本類ニ屬スルコト、ナレリ、其ノ出品ニハ静岡縣ノ葛布、鳥取縣ノ以佐岐布等ヲ主トシ出品極メテ少數ニシテ別ニ一分類ヲナス程ノコトモナケレバ本類ニ入レシハ或ハ適當ナラン歟

今主ナル府縣ニ就キテ評論スベシ

## 東京府

本府ヨリ出品セル麻織物ハ帝國製麻株式會社ノ出品ニ係ルモノニシテ帆布、亞麻調帶、「ホース」等ナ

リ而シテ是等ノ製品ヲ見ルニ品質孰レモ優等組織亦緊密堅牢ニシテ頗ル佳良ナルヲ認ム殊ニ該會社ニ於テハ我邦唯一ノ紡績麻絲製造會社トシテ年々多額ノ麻絲ヲ製造シ以テ輸入防遏ニ力ヲ致セル等其ノ効一ニシテ足ラズ今回亦優賞ヲ擬セラレタル蓋シ偶然ニ非ザルナリ然レドモ未ダ細手ヲ用ヒタル麻織物ノ精巧ナルモノ、產出ヲ見ザルハ夙ニ遺憾トスル所ナレバ該會社タルモノ宜シク奮勵一番以テ益々斯業ノ發展ヲ期センコトヲ望ム

## 新潟縣

本縣ノ出品ニ係ル麻織物ハ上布、縮等其ノ主ナルモノニシテ此外紹縮、座布圍地、絹苧織等ノ種類アレドモ依然舊態ヲ存シ格別ノ進歩ヲ認ムルコト能ハザリシハ頗ル遺憾トスル所ナリ尤モ今回ノ出品物中合資會社鹽澤商店ノ出品ニシテ麻織物トシテ頗ル精巧ニ製織サレタル十字緋並ニ山木庄左衛門ノ出品ニ係ル絹苧織女帶地等ノ如キ見ルベキモノ少カラズト雖一般ニ本縣ノ織物ハ絹織物ニ全力ヲ傾注セルノ結果麻織物ヲ輕視セルニアラザルヤノ感ナキ能ハズ若夫レ組合員ガ益々一致團結シテ銳意改良ヲ講ズルト同時ニ他ノ麻織物新進地ヲ視察シ大ニ研鑽ヲ積マバ本縣麻織物ノ巨擘タル越後上布ノ名聲ヲ發揚スルコト容易ナラン

## 奈良縣

本縣ノ出品中主ナルモノハ晒布、縞布、片麻、兩麻、布圍地等ニシテ就中晒布ハ最多數ヲ占メタリ蓋

シ晒布ハ本縣ノ特産トスル所ニシテ其ノ聲價ハ已ニ定評アル所ナリ隨ツテ麻布ノ晒シタルモノニ就キテハ今回各府縣ノ麻織物出品中其右ニ出ヅルモノナシ、然レドモ是等出品物中往々ニシテ再晒等ノ爲メニ著シク幅ノ縮マリタルモノ等ヲ見受ケタルハ取ラザル所ナリ縞布ニ至リテハ殆ンド見ルベキモノナカリシハ遺憾トスル所ナリ、由來本縣ハ木綿緋ノ製產地トシテ緋ノ製造法ニ對シテ特得ノ技術ヲ有スルモノアレバ此法ヲ直ニ取リテ以テ麻織物ノ上ニ應用スルニ至ラバ本縣麻織物ノ改良並ニ種類増殖上頗ル有利ナルコト、信ズ之ヲ要スルニ本縣麻織物ハ所謂奈良晒ニ安シ緋等ノ柄等ニ至リテハ研究ノ念薄キモノ、如シ今ヤ麻布晒ト緋トニ就キテハ近來滋賀縣ニ於テ改良工夫ヲ施シツ、アルアリ而シテ其ノ結果孰レモ良好ナルニ於テハ從來ノ晒布ノミヲ以テ安ンズベキノ秋ニアラズ當業者タルモノ宜シク此點ニ注意シ一層相戒シメ相勵ミテ本縣麻織物ノ擴張ヲ計ラザルベカラズ

## 静岡縣

本縣ノ出品物ハ葛布、雁皮紙、布織、沙織等ニシテ就中葛布ノ出品點數最多シ葛布ハ本縣ノ特産物トシテ知ラル、所ノモノナルガ格別評スベキ事項ヲ認メザレバ之ヲ略ス

## 滋賀縣

本縣麻織物ハ古來ヨリ近江麻布ト稱シテ名聲アリ今回ノ出品物ニ就キテ之ヲ見ルニ其ノ出品點數ノ多キコト本縣ノ右ニ出ヅルモノナシ、然シテ本縣出品物中ノ主ナルモノハ片平、座布圍地、縵子、半洋

晒布及生平、本麻晒布及生布、蚊帳地等ニシテ就中片平ハ全數ノ約八割ヲ占メタルヲ見ル一般ニ麻織物ハ廣ク世ノ需用ニ應ジ實用ニ適シメントスルニハ第一原料ノ供給不足ナルコト、第二原料ノ高價ニ失スルコト等ノ事情アルヲ以テ近來漸ク洋麻ヲ用ヒ片麻製ノモノヲ多ク見ルニ至レリ今本縣ノ出品物ニ就キテ之ヲ見ルニ亦本麻ヲ用フルモノ漸ク少ナク今ヤ殆ンド洋麻ヲ用フルト云フモ可ナリ、隨テ價格亦低廉ナルモノ、如シ愛知川村ニ麻布晒染試驗場設置以來晒染色柄合等ニ就キテ研究指導セル結果其ノ成績著シク見ルベキモノアリ、例ヘバ晒方ニ改良ヲ加ヘタルコト緋柄ニ工夫ヲ致シタルコト等ヨリカメテ價格ノ低廉ヲ計リ廣ク世ノ需用ニ應ゼントスルガ如キ蓋シ本縣麻布ノ特色ナルベシ、唯染色ニ於テ未ダ充分ニ化學染料ノ完全ナル應用ヲ得ザルモノアレバ本縣麻布ノ特色トシテハ亦此等ノ件ニ就キテ今一段ノ研究ヲ要スルコト必要ナルベシ

長野縣

本縣ノ出品物ハ何レモ價格頗ル低廉ナリ是レ必竟農家ノ副業ニ依ル製產物ナルヲ以テノ故ナラン若夫レ此ノ價格ニテ本縣ヨリ多數ノ製產額ヲ見ルコトヲ得バ有望ナレドモ產額ノ至ツテ少額ナルハ遺憾トスル所ナリ

福井縣

本縣出品ノ麻織物ハ蚊帳地、麻織物ヲ主トシ其ノ他紺綠布、紺布等ノ出品物ヲ見ルノミ蚊帳地ニハ多

少見ルベキモノナキニアラザレドモ茲ニ評セズ

石川縣

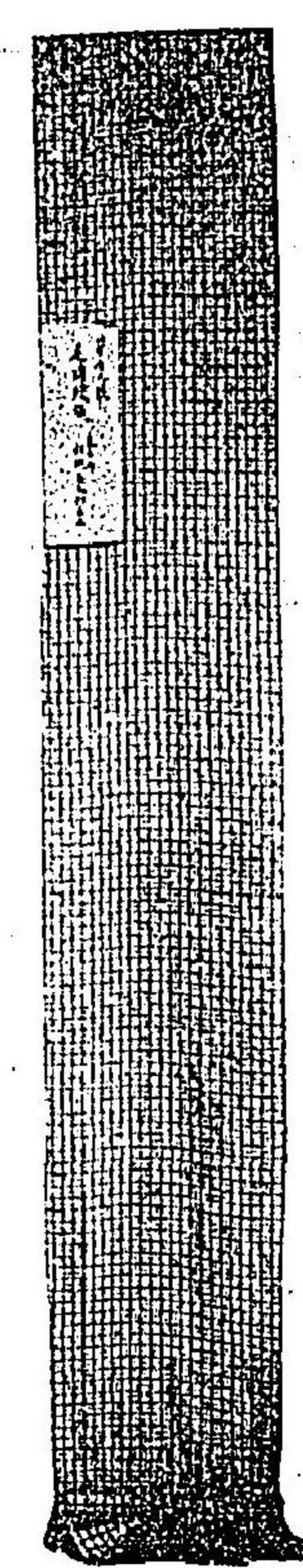
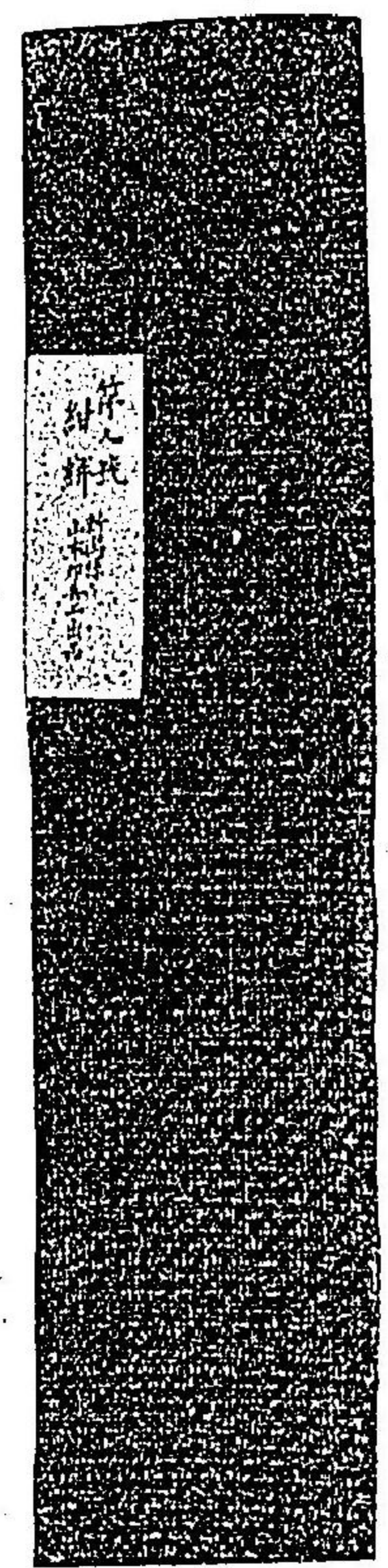
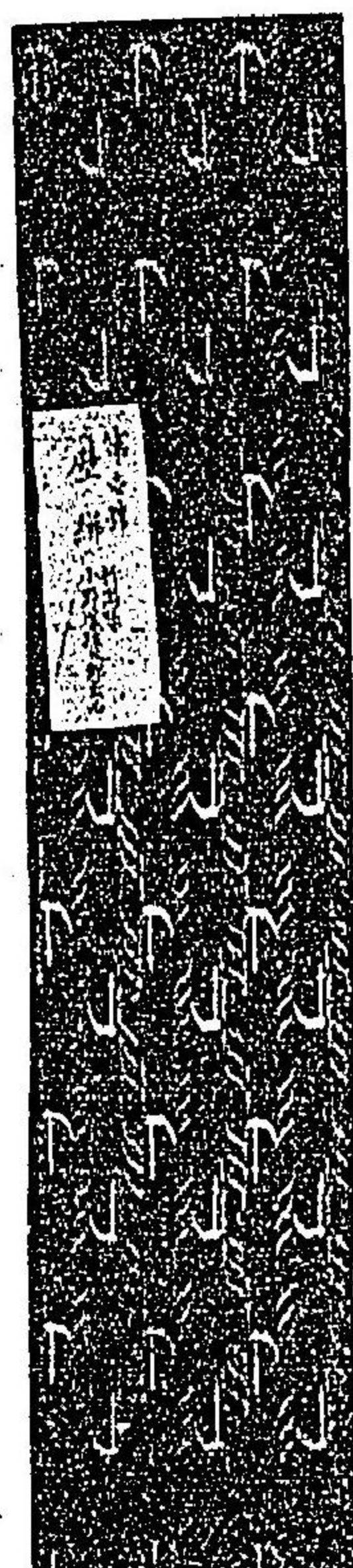
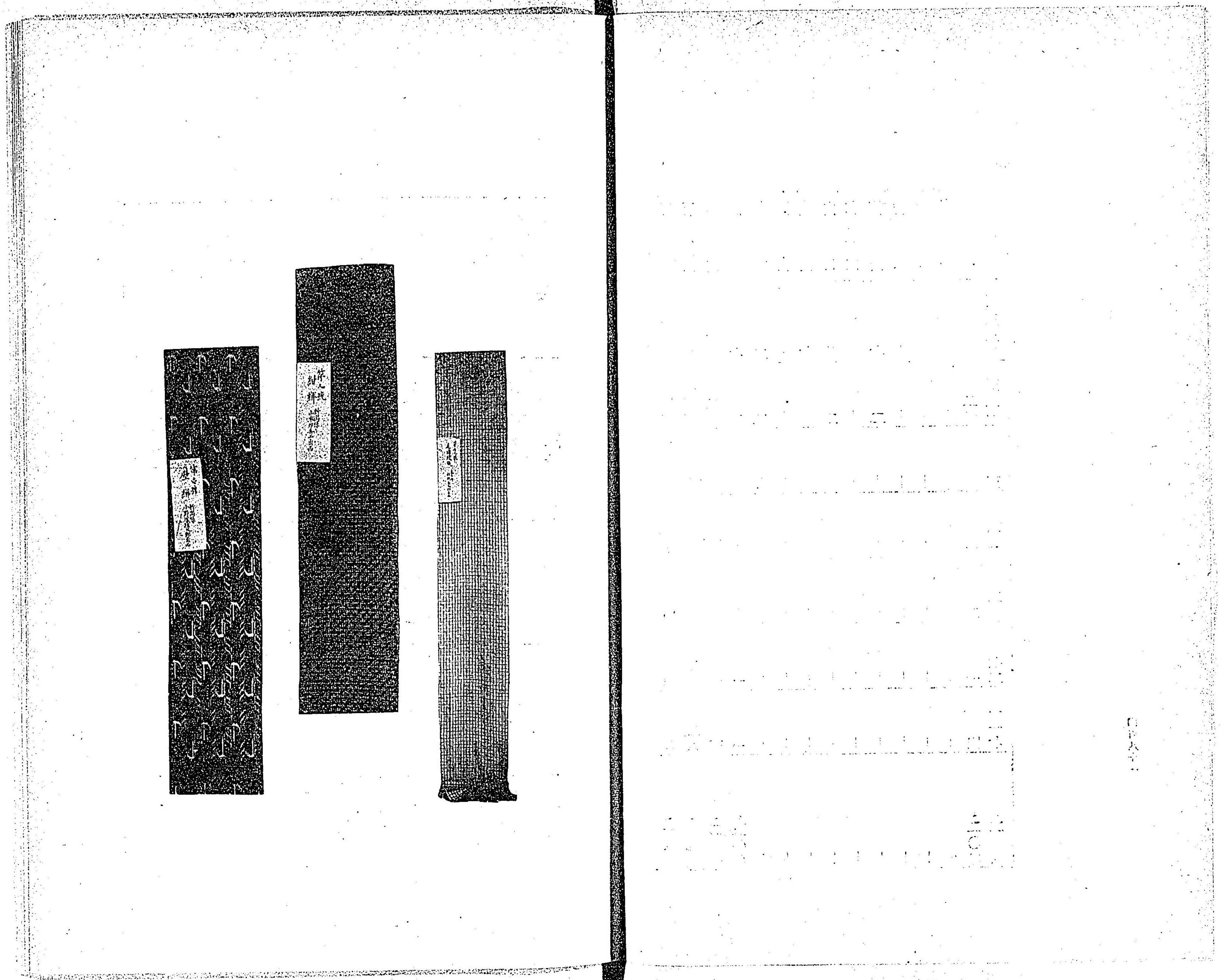
本縣出品ノ麻布ハ所謂能登上布、能登縮布等ニシテ主トシテ縣下鹿島、羽咋二郡ノ產出ニ係ルモノナリ本縣ノ麻布ハ奈良滋賀兩縣ノ出品ト相待ツテ今回麻織物出品中ノ白眉ト稱スベキナリ即チ奈良縣ハ晒布ニ於テ滋賀縣ハ片麻應用ニ加フルニ緋ノ研究ヲ以テシ世上一般ノ廣キ需用ニ應ゼントスル實用上ノ特色ヲ發揮セントカマルコトハ前已ニ述ベタル所ナルガ本縣麻布モ亦一種ノ特色ヲ有スルコトヲ見ルベシ

能登上布ハ以前ハ緋ノ柄多カリシニ比シ近來ハ縞上布ニカヲ盡セル結果其ノ進歩著シキモノアリ特ニ本縣當業者ハ夙ニ薩摩上布ノ代用品トシテ其ノ染色柄合ニ研鑽ヲ積ミタル結果今ヤ大ニ見ルベキモノアルニ至レリ、今後一層緯絲ニ精撰ヲ加ヘ製織ニ注意ヲ拂ヒ出來得ベクンバ價格ノ低廉ヲ計リ緋、白緋等ノ產出ヲ獎勵スルアラバ其ノ需要ノ増加ヲ見ル蓋シ難カラザルベシ

以上各府縣ノ外京都府、兵庫縣、三重縣、岐阜縣、富山縣、鳥取縣、島根縣、廣島縣、徳島縣、愛知縣等ヨリ出品セルモノアリト雖何レモ點數尠ク且別ニ批評ヲ加フル程ノコトナキヲ以テ茲ニ之ヲ省クコトハセリ

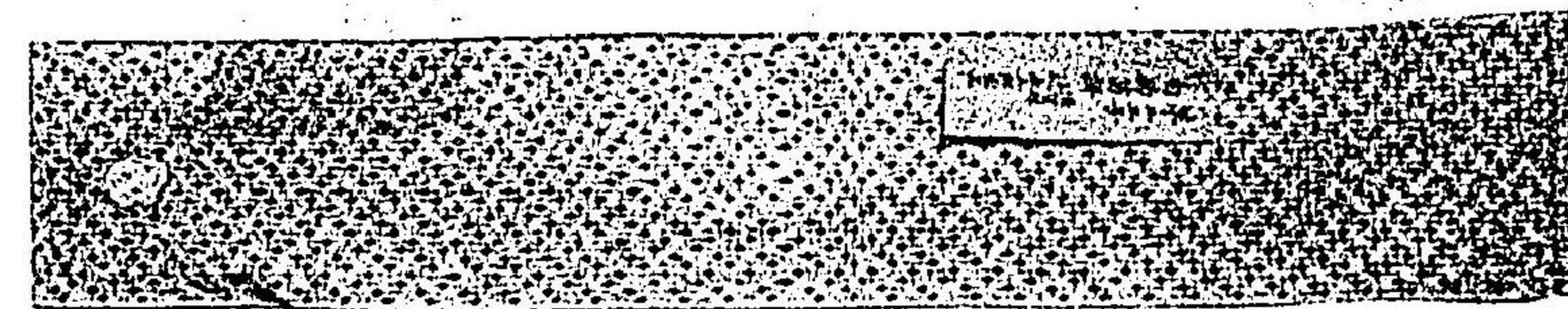
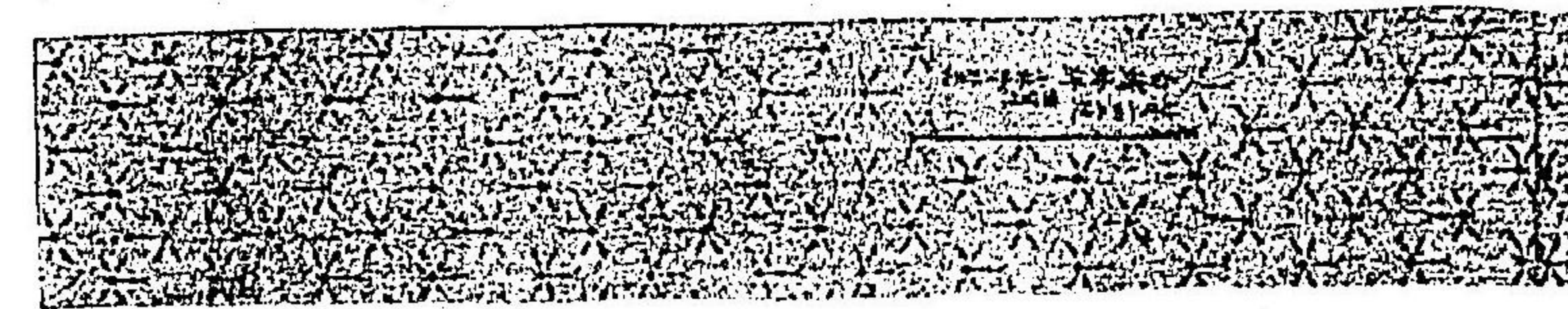
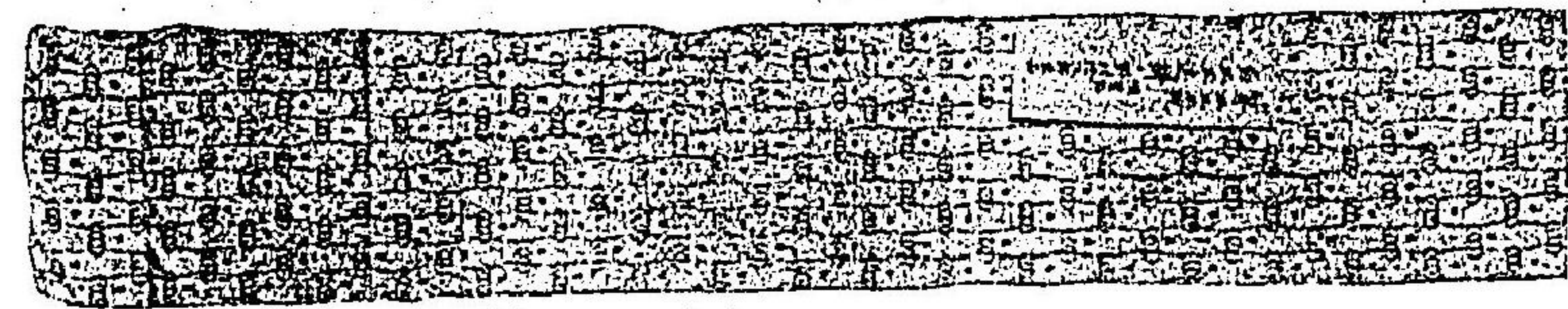
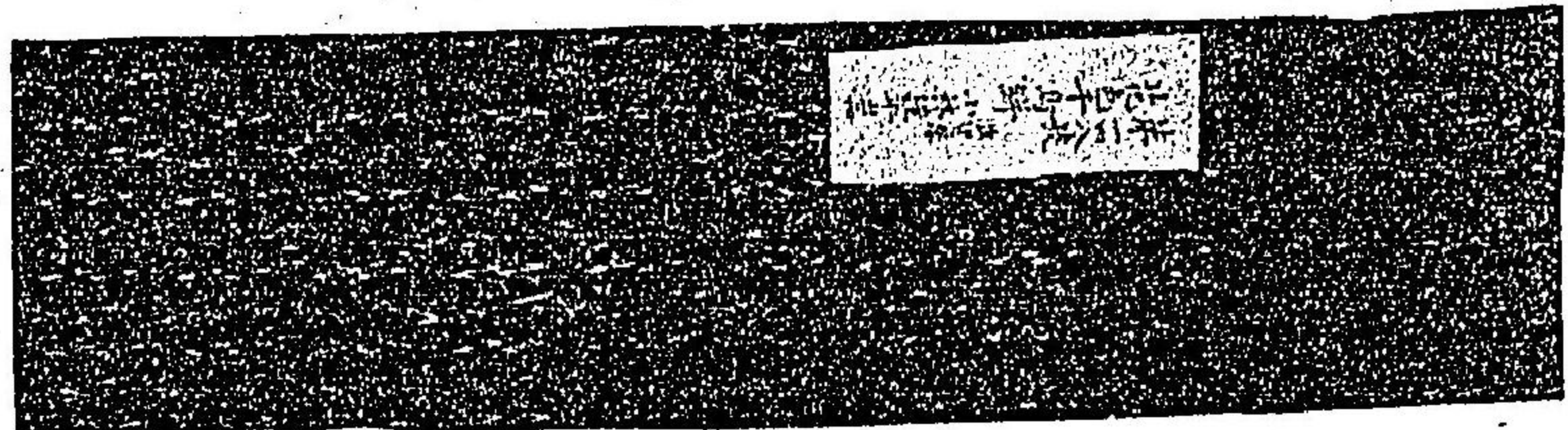
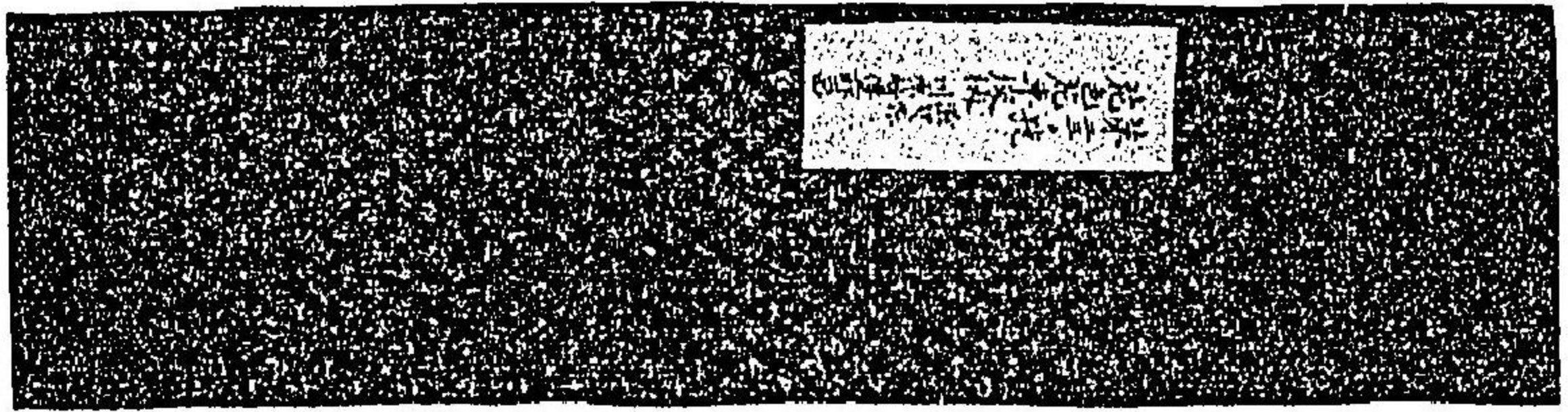
第三部第二十八類 擬賞一覽表





目下六十一





第六章

第二十九類 刺繡

本類ノ出品ハ總計二百五十八點人員百十九名ニシテ三府十五縣ニ亘レリ而シテ刺繡ヲ應用シタルモノニ種々アリ半襟、匾額、皿敷、卓被、枕掛、帛掛、肩掛、及ビ帶揚等是ナリ、就中半襟ノ出品最モ多數ヲ占メ匾額之ニ亞ギ衣服地及ビ手巾ハ稍僅少ナリ今左ニ各府縣ノ出品ニ就キテ逐次之ヲ批評セン

東京府

本府ノ出品ハ僅少ニシテ中西儀平出品輸出向手巾ノミナリ其運針普通ナレドモ圖案稍宜シキヲ得タルモノト認ム

京都府

本府ノ出品ニハ半襟、匾額、袈裟、打敷、屏風、卓被、及ビ衣服地等アリ其中重ナルモノハ屏風及ビ匾額ニシテ最モ多數ナルハ半襟ナリトス、而シテ今回出品ノ半襟ハ其案ヲ謠曲意匠ニ採リ友禪染ヲ併用シタルモノト全然刺繡ノミニ依ルモノトアリ其ノ配色及ビ製作ノ技術ニ於テ逸品尠カラズ荒川益次郎出品箴模様半襟ノ如キハ賞揚スベキモノナリ西村總左衛門出品屏風北極熊ノ如キハ其ノ圖案製作技術共ニ精巧ナルモノニシテ今回第二十九類出品中優秀ノ作トス田中利七出品匾額モ亦之ニ亞ギ輸出品ノ上乘ナルモノトス

大阪府

本府ノ出品ニハ半襟、帶地、壁掛、油團、帶地及ビ袋物等アリ半襟ニ於テ其配色、圖案ニ就キテ多少注意スベキモノアリシト雖其ノ他概シテ進歩ノ形蹟ヲ認メザルハ遺憾トス

神奈川縣

本縣ノ出品ニハ卓被、衣服地及ビ枕掛等アリシト雖批評ノ價值アルモノ尠キヲ憾ム

兵庫縣

本縣ノ出品ニハ屏風、卓被及ビ枕掛等アリシト雖モ稱揚スベキモノナキヲ遺憾トス當業者宜シク其ノ繡技粗雜ニ流レズ意匠配色等ニ留意シ本邦輸出刺繡ノ名聲ヲ失墜セシメザランコトヲ務メザルベカラズ

奈良縣

本縣ノ出品ニハ匾額、屏風、扇子、卓被及ビ帛紗等アリ圖案配色及ビ繡法ニ於テ稍見ルベキモノアリ將來製作ニ一層力ヲ注グコト肝要ナラン

三重縣

本縣ノ出品ニハ匾額、屏風及ビ打敷等アリ匾額ニ於テ概シテ繡技見ルベキモノアリ然レドモ圖案ノ奇抜ニ失シタルヲ嫌アルモノアリ宜シク此點ニ注意シ大成ヲ期スベキナリ

滋賀縣

本縣ノ出品ニハ壁掛、匾額、打敷、衣服地、屏風、及ビ半襟等アリ其ノ意匠配色等佳良ナルモノアリシト雖モ未ダ舊態ヲ脱セザル點多シ將來改良ノ法ヲ講ズルコト肝要ナラン

岐阜縣

本縣ノ出品ニハ肩掛、衣服地、匾額、柱掛、衝立及ビ手巾等アレドモ孰レモ其ノ繡技配色等幼稚ナリ將來一層ノ研究ヲ要ス

福井縣

本縣ノ出品ニハ匾額アリ其繡技圖案等拙劣ナルヲ免レズ

石川縣

本縣ノ出品ニハ手巾、皿敷、衣服地、匾額及ビ團扇等アリ其ノ繡技精巧ヲ極メ圖案配色等佳良ナルモノアリ酢屋長次郎及ビ吉田長作出品ノ手巾ノ如キハ稱讚ノ價值アリ本縣ノ出品ハ孰レモ輸出品ナルニ依リ海外ノ嗜好ニ投ズル圖案配色ヲ考ヘ繡技ニ重キヲ致セバ將來益々有望ナラン

富山縣

本縣ノ出品ニハ手巾、打掛及ビ匾額等アレドモ多クハ舊套ヲ脱セザルヲ嫌フ繡技ニ今一層ノ改良ヲ

要ス

島根縣

本縣ノ出品ニハ匾額及ビ掛繼等アリ多少注意ヲ拂フベキ點ナキニアラザルモ特ニ批評スルノ價值ナシ

廣島縣

本縣ノ出品ニハ衣服地及ビ卓被等アルモ其ノ繡技未ダ批評スベキ價值ナシ

山口縣

本縣ノ出品ハ帛紗及匾額等ニシテ其ノ技工並ニ圖案等未ダ幼稚ニシテ批評ノ價值アルモノ尠シ

德島縣

本縣ノ出品ニハ屏風、卓被、壁掛、枕掛及ビ衣服地等アリ其ノ圖案配色ニ於テ多少見ルベキ點アレドモ繡技未ダ舊套ヲ脱ゼザルノ嫌アリ將來其製作ニ就テ一層ノ研究ヲ切望シテ止マズ

香川縣

本縣ヨリノ出品ハ匾額ニシテ少數ナリ其ノ技工モ未ダ幼稚ノ域ヲ脱セズ故ニ批評ヲ省略ス

愛知縣

本縣ノ出品ニハ衣服地、手巾、打敷、半襟、置物、祭禮用幕、肩掛、國旗文字標本、匾額及ビ枕掛等アリ、出品中ニハ其運針圖案及ビ配色ニ於テ稍進歩ノ形績顯著ナルモノアリト雖多クハ舊態ヲ脱セズ且其圖案應用ニ於テ奇抜ニ失スルモノアルハ惜ムベキ所ナリトス

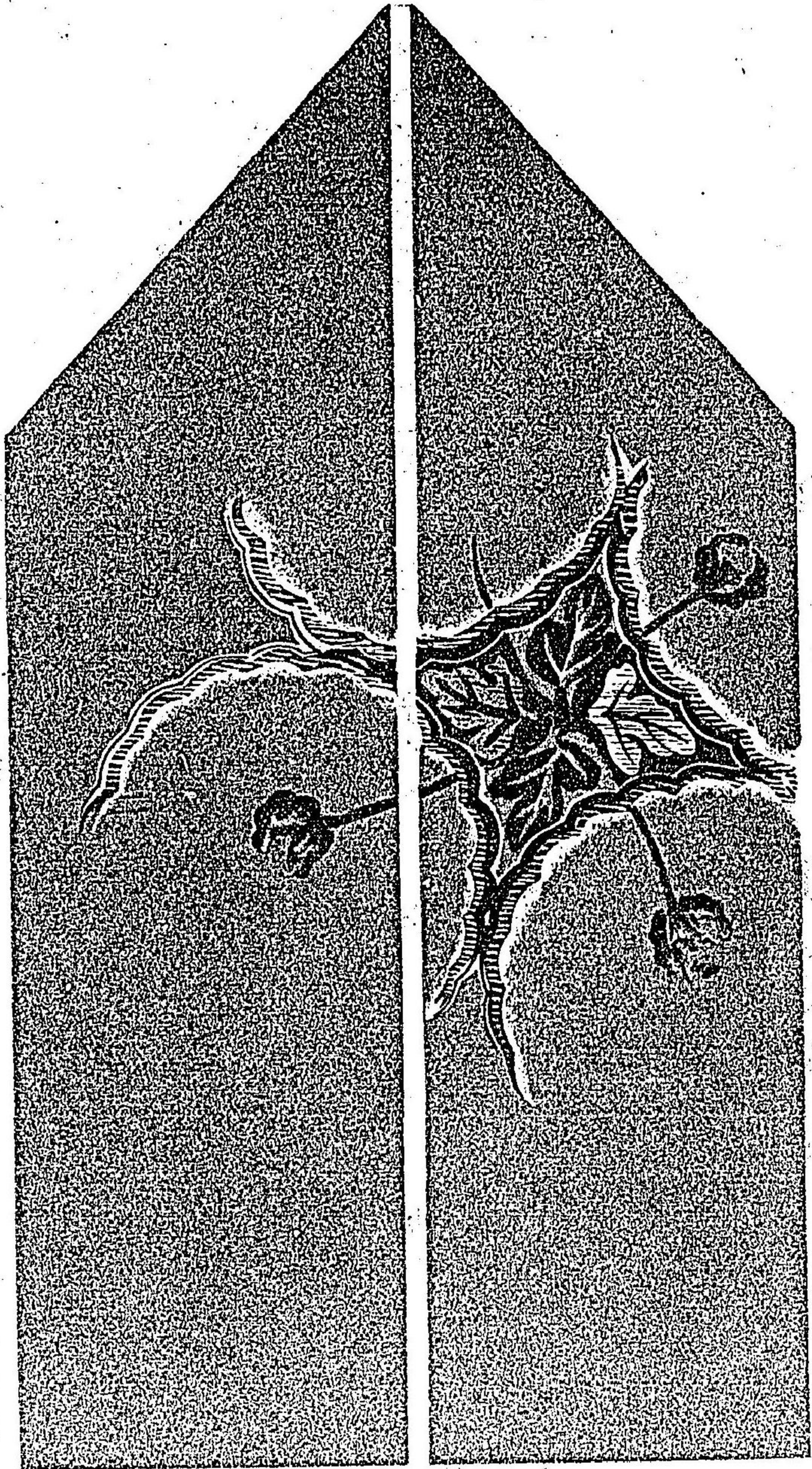
之ヲ要スルニ本類ニ屬スル出品ノ大部分ハ輸出品ニシテ其ノ圖案配色製作技術共ニ精巧ナルモノ尠カラズ而シテ刺繡輸出品ハ能ク其輸出先ノ嗜好ニ應ズルノ圖案配色ヲ採用シテ需用ノ途ヲ求メ又内ニアリテハ徒弟學校ニ因リ職工ヲ養成スル等斯道ノ發展ヲ圖リ其ノ効果ヲ發揚センコトヲ勵ムベシ  
本類出品並ニ褒賞統計表ハ左ノ如シ

第二十九類出品並ニ褒賞統計表

府縣名	出品				擬賞等級				出品人員ニ對スル擬賞割合
	點數	人員	一等	二等	三等	四等	計		
東京	六三	三九	一				一	一〇〇	
大阪	一八	五			四	六	三	三二	
京都	五	一					一	〇〇	
神戶									
兵庫									
新加坡									
群馬									
茨城									
栃木									
奈良	一〇	五						二〇	
合計									

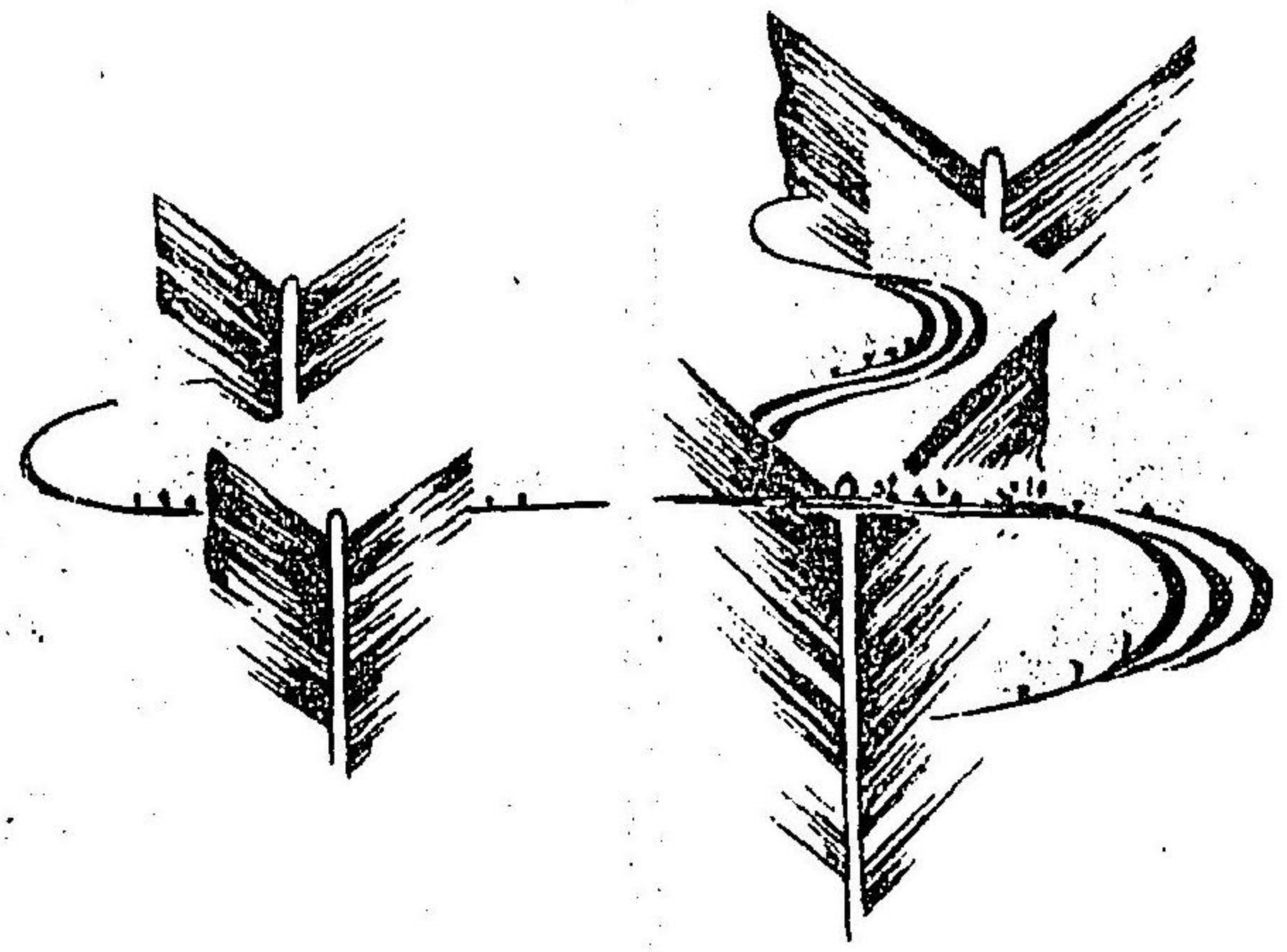


縮緬縫衿(菊模様) 三分一



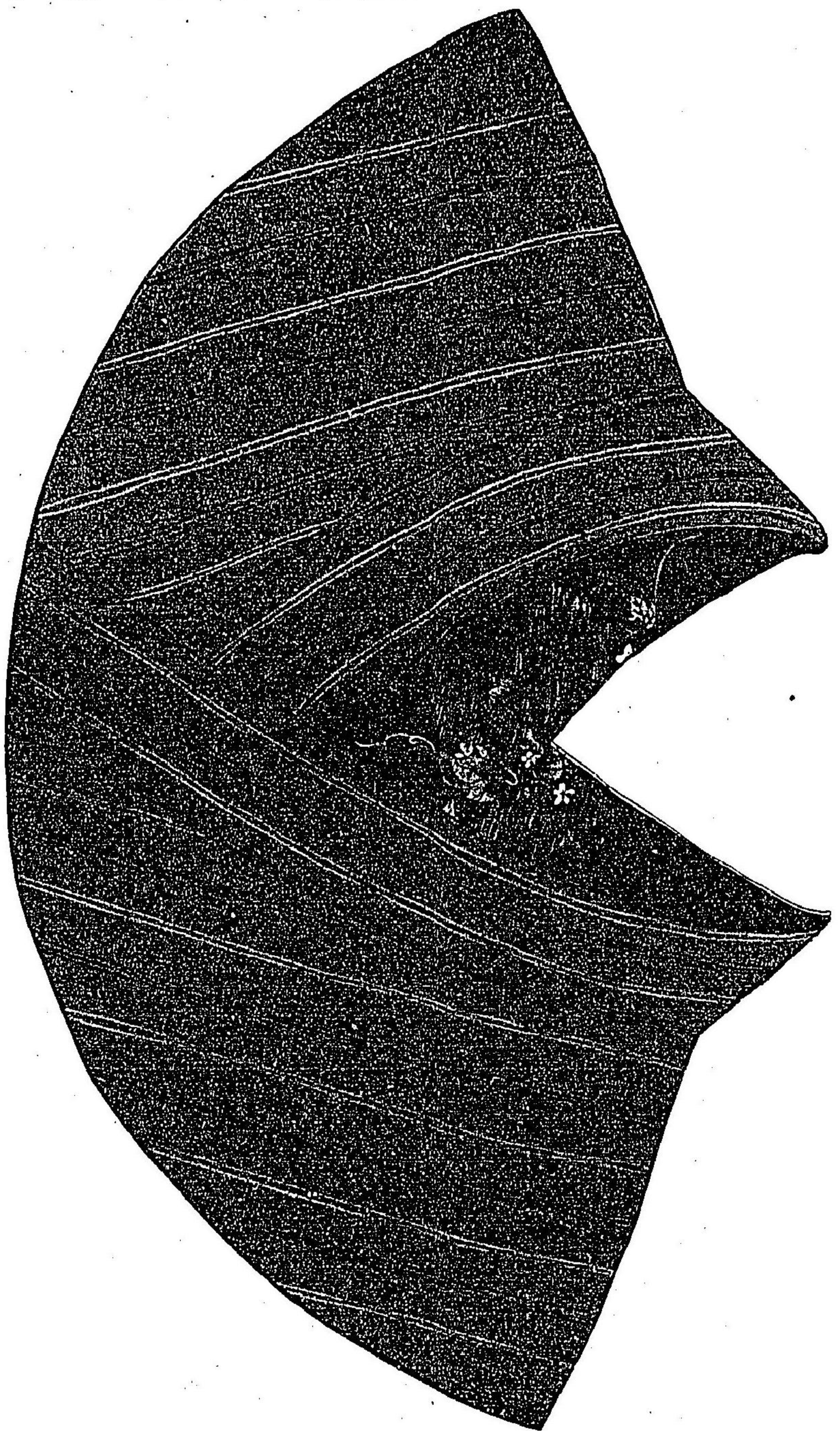
京都市 脇坂延太郎

縮緬縫衿(謡曲簾) 三分一



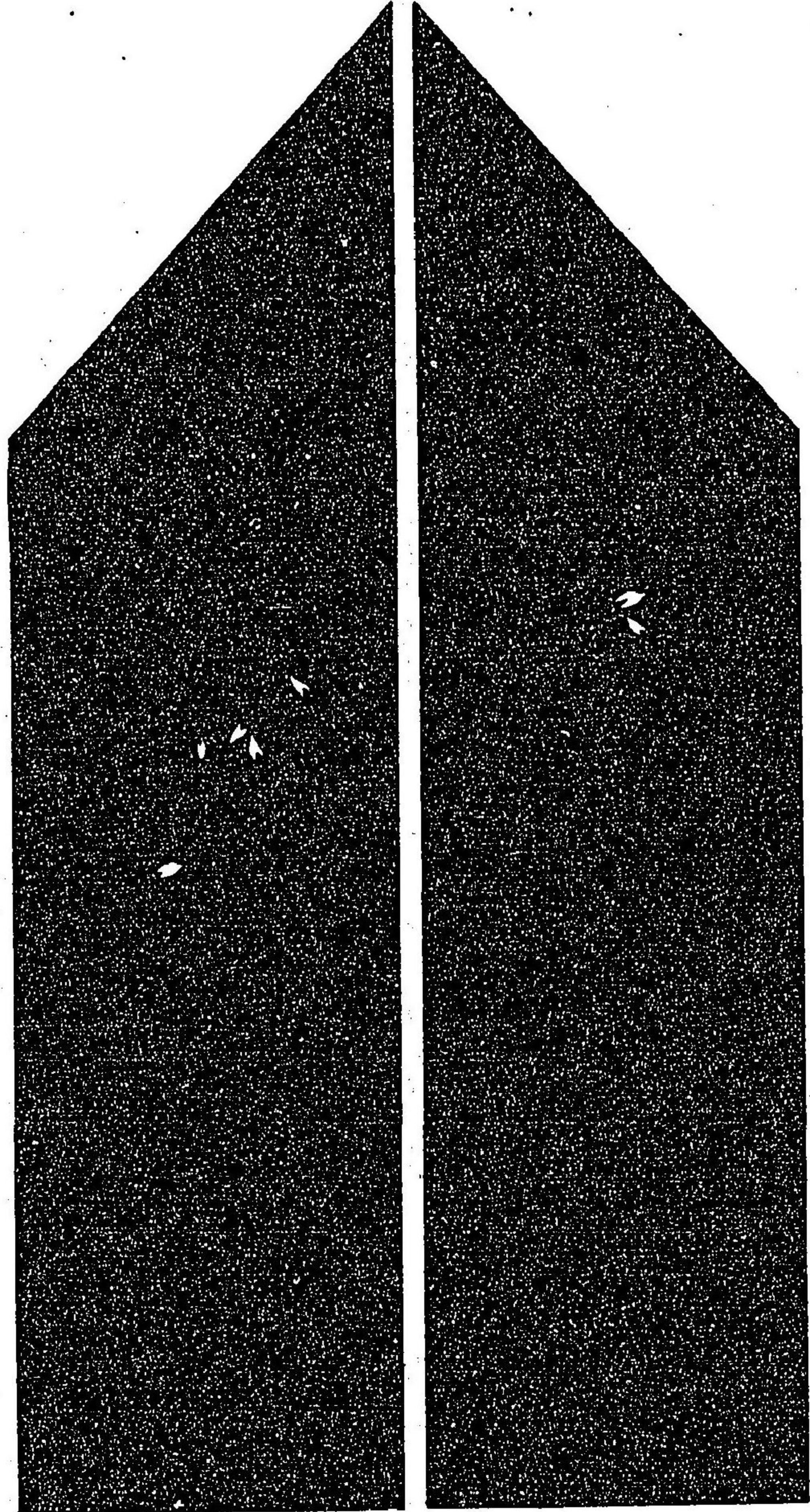
京都府 荒川益次郎

京都府 宮本 儀助



縮緬半襟 露曲夕顔 (三分一)

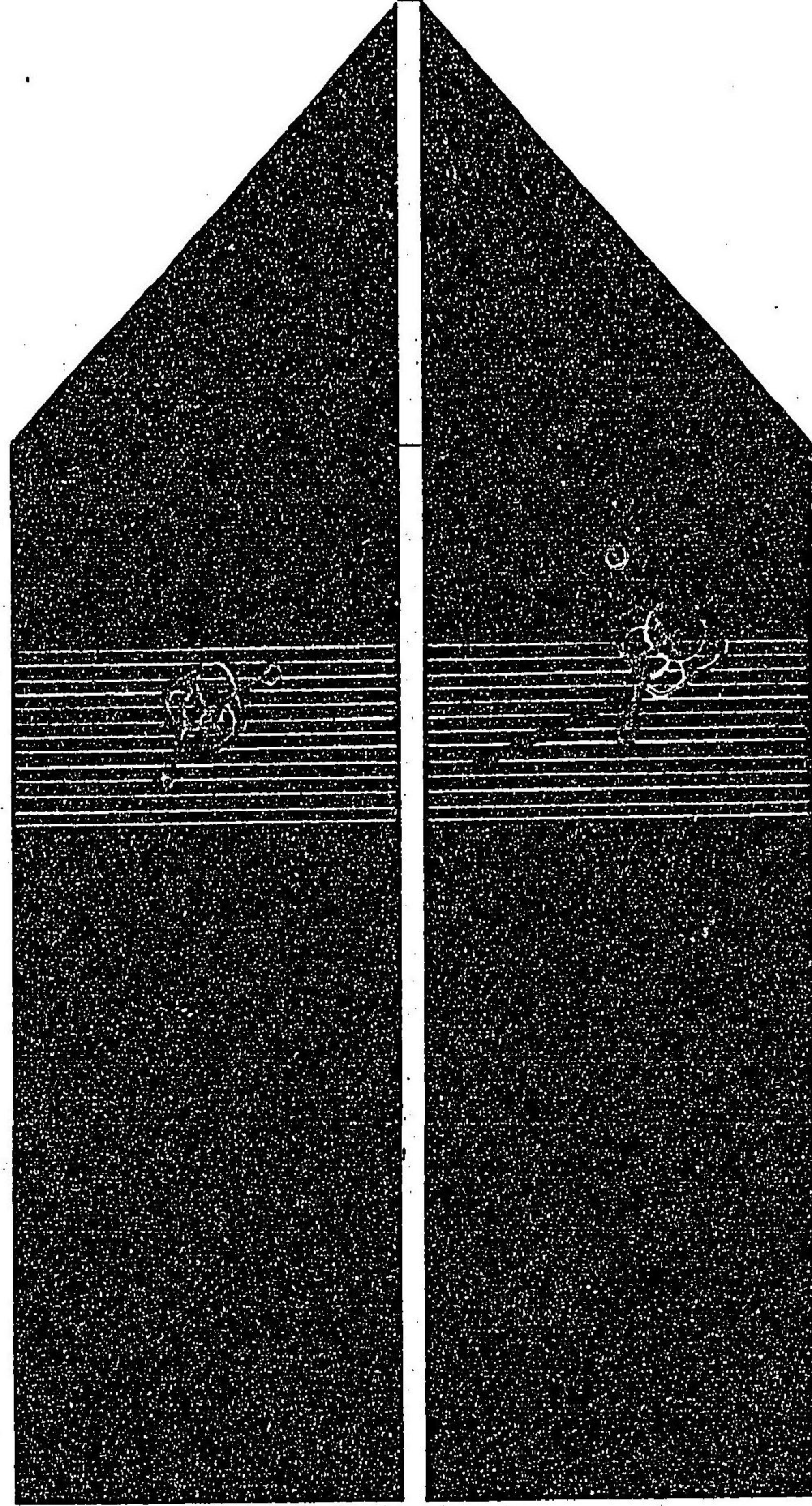
縮緬半衿(謠曲熊野) 三分一



京都府 宮本 儀助

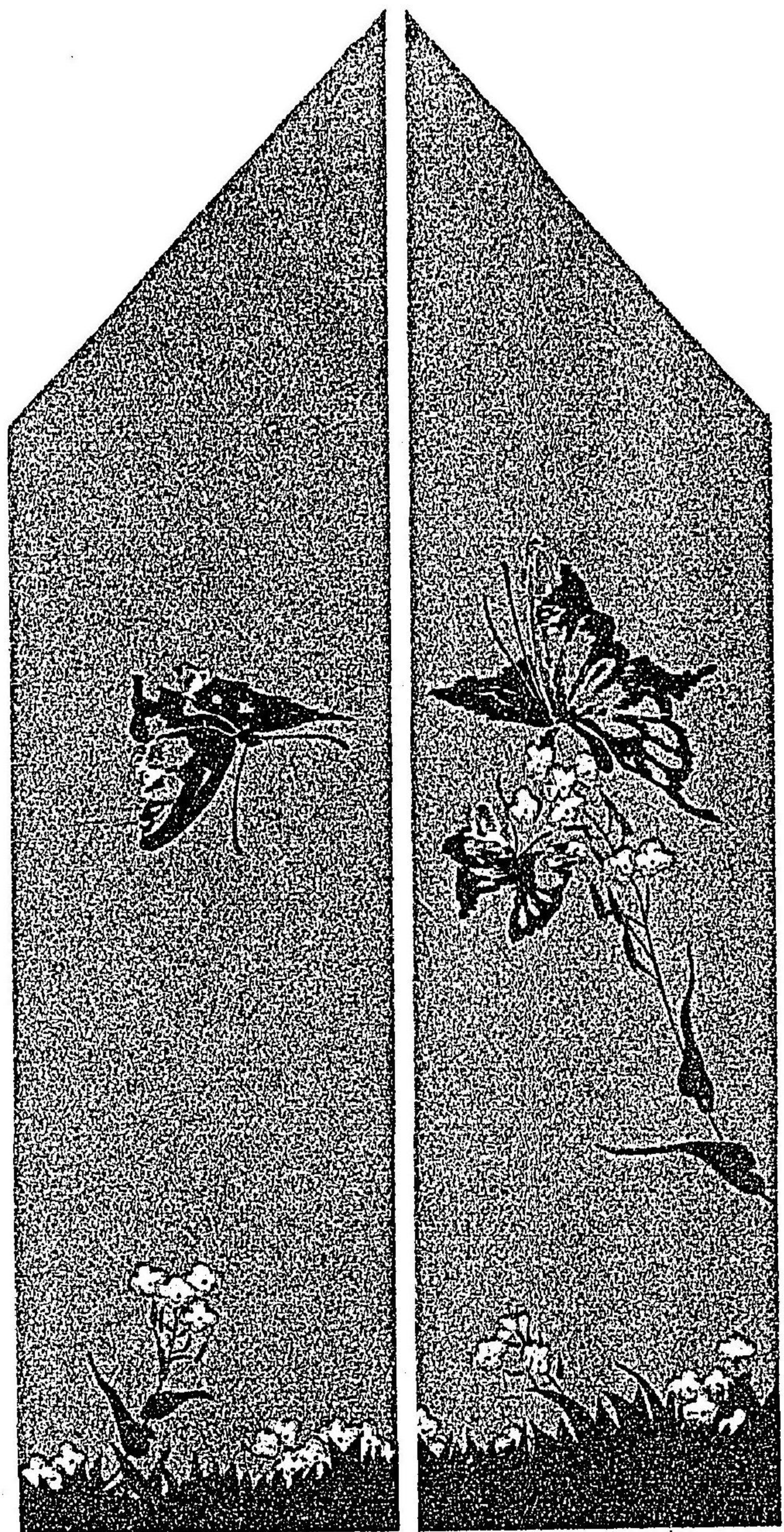


縮緬半衿(謠曲小督) 三分一



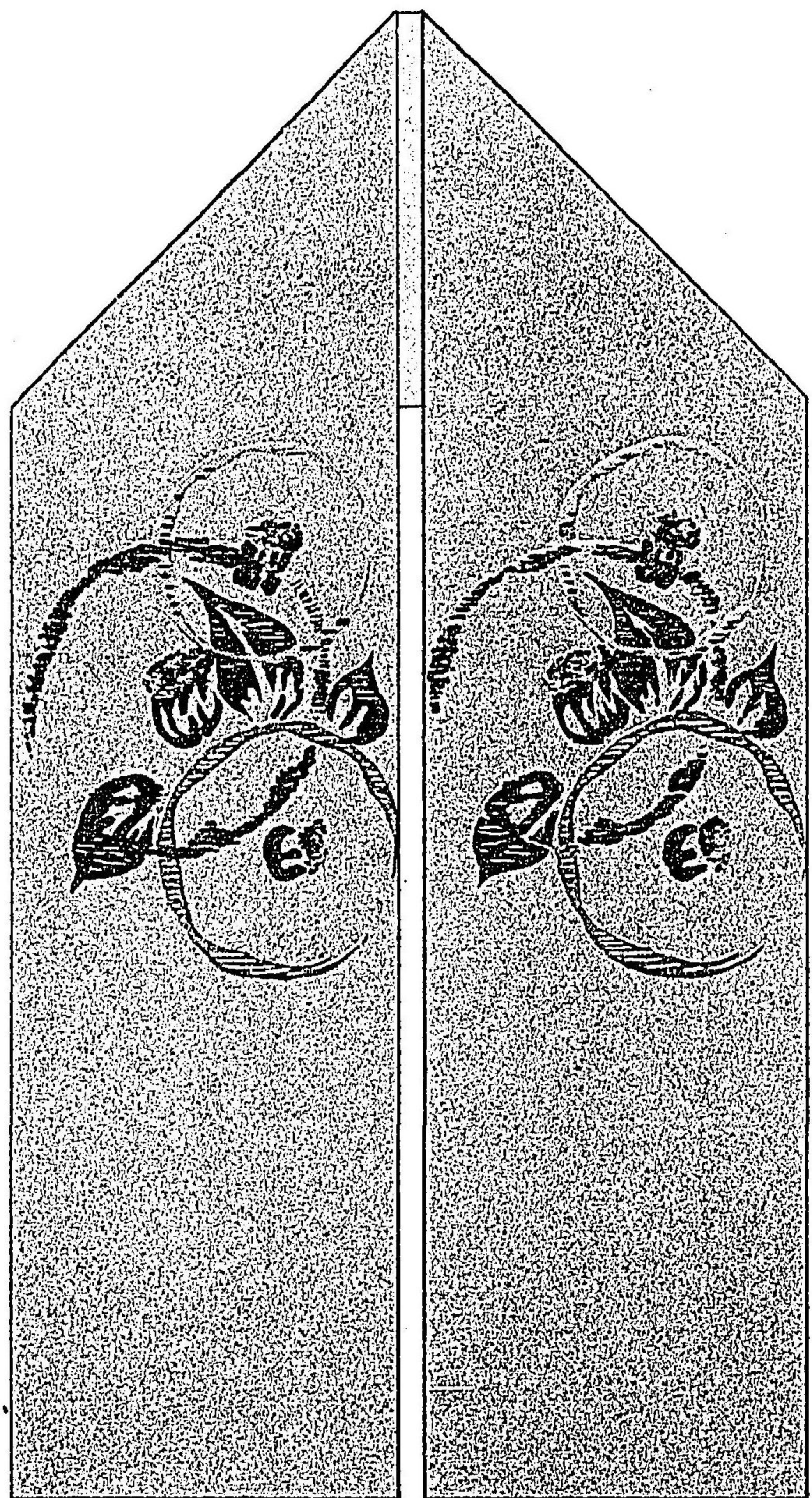
京都府 榎垣 太一郎

縮緬縫衿(草花ニ蝶模様) 三分一

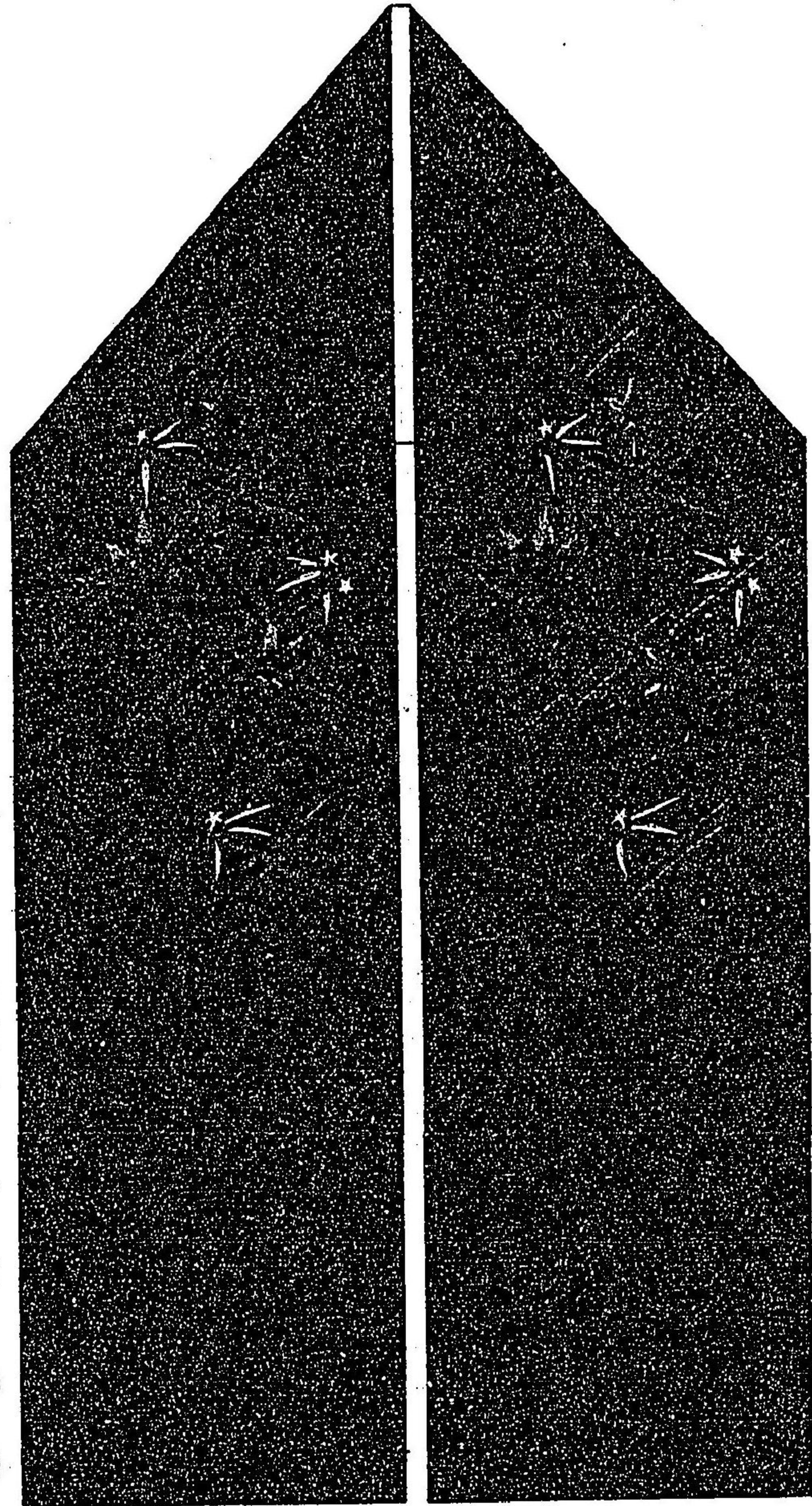


京都府 吉村 政吉

縮緬半衿(椿模様) 三分一



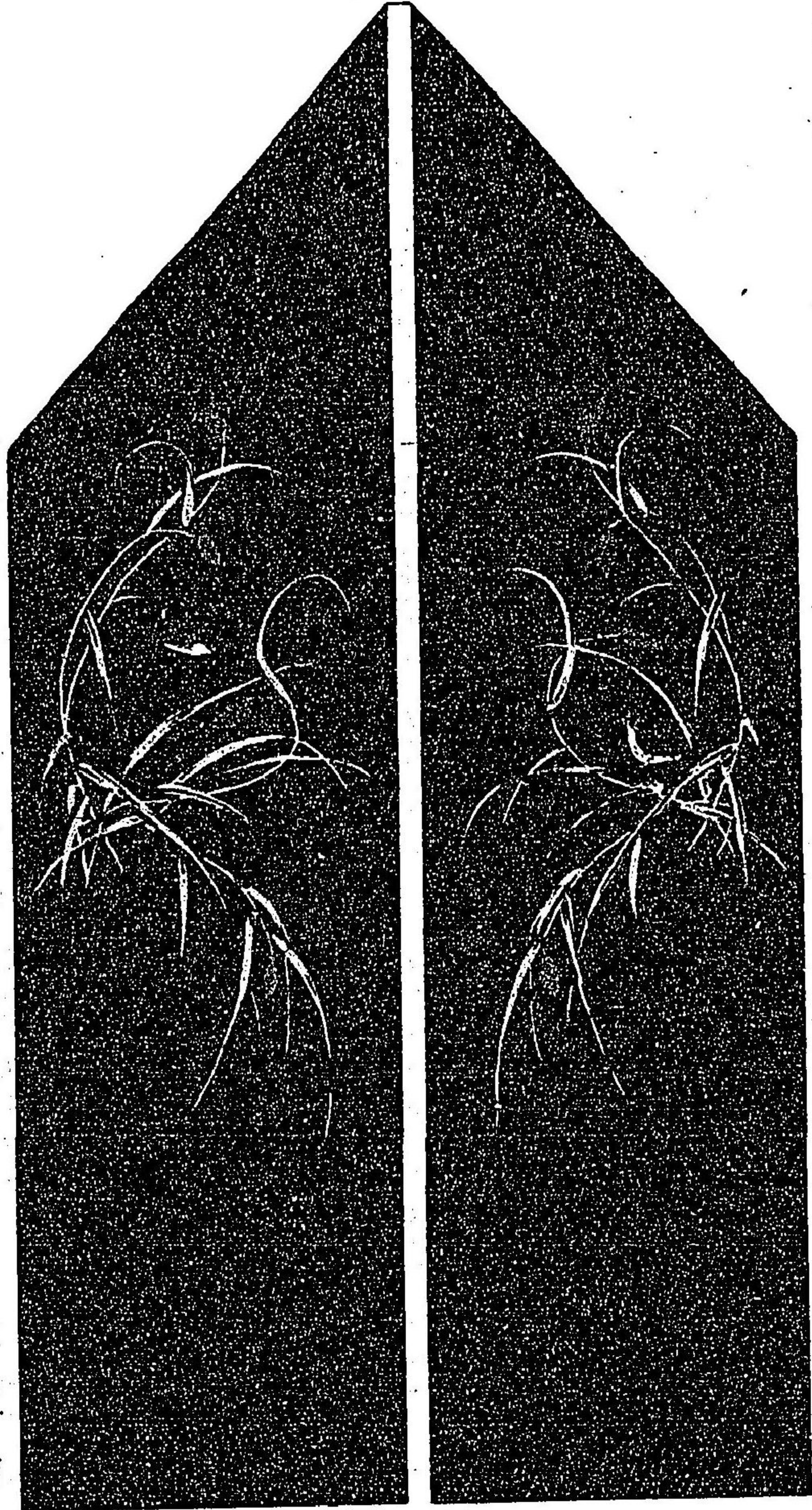
京都府 大久保 信次郎



縮緬半衿(謠曲鞍馬天狗) 三分一

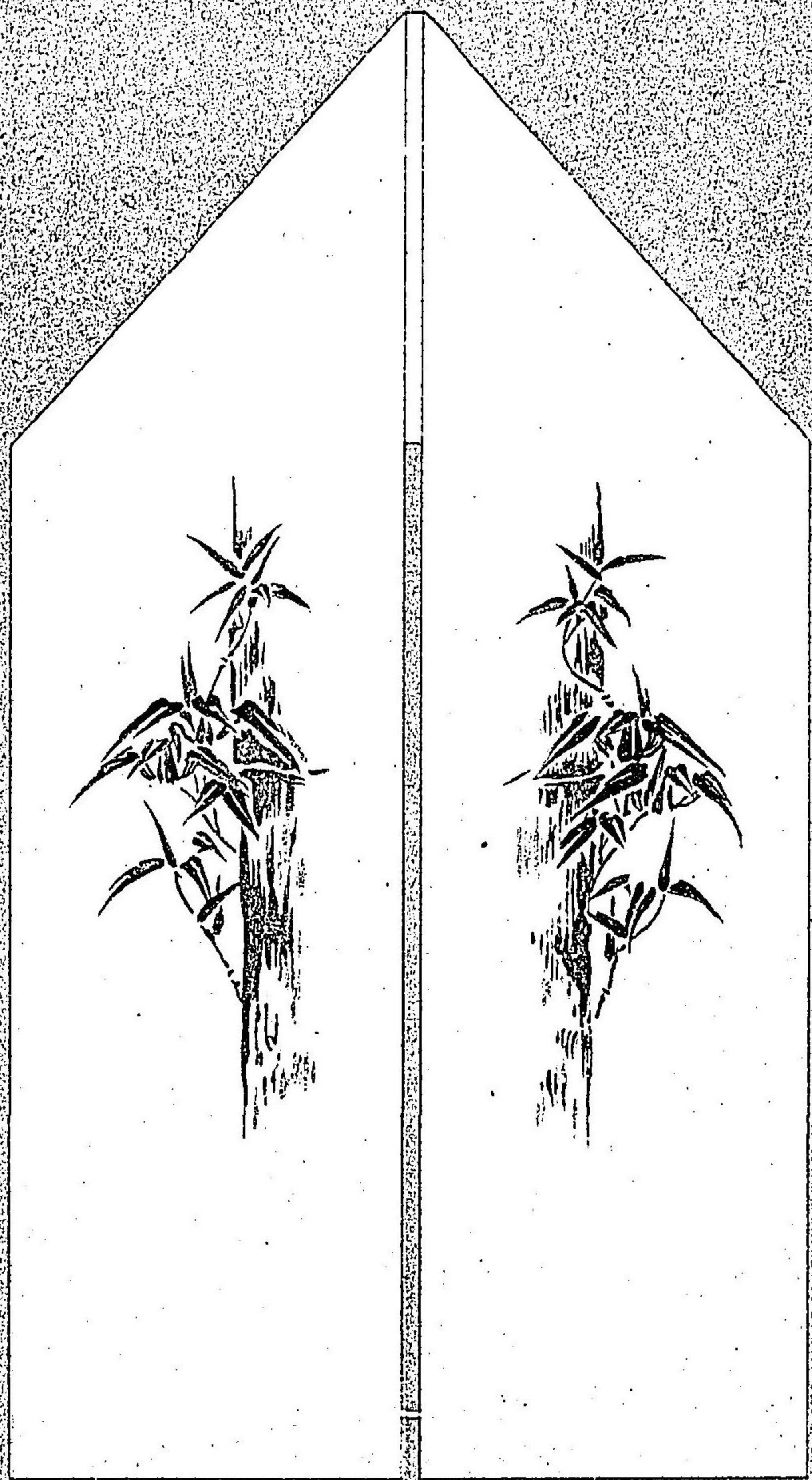
大阪府  
村田  
徳  
松

縮緬縫衿 三分一



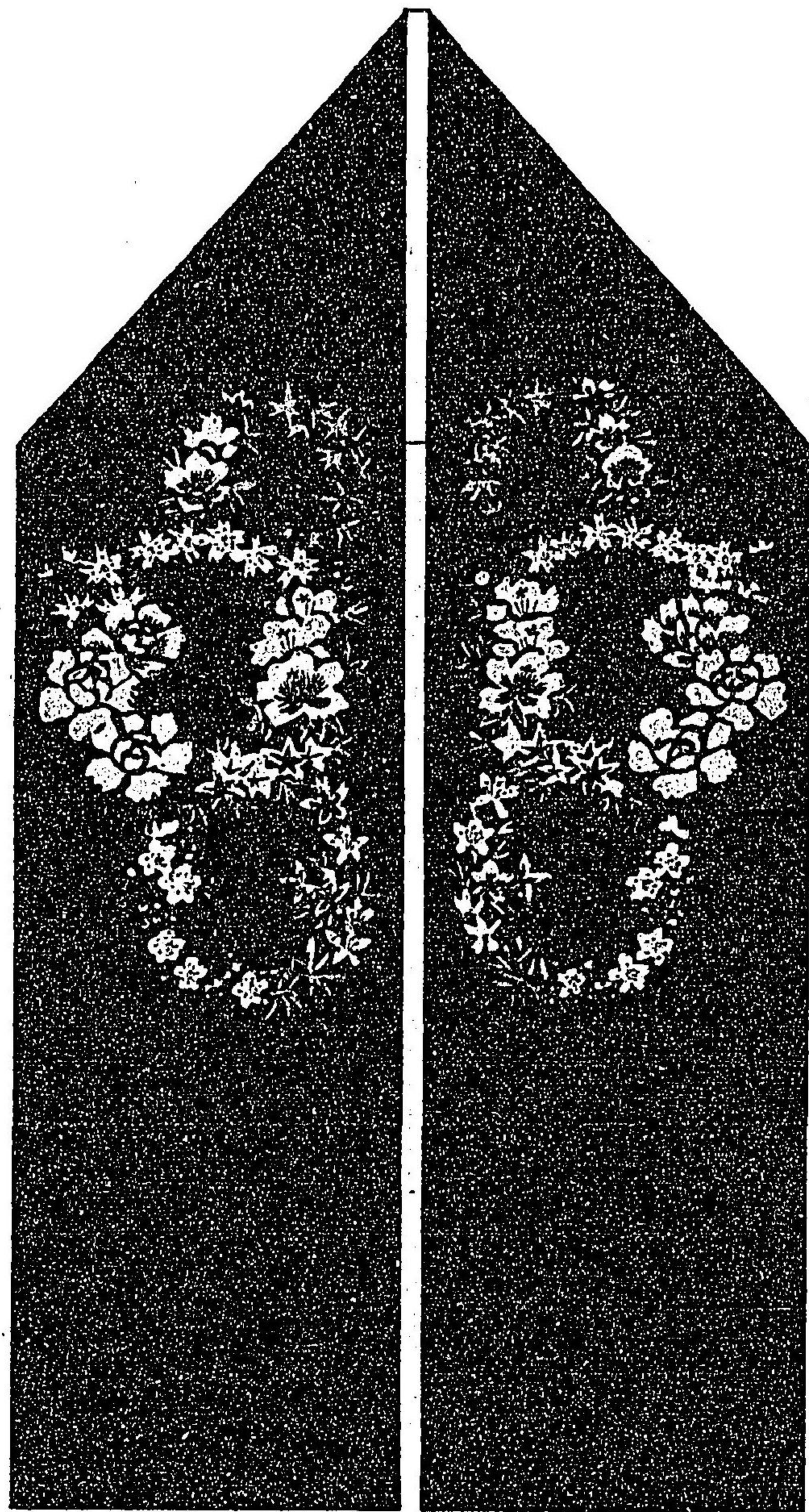
大阪府  
エリ友支店

縮細縫衿 三分一

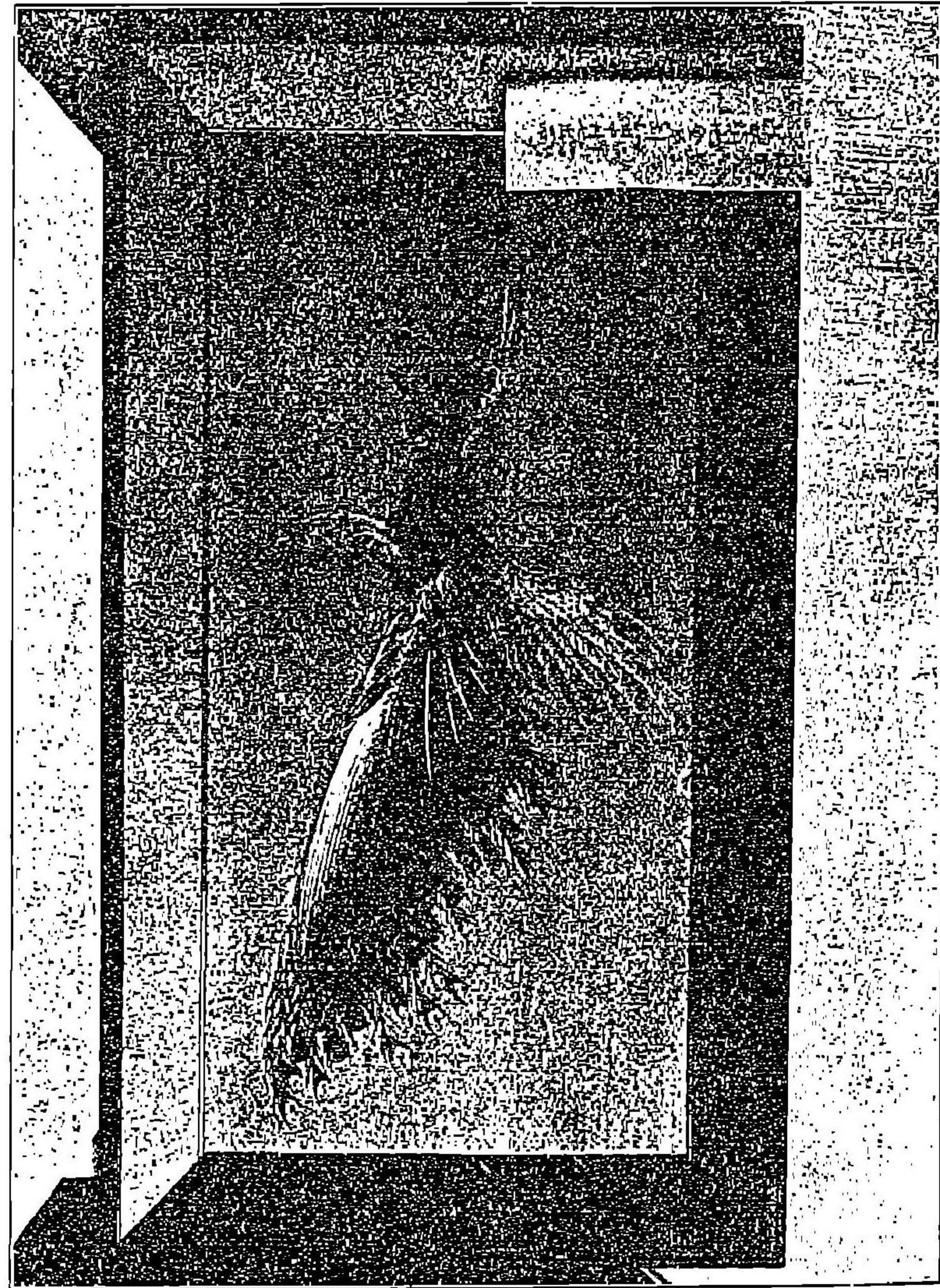


大阪市  
ユリ友支店

縮緬縫衿(雪輪ニ花輪模様)三分一

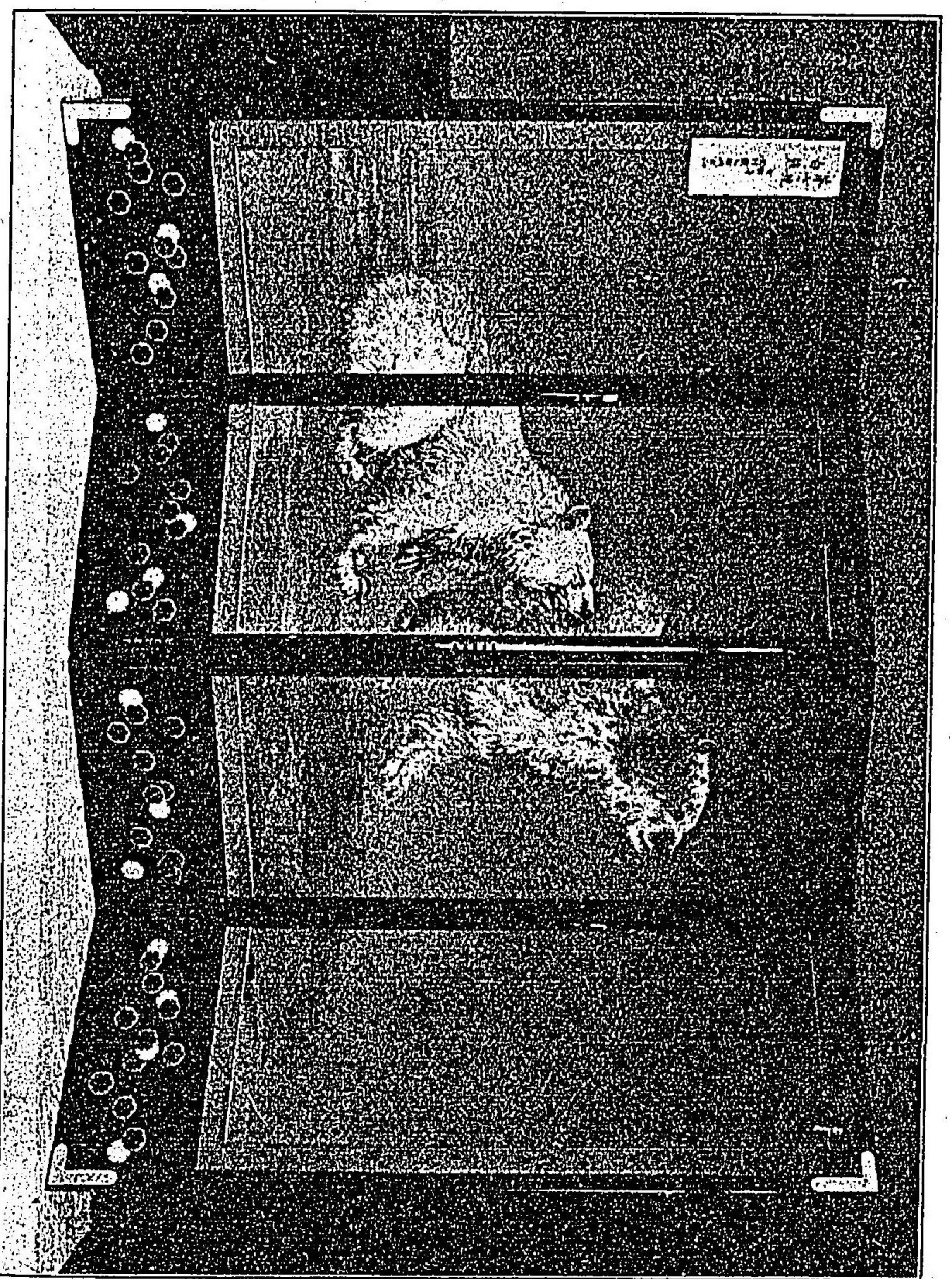


大阪市  
エリ友支店

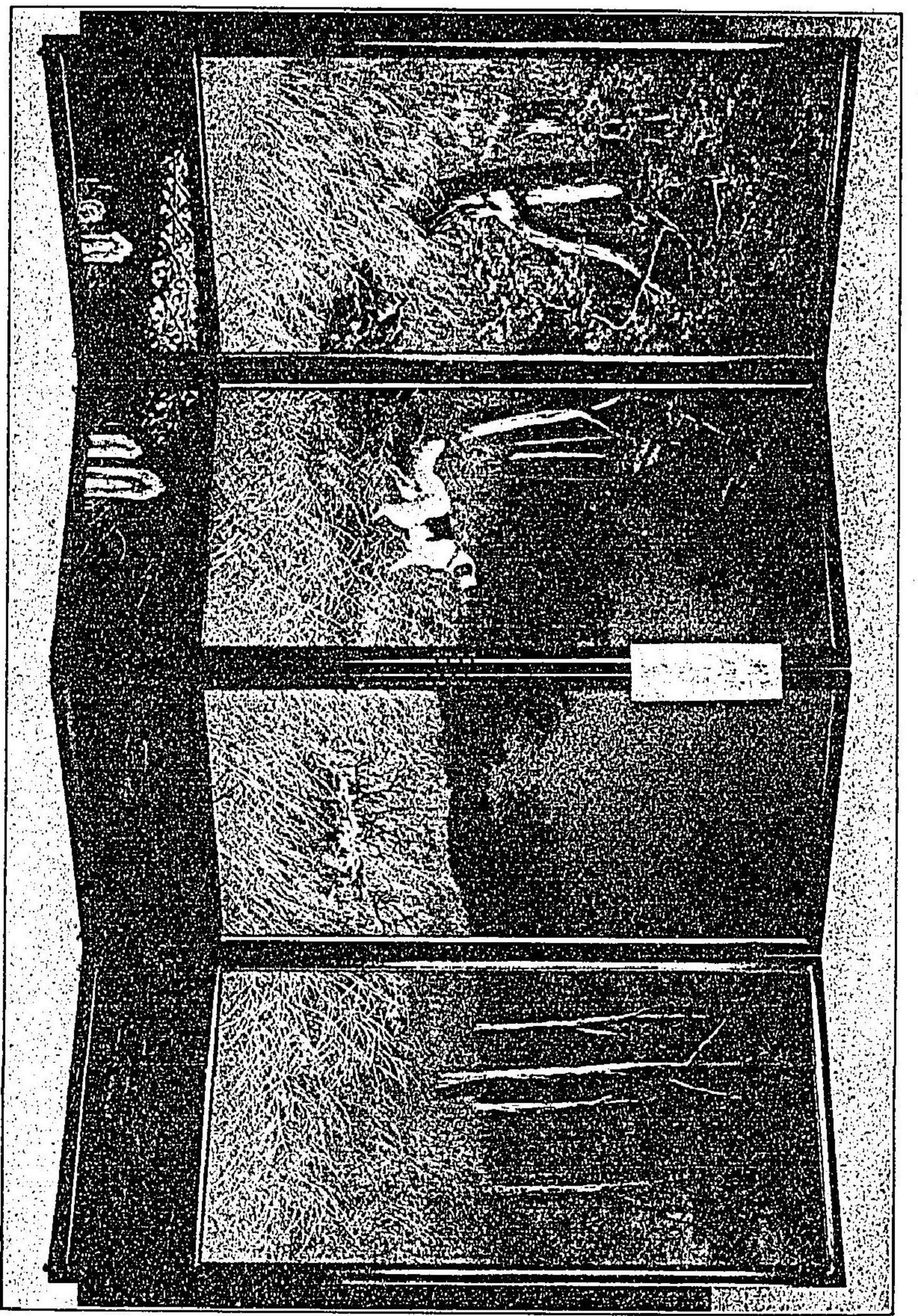


引張金地絹額 七利中田 府都京

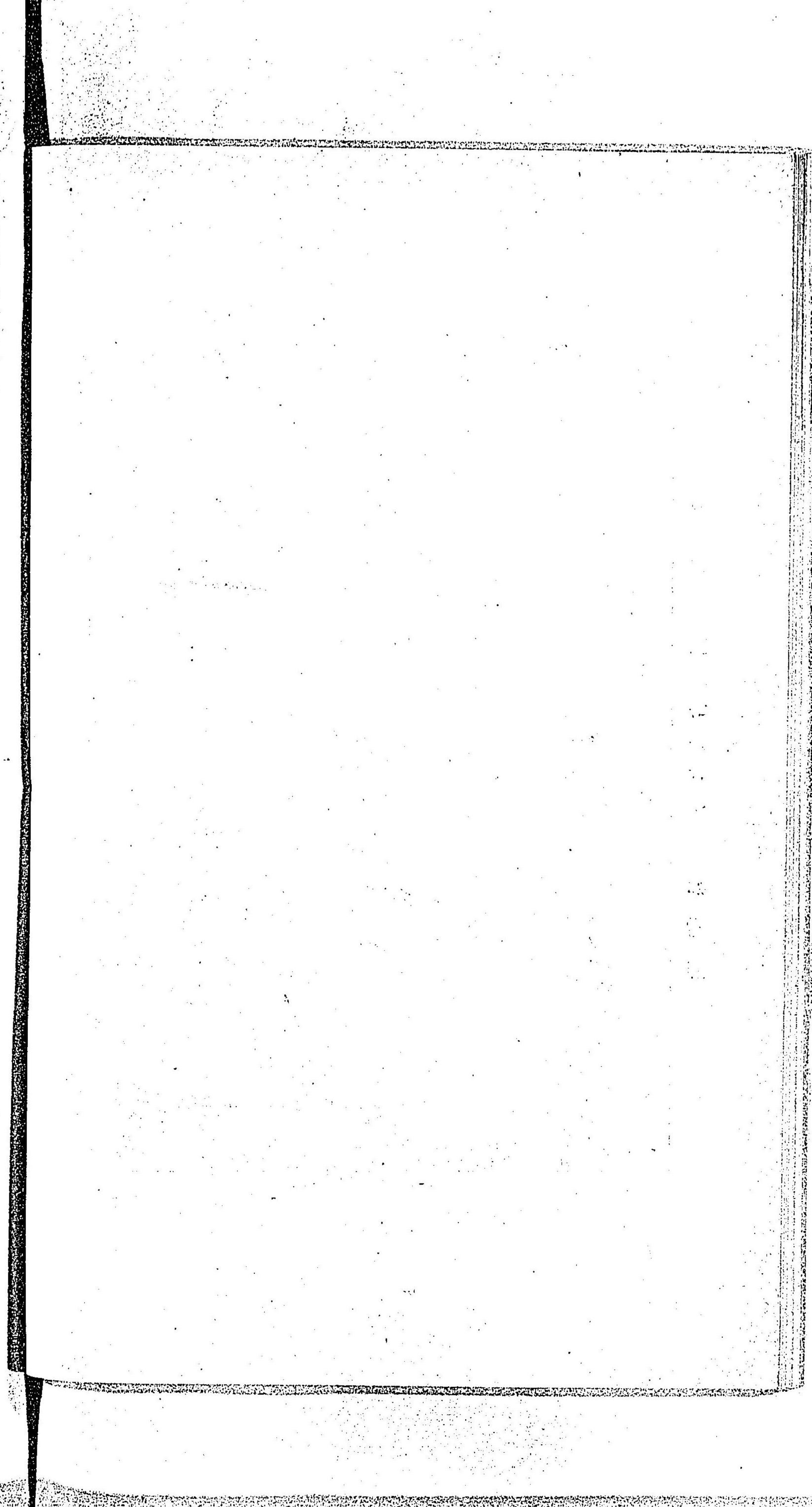




熊白 門衛左總村西 府都京



刺 門衛右八木青 縣賀滋



第七章

第三十類 敷物

本類ノ出品ハ大阪府ノ段通四十六點ヲ其ノ主ナルモノトス、兵庫縣ノ鍋島段通、由多加織、併セテ七點、奈良縣ノ段通四點東京府ノ四點、京都府ノ五點其ノ他ノ各縣ヲ合シテ計七十三點ニ過ギズ次ニ各府縣ニ就キ概評スベシ

大阪府

本邦ノ敷物ハ從來堺段通ヲ唯一トシ其ノ輸出ハ一時旺盛ニシテ重要輸出品ノ一ニ數ヘラレシガ其ノ當時ニ在リテハ濫ニ生産費ノ低下ヲ欲シ原料ニ染色ニ製織ニ勉メテ手數下工費ヲ省クニ汲々トシテ識者ノ警告ヲ意トセズ粗製ヲ極メ濫造ニ陥リ需用者ノ嫌厭ヲ來サシメ遂ニ種々ナル代用品ノ爲メニ販路ヲ蠶食セラレ今ヤ殆ンド絶望ノ有様トハナレリ管ニ段通ノミナラズ本邦ノ輸出品ハ常ニ價格低下ヲ競フテ窮局ニ達シ自繩自縛途ニ如何トモスベカラザルニ至リ始メテ善後ノ途ヲ講ゼントスルモ既ニ遲キヤ知ルベキノミ總テ製品ノ需用ヲ有スルハ必ず特長アルアリ就中價格ノ低キハ最速ガニ需用ヲ増進スルニ適ス然レドモ其ノ度ヲ過ギテ品質ヲ粗惡ナラシメ低價以外ニ採ルベキ特長ヲ失フニ至ラバ需用者ハ同價格ノ他品ヲ得ントスルノ念慮ヲ生ジ其ノ製品ヲ棄ツルコト弊履ノ如クナルベシ夫レ品質ニ眷戀タラシムルニ足ル優點ナクシテ機ヲ得ル毎ニ新ヲ以テ舊ニ代ヘントスルハ人情ノ然ラシムル處ナレバ如

何ニ價格ノ低廉ヲ標榜スト雖粗製品ノ販路ヲ失ヒ易キ決シテ偶然ニアラザルナリ當業者之ニ鑑ミ品位上ノ改善ニ重ヲ置キ永キ需用ヲ保續センコトヲ期スベキナリ輸出ノ途既ニ絶タリト雖漸ク内地需用盛ナラントスルアリ宜シク本邦ノ座敷並ニ洋館向ニ適スル意匠ヲ凝シテ内地向ノ發展ヲ講シ輸入品ニ拮抗スベシ今回ノ出品ニ見ルモ前回ニ比シ此點ノ注意稍々深キ感アレドモ未ダ充分ナラズ其ノ製織ノ方法等ニ至リテハ殆ンド變化ヲ見ズ相當ノ改善ヲ企圖セザルベカラズ

## 兵庫縣

本縣ノ由多加織ハ廉價ナル敷物ノ一トシテ海外ニ需用多ク其ノ大部分ヲ輸出シツ、アリ且近來機械的應用ヲ増加シテ工費ヲ減ジ捺染ニハ蒸ヲ入レ稍々堅牢トナレルハ稱讚スルニ値スベシ近來類似ノ敷物各地ニ産出セラレントス一層ノ奮發ヲナシ配色意匠捺染等ニ一段ノ研究ヲ要ス

又鍋島段通ハ堺段通ニ比シ品質優レルコト數等ナレドモ價格高價ナル爲メ需用衰退シ收益其度ヲ減ジ職工離散シ益々悲境ニ陥リツ、アルハ甚ダ遺憾トスル處ナリ

奈良段通ト稱スル奈良縣産ノモノハ其ノ原料ニ綜統ノ廢物ヲ利用スル等着々進歩ノ方法ヲ講ズレドモ同業者少ク漸ク機臺十數臺ヲ有スルニ過ギズシテ其ノ意匠等ノ陳腐ナルヲ免ガレザルハ惜ムベシ東京、京都、兩府ノ出品ハ大阪、兵庫、ノ産品ヲ主トスルモノナルガ故略シテ概評セズ其ノ他ノ各縣産亦區々ニシテ細評スルノ必要ナカルベシ次ニ本類ノ褒賞統計ヲ掲グ



府		縣	
長福石富島鳥岡廣山和德香愛高愛		野井山川取山根島山口島川媛知知	
計		歌	
七 三	五		二
三 八	三		一
三			
六	一		
九			
一 八	一		
〇 四	〇 三		
七	三		

四百九十四

出品人員  
ニ對スル  
擬賞割合



府縣名	類名									
	洋	被	服	和服其他	服	蚊帳	夜具	卓被窓掛	肩掛類	計
新										
埼										
群										
茨										
栃										
奈										
三										
靜										
山										
滋										
岐										
長										
福										
石										
富										
島										
島										
根										
取										
山										
川										
井										
野										
阜										
賀										
梨										
岡										
重										
良										
木										
城										
馬										
玉										
瀧										
計										



計	愛知	高知	愛媛	香川	徳島	和歌山	山形	廣島	岡山
五三				一					
三〇				一					
	三					七			六
	九					四			五
七			二			三			
二			二			五			
二六	九		二						
九	五		一			四	〇	三	七
一七	六					八	二	五	六
一〇	六								
二五						三			
七						二			
	二					一			
	三								
六五	七		二	一		三	〇	五	五
二四	五		三	一		一	九	二	六

洋服 本品ノ出品ハ大阪ノ十五點ヲ最トシ兵庫ノ十一點愛知ノ十三點之ニ次ギ他ヨリハ數點宛ノ出品アリタルノミニテ技術上ノ手腕ヲ示サントセル結果「フロックコート」類ノ出品甚ダ多カリキ現時本邦ニ於テ洋服ハ殆ンド總テ注文製造ニシテ洋服トシテノ賣買未ダ行ハレザルガ故ニ物産トシテノ品評ヲ下ス能ハズ然レドモ本品ノ製造近時著シク進歩シ其ノ形體ト縫術トニ論ナク完成ニ近カラントスルハ甚ダ喜ブベシ然レドモ出品ニ就テ見ルニ形體ノ點ハ縫術ニ比シ一般ニ改善ノ餘地ヲ存スルヲ見ル是レ裁方ノ技術充分ナラザルニ基因セズンバアラズ尙營業者ノ多クハ毛織物ニ關スル智識ヲ缺クガ故ニ時ニ或ハ殊更ニ附シタル光澤ヲ減殺セシムルノ愚ヲ敢テセルモノアリ元來毛ニ對スル感念極メテ不充分

ナル本邦ニ於テハ本業ニ從フモノ、如キ卒先シテ之ヲ研鑽スルヲ要ス出品府縣ニ就テ見レバ大阪府ノ出品最モ見ルベキモノ多ク兵庫縣ノ出品之ト伯仲ニアリ愛知縣ノ出品ハ形體ノ上ニ劣レル處多ク他ノ府縣ハ東京府ノ小兒服ヲ除ク外大同小異ニシテ稱スルニ足ルモノナシ

和服其ノ他 之ニ屬セルモノハ所謂裁縫品タル手縫モノヲ主トシ品種ハ極メテ雜多ニシテ羽織袴其ノ他ノ普通衣類ヨリ厚司羽織、腹掛、火事裝束、柔術稽古着、胞衣、法衣、涎掛等ニ至ル迄其ノ種類ト點數少カラザリシモ由來本邦ノ裁縫品ハ極メテ單簡ナレバ裁縫加工ノ點ニ就テハ殊ニ稱スベキモノナク却テ袴類ノ如キ禮式用ノモノニシテ尙其ノ全ク例式ニ稱フモノ少ク又ハ袴類ノ如キ高等衣類タル表裏ノ緩緊其ノ度ニ適セザル等出品多ク缺點アルモノ、ミナリシハ甚ダ奇異ノ感ナクンバアラズ是レ本邦ノ裁縫ハ稍亂調ヲ呈セルニハ非ルナキカ

「シャツ」「カラ」「カフス」東京、京都、大阪、神奈川等ヨリ洋服下「ホワイトシャツ」類ノ出品アリ就中神奈川及東京ノ製品良好ナリキ其ノ他ノ出品ニ至リテ毛又ハ綿「チル」、縮類ノ普通「シャツ」「ツボン」下等ニシテ其ノ製作所謂出來合品ニシテ各其ノ地方ニ於テ或ハ歡迎ヲ受クベキモノナランモ單ニ普通以下ノモノト稱スルノミニテ評スベキ價值アルモノ少シ

蚊帳 滋賀、奈良、福井、廣島、山口等ノ産地ノ相競フテ出品セルアリテ本類ノ主ナルモノナリ本品モ世ノ進運ニ伴ヒ稍々改進ノ曙光ヲ認ムルヲ得タルハ喜ブベシ就中滋賀縣ハ各需用地ニ店舗ヲ有シ直

接需用者ト接スルモノ多キヲ以テ意匠、仕立、生地ノ撰擇ニ意ヲ用ヒタルモノ多ク出品中異彩ヲ放テリ然レドモ社會ノ潮流ナリトハ云ヘ裝飾ニ重ヲ置キ生地ノ之ニ伴ハザルモノアリ總テ華美ニ傾キ殊ニ晝間ノ賣買ヲ常トスル結果夜間使用スルモノダル注意ヲ缺キタル製作ヲナセシモノ少カラズシテ濫ニ濃密ナル裝飾ヲナセルヲ見ルハ當業者トシテ研究ノ足ラザルヲ表明スルモノナリ又奈良縣ノ出品ハ需用多キ普通ノモノ多ク總テ實用向キナリシハ大ニ可ナリトス然レドモ其ノ製織未ダ充分ニ機械力ヲ應用セズ色合亦區々ナリシハ尙研究ノ餘地ヲ存スルモノト云フベシ

福井縣ハ古來蚊帳ノ産地トシテ其ノ名聲高カリシガ出品ニ就テ見ルニ製織、色合、仕立等ニ舊態ヲ改メザルハ將來他地方ノ進運ノ爲メニ需用界ヨリ驅逐セラル、ニ至ラン今ニ於テ充テナル改善ノ道ヲ講ゼズンバアルベカラズ其ノ他廣島、山口産ハ製織色合良好ナルヲ認ムルモ愛知、岐阜産ノ如キハ色合不良且堅牢ナルモノアリ斯ノ如クナランニハ到底廣キ需用ニ適スル能ハザルベシ大阪ハ販賣地タル關係上出品多ク他府縣産ノモノナルガ故ニ茲ニ評セズ

夜具 本種ノ出品ハ大阪愛知ノ二府縣ニシテ大阪府ノ出品ハ特ニ高等優美ノ製品ナルガ故其ノ地方ノ慣習モアラハレ華美ニ流レテ實質ノ伴ハザルモノアレド表裏並ニ綴絲ノ配合ニ意ヲ用キ殊ニ製作ノ技術トシテハ單ニ綿作り及ビ綿入ニアルモノナルニ不充分ノ點多キハ不注意ト稱セザルヲ得ズ愛知縣出品ノ夜具ハ進歩セルモノアルヲ認メズ

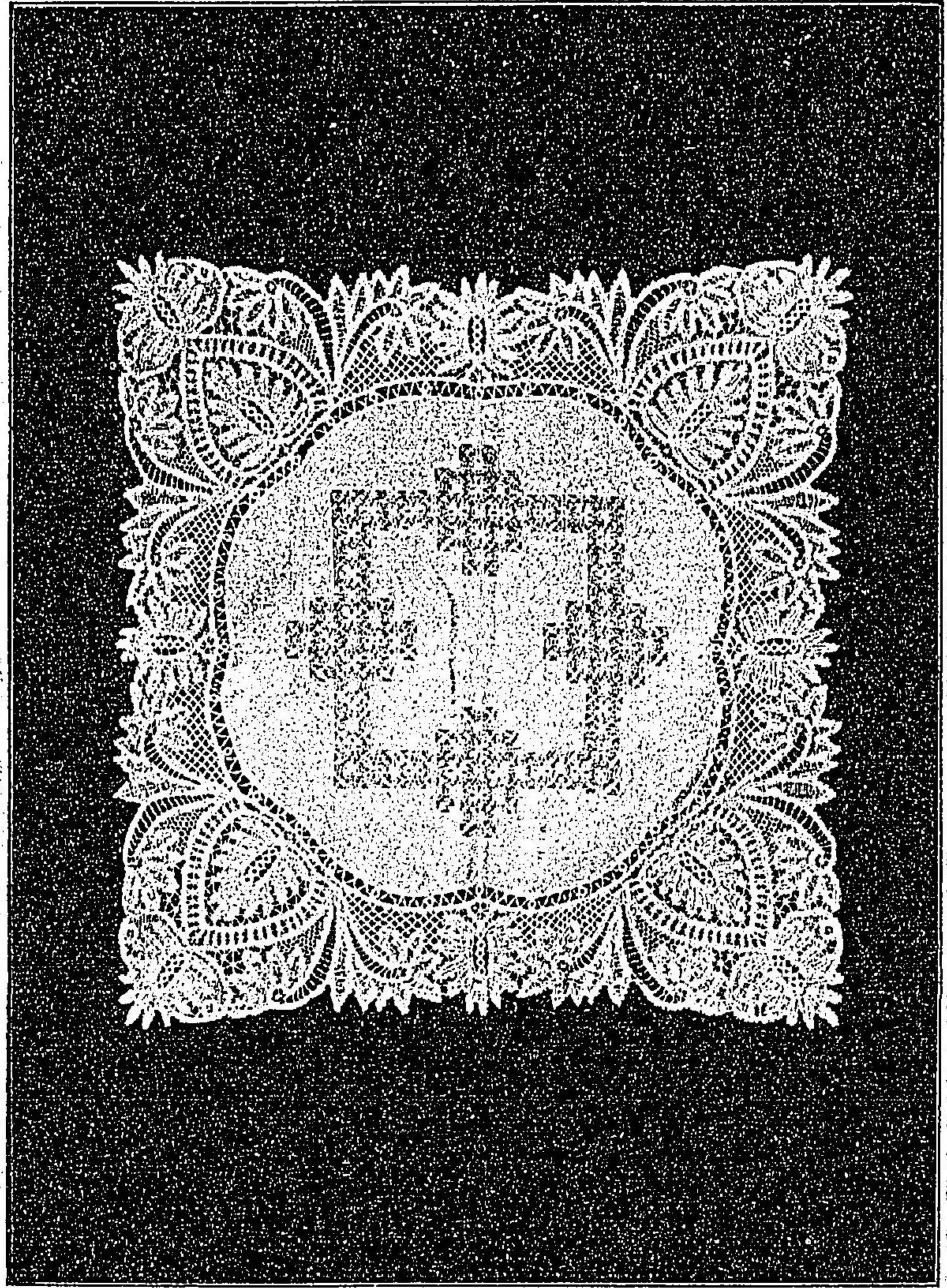
卓被、窓掛類 本種中東京府ノ出品ニ係ル卓被ハ「ウール」羅紗ト稱スルモノニシテ一見「フェルト」ノ如ク小卓被トシテハ可ナルモ價格比較的高ク且耐久力ニ乏シキヤノ疑ナキ能ハズ、大阪府出品中ノ輸出向キ窓掛又ハ壁掛用籠ハ繪畫及刺繡ノモノ多ク粗漫ニシテ需用地ノ購買力ト關係ヲ有スルハ勿論ナレドモ粗製品タルヲ免カレズ之ガ改善ヲナスヲ適當トスベシ愛知縣出品ノ絹手巾ニシテ文字縫ヲ施セシハ稍佳良ナリ

「ドローンウオーク」「バテンレトス」我國ノ手工品ニシテ近來長足ノ進歩ヲナシタルモノハ實ニ「ドローンウオーク」「バテンレトス」ナリトス而シテ本品ハ全然輸出品ニシテ北米ヲ主トシ英國其ノ他ノ歐洲ノ需用ニ適シ年額二百數十萬圓ヲ輸出シ其ノ原料タル「リメン」類ハ輸入ニ仰グノ已ムヲ得ザルニアリト雖加工ノ程度高クシテ輸出額ノ約半數ハ工賃ニ歸スベキガ故ニ國家經濟上甚ダ有望ナリトス殊ニ其ノ作業ハ殆ンド器具ヲ要セズ居ナガラ之ニ從事スルコトヲ得ルガ故ニ所謂内職ニ適當シ隠レタル勞力ヲ利用スルヲ得ベク將來ノ發展ヲ期スベキ事業ノ一タルヲ失ハズ然ルニ各地方ノ狀況ヲ見ルニ往々中途ニシテ頓挫ヲ來スモノ多シ是レ其ノ仲介者其ノ人ヲ得ズ或ハ傳習ト稱シテ報酬ノ少キ勞力ヲ得ントシ又ハ始メニ收益ノ多キヲ誇大ニ吹聴シ就職者ヲシテ前途ニ杞憂ヲ懷カシムルニ在ルガ如シ若シ夫レ本業ノ發達ヲ希バ宜シク是等ノ點ニ注意シ輸出商賈トノ聯合ヲ確實ニシ地方就職者ノ集團ヲ期シ之ヲ指導スベキ人撰ニ重ヲ置カザルベカラズ

本品ノ事業既ニ斯ノ如シ然ルニ其ノ出品未ダ多カラザルハ之レ本品ノ製作者ハ單ニ賃銀ヲ得ルニ汲々トシテ其ノ製品ヲ以テ技ヲ競ヒ工ヲ爭フノ念慮ナキニ起因センカ而シテ本品ハ其ノ製作ハ本邦人ノ天職トモ稱スベキ手工ノ妙技ニ依頼セバ以テ足レリトスベク要ハ歐洲ニ於ケル機械的製品トノ競技ヲ避ケ其ノ及バザル點ニ精力ヲ發揮セシムベク意匠ハ彼ノ時流ニ投ズヘキハ勿論ナリト雖從來ノ如ク單ニ摸倣ノミ事トスルハ策ノ得タルモノト稱スベカラズ宜シク意匠ノ更新ヲ期スル爲メ本邦固有ノ圖案ヲ加味セシムベシ然レドモ本邦ニハ他國人ノ解スベカラザル意味ヲ有スルモノ多キガ故ニヨク玩味シテ其ノ取捨ヲ慎マザレバ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノ悔ヲ貽スベシ添付ノ寫眞圖ハ稍見ルニ足ルベキモノナリトス今各出品ニ就テ評スレバ、神奈川縣ハ本品ノ輸出港ニシテ中樞タルノ位置ニ在リテ各地方ノ當業ヲ開發セシムベキ義務ヲ有スルニ拘ラズ寥々タル出品ヲ見ルニ過ギザリシハ遺憾ナリ而シテ出品ニハ苦辛セルノ迹ヲ認メザルモ現ニ勢力ヲ存スル製成品中ノ粹トシテ數フベキモノ多キハ他地方ノ範トズルニ足ルベシ、茨城縣ハ新産地トシテ縣獎勵ト相俟ツテ大ニ發展ノ氣勢ヲ呈シ其ノ出品亦少カラズ技術稍々見ルニ足ルベキモノアリ指導獎勵宜シキニ適サバ將來有數ノ産地タルヲ得ベシ製作上ノ缺點ヲ擧グレバ「バテン」ノ縫絲緊緩其度ヲ失シ製品汚レタルモノ多シ一ニ熟練ニ待ツコト多シ又靜岡縣ハ本品殊ニ「ドローンウオーク」製産地ノ首位ヲ占メ其ノ技術熟達ノ域ニ進ミ出品中ニハ稱揚スルニ足ルベキモノアレドモ一般ニ製産ノ進歩ニ比シ出品甚ダ振ハズ此他聯合縣内ニハ有數ノ産地アルニ拘ハラズ

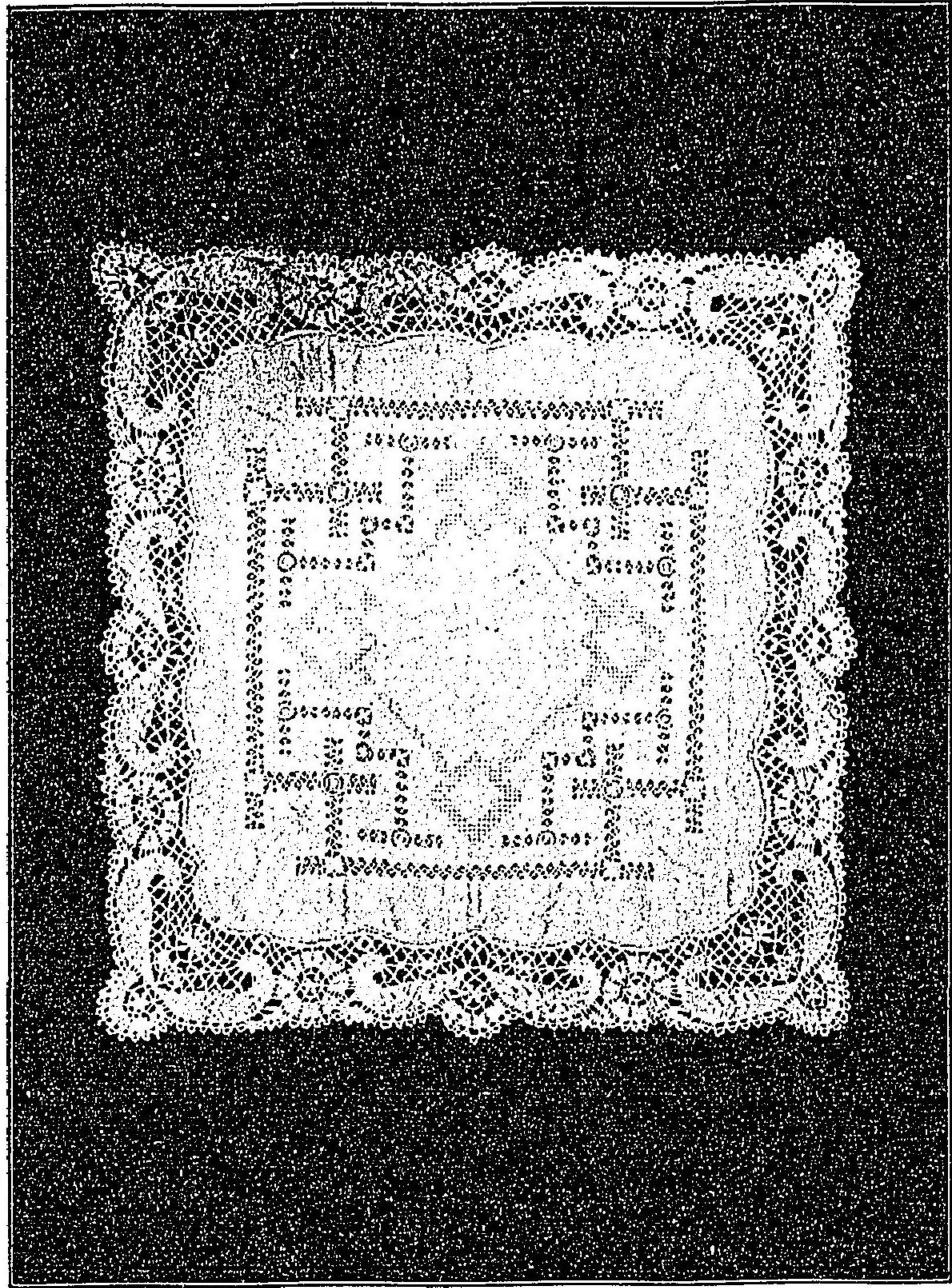


パ  
テ  
ン  
レ  
ー  
ス



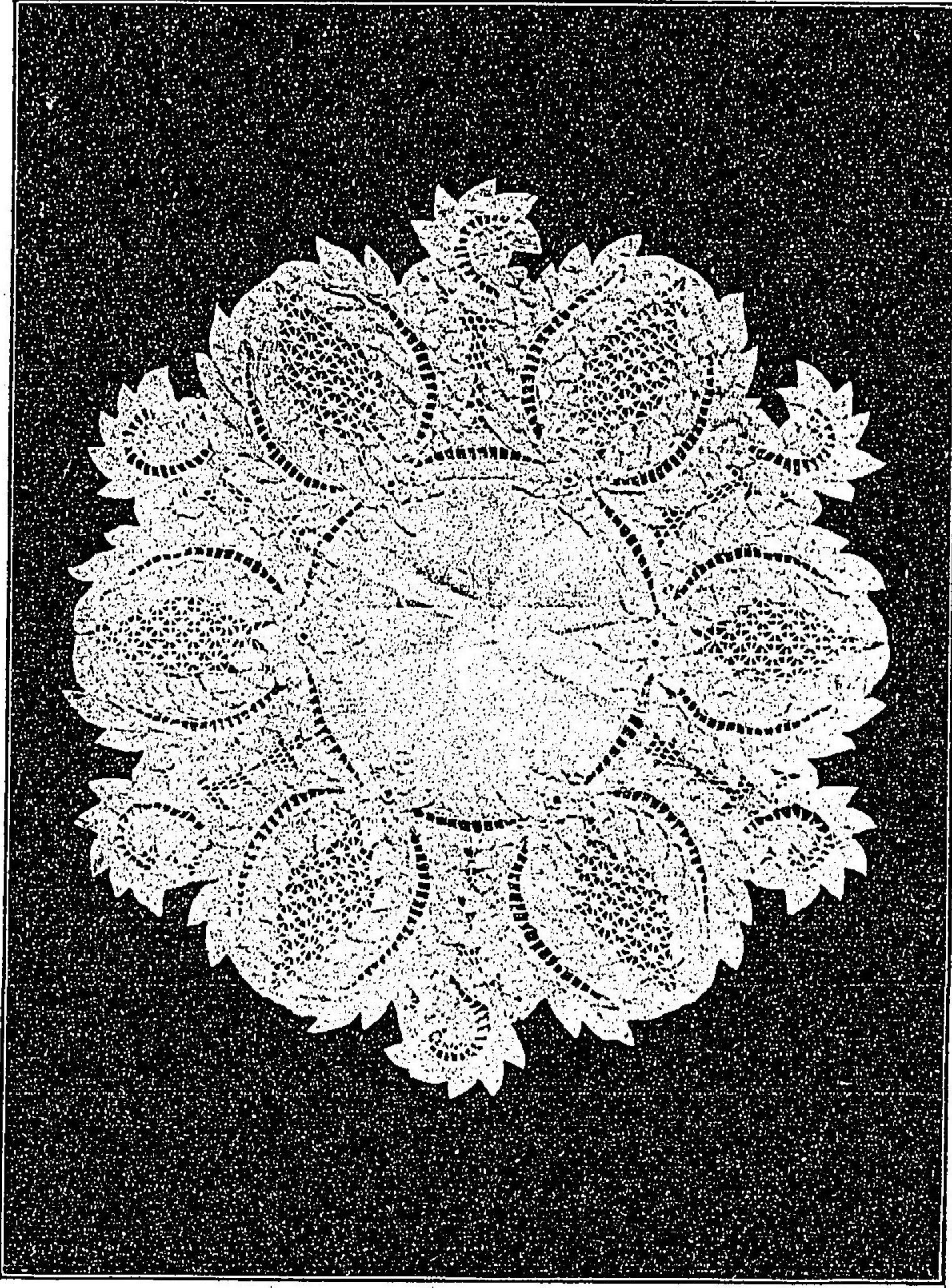
神奈川縣 古川吉次郎

茨城縣 佐野丑之助



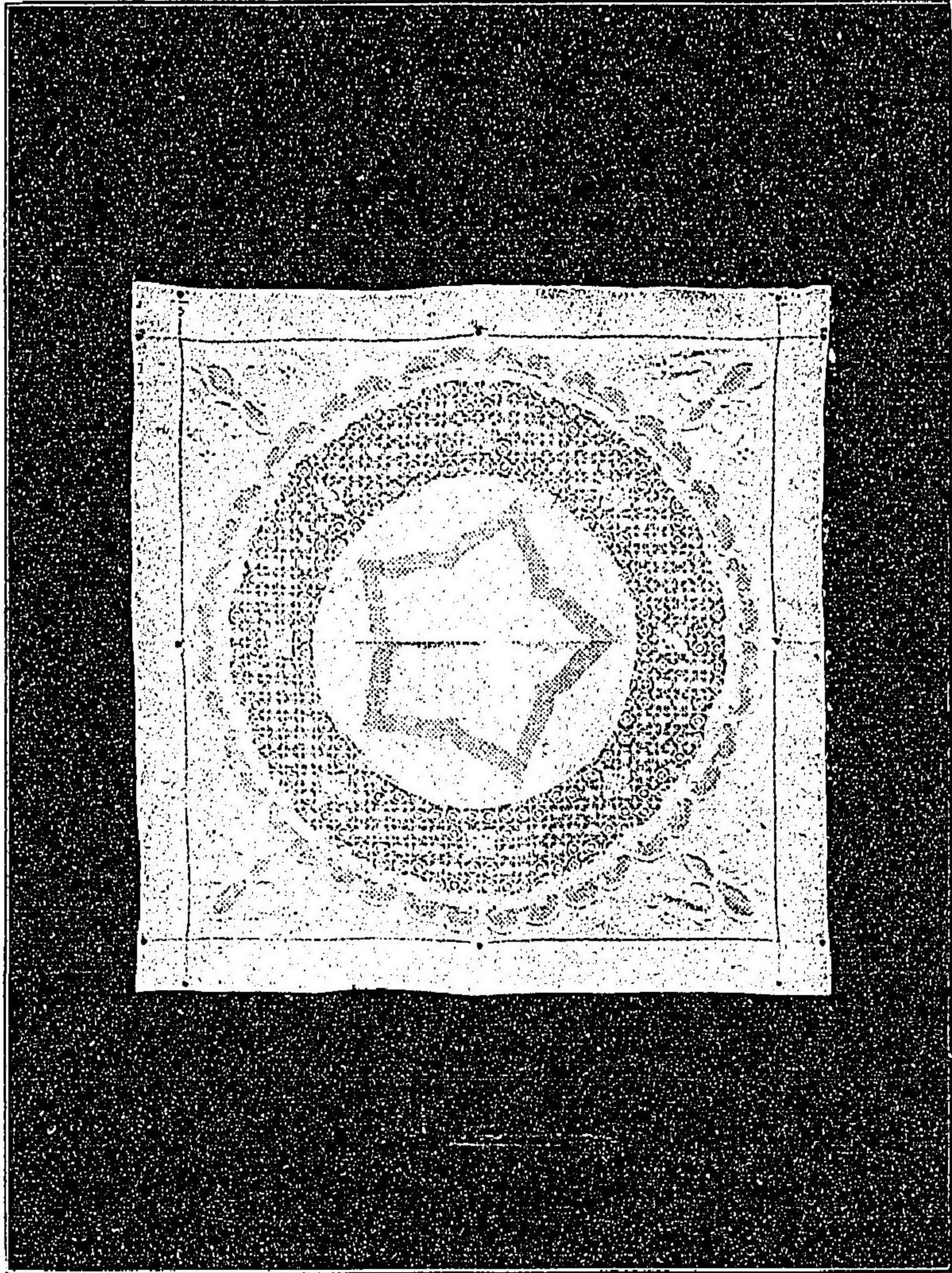
ド  
ロ  
ン  
ウ  
オ  
ー  
ク

神奈川縣 大山よね



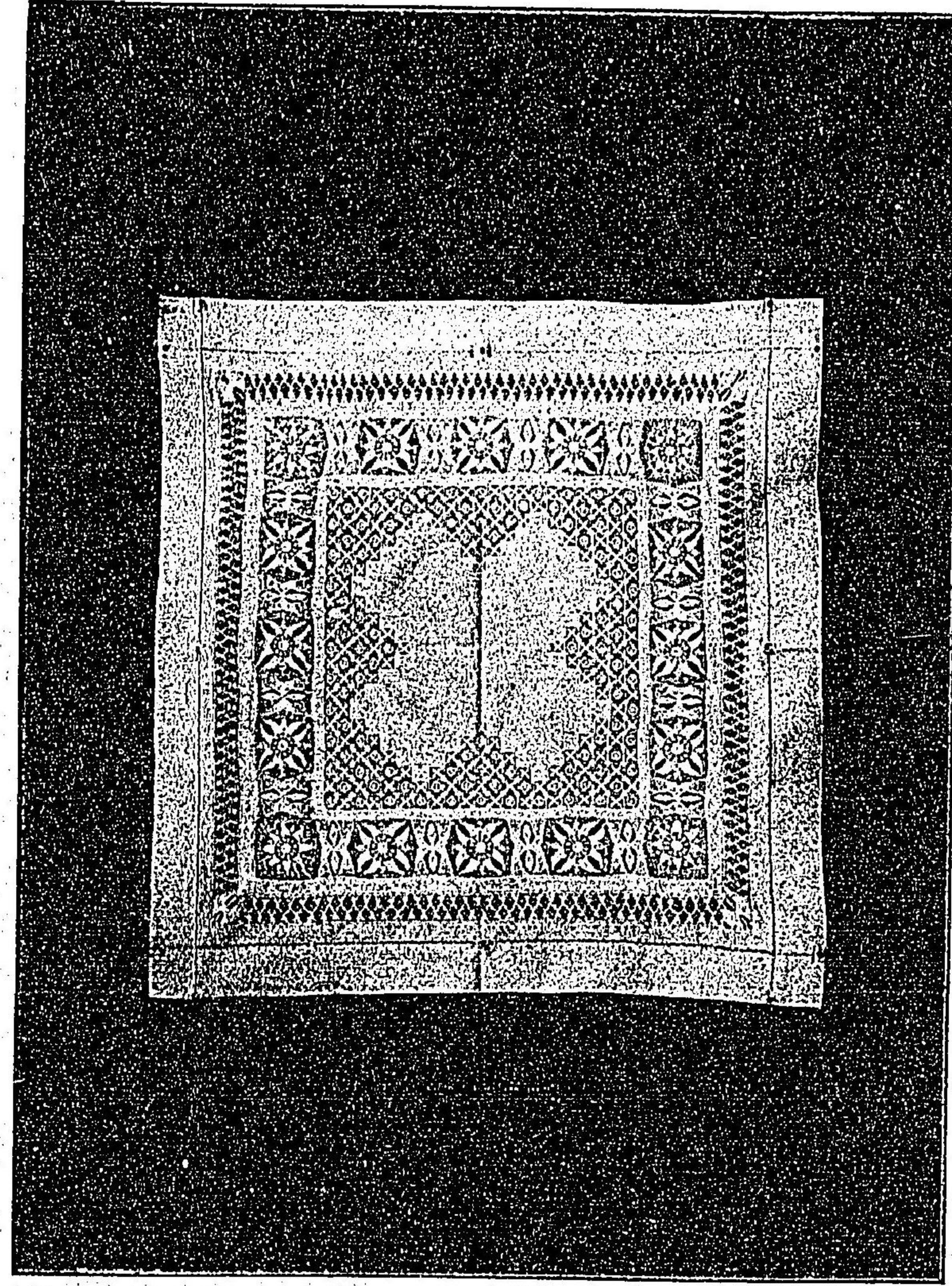
バ  
テ  
ン  
レ  
ー  
ス

静岡縣 木俣兼太郎



ドロ  
ン  
ウ  
オ  
ー  
ク

静岡縣 木俣兼太郎



ドロ  
ン  
ウ  
オ  
ー  
ク

第九章

第三十二類 絲組物、編物

本類ハ便宜上絲組物及ビ編物ノ二種ニ分チテ之ヲ審査セリ

絲組物ハ世ノ進歩ト共ニ其ノ用途益々擴マリ且原料ニモ嶄新ナルモノヲ用ユル等價格ヲ低廉ニシテ而モ美觀ヲ失ハズ耐久力アルモノヲ製作スルハ蓋シ當業者苦心ノ存スル所ナルベシ尙原料ノ選擇ト染色ノ方法トニ注意スルヲ要ス

編物ハ莫大小製品多數ヲ占メ大阪、東京兩府ヲ主產地トシ多數ノ輸出アリ近來其ノ進歩ノ著シキハ手工ニ換ユルニ動力ヲ以テシ生産費ヲ低廉ナラシムルヲ得タルニ在リ尙原料ノ選擇仕上ノ方法等ニ一段ノ考究ヲ要ス

請フ以下各種ニ分チ其ノ主ナル府縣ニ就テ概評スベシ

其一 絲組物

東京府

本府ノ出品ニ係ル絲組物ハ羽織紐、絹「ゴム」入、「ツボン」釣等ニシテ其ノ點數ハ極メテ少數ナリシト雖技術ノ精巧ナルト意匠ノ斬新ナルトハ本府出品ノ優色ト認ムル所ナリ是レ必竟機械ノ應用其ノ宜シキヲ得研究ノ結果其ノ當ヲ得タルニ依ルナラン殊ニ日本製紐株式會社ノ出品ニ係ル各種ノ紐並ニ絹



「ゴム」入組ノ如キハ品質優等且實用ニ適シ産額亦頗ル多ク輸入防遏ノ効著大ナリ益々奮勵ヲ望ム  
京都府

本府出品ノ絲組物ハ男女羽織紐、組紐、電燈器具用裝飾房線、帶、被布飾總、帛紗等ニシテ主トシテ北陸關西地方ニ販路ヲ有ス隨テ比較的安物ヲ多數製造スル傾向アルヲ以テ技術トシテ特ニ進歩ノ形蹟ヲ認ムルコト能ハズト雖人造絹絲應用ノモノ多數ニシテ其ノ技術亦相當ト認メラル、ハ喜バシキノ至ナリ若夫レ今少シ青味ヲ持テタル人造絹絲ヲ以テ製造セバ一層純絹ニ酷似スルコトヲ得テ需用増加セシ

## 大阪府

本府出品物ノ主ナルモノハ羽織紐、前掛紐、洋傘用手元房、同手元「リボン」、窓掛房等ニシテ本府ノ組紐類ハ種類頗ル多ク且低廉ナルヲ以テ特色トセルモノノ如シ格別批評ヲ加フベキ要點ヲ認メザレドモ一般ニ進歩ノ状態ヲ認ムルコトヲ得ベシ

## 愛知縣

本縣ノ出品ニ係ル絲組物ノ主ナルモノハ男女羽織紐、帶、帛紗房、修多羅紐等ニシテ就中源氏打羽織紐ハ古來名古屋打紐ノ特色トシテ定名アリ其ノ手觸ノ滑澤ナルト組織ノ堅牢ナル點ニ於テ儘ニ優等品ナリ然ルニ近來漸次安物ノ需用多キト又機械ノ應用著シキモノアルヲ以テ比較的工賃ノ高キ源氏打

紐ノ漸次減少セントスルハ本縣ノ爲メ頗ル遺憾トセザルヲ得ズ若夫レ當業者ニシテ此點ニ深ク注意シ更ニ研究ヲ加ヘ一面又工賃ノ低廉ヲ計ルアラバ一般ノ需用ニ應ズル盛況ヲ見ルニ至ラン  
以上ノ外滋賀縣、三重縣、岐阜縣、兵庫縣等ヨリ出品アリタレドモ何レモ出品點數少ナク特ニ記述スル事項ナケレバ茲ニ評ヲ省ク

## 其二 編物

## 東京府

本府出品ノ莫大小ハ大ニ進歩ノ點ヲ認メラル内地品トシテ需用ノ途廣キモ價格ノ比較的ニ高キ故力餘リ輸出セザルガ如シ當業者尙機械動力ノ利用ニ鑑ミテ工業ノ規模ヲ張り原料ノ選擇工賃ノ低廉ヲ計リ且附屬品「チム」ノ如キモ一層低廉ニ供給スルノ途ヲ圖ラザルベカラズ

## 京都府

本府出品編物中、夏「シヨール」ニ人造絹絲ヲ應用セシハ外觀美ナリト雖モ實用ニ適セザル缺點アリ其ノ他「テープ」「リボン」等モ普通ノ出品ニシテ優秀ト認メ難シ

## 大阪府

本府ハ莫大小産地トシテ最多額ノ産出アリ其大部分ヲ輸出シ需用頗ル廣ク其ノ特色ハ廉價ナルモノヲ製造スルニ在ルガ如シ



府	縣	出品					擬賞等級				計	出品人員 ニ對スル 擬賞割合	
		點數	人員	一等	二等	三等	四等	計					
鳥島	取根												
岡山	山												
廣島	山口												
徳島	島												
香川	川												
愛媛	媛												
高知	知												
愛知	知												
計		四五五	二二一	三	九	二四	二七	六三	・二九〇				
		五一六	三〇五		二	四	六	一二	・四〇〇				
		二	一五				一		・一〇〇				

五百十

第十章

第三十三類 絲及綿類(蠶絲ヲ除ク)

本類ノ出品ハ總計五百六十八點、人員二百五十三名ニシテ三府二十一縣ニ亘レリ出品點數ノ最多キハ東京府ニシテ愛知縣及神奈川縣之ニ亞ギ岐阜縣及廣島縣ヨリハ稍多數ノ出品アリシモ其ノ他ハ僅少ナ

リ今左ニ各府縣ノ出品ニ就キテ之ガ批評ヲ試ミン

東京府

本府ノ出品ニハ織物用絲、刺繡絲、練絲、絹然絲、毛絲、「カタン」絲、「バテン」絲、亞麻絲、綜統絲、染絲及疊絲等アリ就中絹然絲ハ最多數ニシテ壁襪、諸襪、榻然及榻壁然等ノ種類ヲ含ム而シテ本府ノ出品襪然絲ハ其ノ原質佳良撚合整一ナルモノ多シ久保田襪然工場出品襪然絲ハ機械撚ノモノニシテ稍佳良ナリ、町田徳之助出品刺繡絲ハ原質佳良精練其ノ宜シキヲ得タルモノナリ又藤掛與左衛門出品「バテン」絲ハ其外觀頗ル佳良ニシテ且強度ニ於テモ上位ニアリ其ノ他染絲等注意スベキモノアリ尙然絲ニアリテハ機械應用ノ途ヲ研究シ製品ノ改良ヲ圖ラバ其ノ織物原絲トシテ雷ニ聲價ヲ揚グルノミナラズ織物界ノ改良ニ及ボス影響大ナルモノナレバ當業者ノ考慮ト奮勵トヲ切望シテ止マズ其ノ他ハ批評ノ價値アルモノ尠ナシ

京都府

本府ノ出品ニハ紡績絹絲、綿絲、織物用絲、縫絲、「カタン」絲、「レロス」絲、人造絹絲、金絲、絹絲及結束絲等アリ就中絹絲紡績株式會社出品紡績絹絲ハ其ノ色澤佳良絲筋均一ニシテ賞讚ノ價値アリ其ノ他織物用絲及縫絲ノ如キ稍佳良ノモノアリシト雖特ニ批評スル價値アルモノ尠シ

大阪府

本府ノ出品ニハ縫絲、刺繡絲、撚絲、綿絲、及製綿等アリ、撚絲中ニハ人造絹絲撚絲及絹着撚絲等其ノ製造稍佳良ナルモノアリシト雖概シテ出色ノモノナキハ遺憾ナリ岸和田紡績株式會社出品綿絲ハ稍稱揚スルノ價值アルモノトス其ノ他ハ少數ナルガ故ニ批評ヲ省略ス

神奈川縣

本縣ノ出品ニハ撚絲、一縫絲、刺繡絲、及練絲等アリ就中撚絲最モ多數ヲ占メ壁撚、諸撚、及片撚等ノ種類ヲ含ミ稍見ルベキモノアリ内藤國藏出品組物用、撚絲ハ稍佳良ナルモノナリ尙機械應用ノ途ヲ講シ且精練法ニ就キ研究ヲ致サバ其ノ成功期スベキナリ

兵庫縣

本縣ノ出品ニハ綿絲、「シルケツト」、絁原絲、染絲及防火綿等アリ就中染絲最モ多數ヲ占メ稍々佳良ナルモノアレドモ一般ニ不充分ナル點尠シトセズ尙染料ノ撰擇ニ注意シ其ノ技工ヲ研究スレバ將來有望ノモノトナルベシ鐘淵紡績株式會社出品綿絲ハ其ノ絲筋均一ニシテ強度稍大ナリ今回綿絲出品中ノ優秀ノモノナルベシ其ノ他ハ批評ノ價值アルモノ尠シ

埼玉縣

本縣ノ出品ハ染絲ニシテ其染色稍宜シキヲ得タルモノアリ

群馬縣

本縣ヨリハ絹撚絲ノ出品アリタリ機械撚ナルアリ座繰製ノモノアリ其ノ中多少見ルベキモノアリタリ

栃木縣

本縣ヨリハ絹撚絲ノ出品アリタルモ少數ニシテ評論スルノ資ナシ

奈良縣

本縣ノ出品ニハ緋絲、苧麻絲、及「カタシ」絲ノ出品アリタルモ批評ノ價值アルモノ尠シ

三重縣

本縣ヨリノ出品ニハ綿絲及染絲ノ出品アリタリ三重紡績株式會社出品綿絲ハ兵庫縣鐘淵紡績株式會社出品綿絲ニ亞ギ精巧ナルモノナリ染絲ニ於テモ佳良ナルモノアリタリ

静岡縣

本縣ノ出品ニハ刺繡絲、撚絲、染絲及織物用絲等アリ其ノ中染絲ニ於テ稍注目スベキモノアリタリ

山梨縣

本縣ヨリハ撚絲及染絲ノ出品アリ而シテ染絲ハ其ノ染色ニ於テ佳良ナルモノアリタリ

滋賀縣

本縣ノ出品ニハ刺繡絲、綿絲、染絲及麻絲等アリタレドモ批評ノ價值アルモノ尠シ

岐阜縣

本縣ヨリハ織物用絲、染絲、「カタン」絲、疊絲、及線綿等ノ出品アリ就中疊絲ハ撚合整一、強度モ比較的大ナルモノアリ其ノ他ハ特ニ批評スベキモノ尠シ

富山縣

本縣ヨリハ染絲ノ出品アリタルモ注目スベキモノ尠キヲ遺憾トス

鳥取縣

本縣ヨリハ線綿及挽綿等ノ出品アリタリ其ノ中ニハ製作宜シキヲ得タルモノアリ

岡山縣

本縣ヨリハ練絲、撚絲及綿絲等ノ出品アリタルモ特ニ批評スベキモノ尠シ

廣島縣

本縣ヨリハ撚絲、染絲、緋絲及織物用絲等ノ出品アリタリ就中緋絲ハ最多數ヲ占メ其ノ技術モ亦宜シキヲ得タルモノアリ尙染料ノ撰擇並ニ色染方法ニ注意ヲ拂ハ、緋其モノニ於テモ大ナル進歩アルベシ其ノ他ハ批評ヲ省略ス

山口縣

本縣ノ出品ニハ線綿アリ其製練宜シキヲ得ザルモノ多シ宜シク注意スベシ

和歌山縣

本縣ヨリハ綿絲及撚絲等ノ出品アリタリ和歌山紡績株式會社出品綿絲ハ其ノ強度稍々少ナキ嫌アルモ絲筋均一ニシテ佳良ナリ其ノ他特ニ批評スベキモノナシ

香川縣

本縣ノ出品ニハ綿絲、紵絲及線綿等アルモ特ニ批評スベキモノナキヲ遺憾トス

愛媛縣

本縣出品ノ綿絲ハ松山紡績株式會社ノ製品ニシテ稍佳良ナルモノナリ

高知縣

本縣ヨリハ絹縫絲及實編絲等ノ出品アリタルモ特ニ批評スベキモノ尠シ

愛知縣

本縣ノ出品ニハ絹絲、練絲、織物用絲、撚絲、晒白、柞蠶絲、染柞蠶絲、縫絲、染絲、「カタン」絲、緋絲、玉紡綿絲、毛綿混絲及線綿等アリ帝國撚絲織物株式會社出品生絹撚絲ハ撚合均一ニシテ佳良ナリ特ニ同會社ハ「デニール」ノ夫々一定セル撚絲ヲ市場ニ出シ織物界ニ便宜ヲ與ヘツ、アルハ多トスル處ナリ、一宮絲販賣合名會社出品晒白柞蠶絲ハ光澤稍少ナキモ其晒白宜シキヲ得タルモノナリ  
其他ノ出品ニ就テハ批評ヲ省略ス

今左ニ本類ニ屬スル出品中試験成績表並ニ出品及褒賞統計表ヲ左ニ掲ゲン

染絲試驗成績表

品名	種類	府縣名	市郡町村名	出品人名	湯温	石	澁	擦	口	染色染料
染絲	單絲	東京府	豊多摩郡野穴村	菊岡兼次郎	三	四	三	二	一	藍
紺染絲	撚絲	東京府	黒川町	町田徳之助	一	三	四	二	一	藍
紺染絲	撚絲	東京府	黒川町	神谷市五郎	二	四	三	四	二	藍
紺染綿絲	單絲	兵庫縣	多可郡津波村	來住兼三郎	一	四	四	一	二	硫磺染料
染綿絲	單絲	兵庫縣	多可郡津波村	日野共同染工場	一	四	二	二	二	硫磺染料
紺染綿絲	單絲	兵庫縣	多可郡津波村	森本辰太郎	一	二	二	二	二	硫磺染料
紺染綿絲	單絲	兵庫縣	多可郡比延村	第二多可染工場	三	五	二	二	二	硫磺染料
同	同	同	多可郡中村	中村共同染工場	一	三	二	一	一	同
同	同	同	加西郡北條町	織物同業組合染工場	一	三	一	一	一	同
同	同	同	多可郡津波村	生産購買販賣組合	一	四	一	一	一	同
同	同	同	姫路市伎町	杉浦伊五郎	一	四	一	一	一	同
同	同	同	北足立郡炭町	貫井萬藏	一	一	一	一	一	同
同	同	同	全	野崎岩藏	二	二	一	一	一	同
同	同	同	全	野崎兵衛	二	二	一	一	一	同
同	同	同	全	岡本佐吉	三	二	一	一	一	同

品名	種類	府縣名	市郡町村名	出品人名	湯温	石	澁	擦	口	染色染料
白緋絲	單絲	三重縣	津市古河町	明司染工場	一	四	一	一	一	直接木綿染料
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	伊勢染生産組合	一	一	一	一	一	直接木綿染料
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	花井辰次郎	二	四	一	一	一	藍
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	松下銀重	一	四	一	一	一	藍
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	宮田伊兵衛	一	四	一	一	一	藍
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	白尾金太郎	一	四	一	一	一	藍
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	遠江染色合資會社	二	一	一	一	一	硫磺染料
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	中村佐平	一	四	一	一	一	硫磺染料
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	吉川吉助	一	四	一	一	一	酸性染料
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	會根廣和	一	三	一	一	一	酸性染料
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	清水廣吉	一	三	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	宮下半藏	一	二	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	長谷部俊	一	三	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	渡邊量	一	二	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	高田新	一	一	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	岡崎庄	一	一	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	田中彌七	一	二	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	服部乙吉	一	二	一	一	一	同
緋染絲	單絲	三重縣	津市古河町	若園豐吉	一	三	一	一	一	同



品名	府縣名	市町名	出品人名	仕上	仲度%	強度チンシ	最大強度ト最小強度チンシ
綿糸	愛知縣	横須賀村	山本房吉	左	七・二八	五・五	二・〇
同	同	同	兒玉竹三郎	左	同	同	一・〇
六合子絲	同	常盤田村	岩本常太郎	左	六・二五	同	三・〇
三河木綿緯絲	同	同	野村茂平次	左	七・二八	四・五	二・〇
毛布緯絲	同	同	甲村佐市	左	七・二八	五・〇	二・〇
玉紡絲	同	同	近藤俊次郎	左	同	七・〇	二・〇
紋羽緯絲	同	同	柴田久藏	左	六・二五	八・〇	二・〇
三河木綿緯絲	同	同	中山市太郎	左	七・二八	七・五	五・〇
毛布混絲	同	同	鈴木富三郎	左	四・一五	三・五	三・〇
紋羽緯絲	同	同	杉浦一作	左	五・二一	五・〇	三・〇
油七分絲	同	同	杉本文助	左	六・二五	五・五	三・〇
玉紡絲	同	同	鈴木六三郎	左	五・二一	四・〇	二・〇
毛布緯絲	同	同	加藤角太郎	左	七・二八	五・五	三・〇

「カタン」綿試驗成績表

種	類	縣名	郡村名	出品人名	仕上	仲度%	強度チンシ	最大強度ト最小強度チンシ
船印「カタン」絲		京都府	下長者町	糸田吉藏	上	七・三〇	三七	四・〇
手首印「カタン」絲		同	同	帝國製絲株式會社	上	七・三〇	三七	六・〇
黒染「カタン」絲		愛知縣	真名古屋町	後藤梅太郎	中	七・三〇	三一	八・〇
綿絲絹「カタン」絲		同	駿全河町	安田惣三郎	中	七・三〇	二六	六・〇

綿然絲試驗成績表

種	類	縣名	郡村名	出品人名	仕上	仲度%	強度チンシ	最大強度ト最小強度チンシ
一六番手二本合		岡山縣	大高窪村	倉敷製絲製造株式會社	右	一五・六二	三二	四・〇
一〇番手三本合		愛知縣	東加茂村	榎本辰次郎	右	一一・四六	五一	六・〇
同		同	同	鳥倉本三郎	同	同	三六	一・〇
同		同	同	宮川鏞三郎	同	同	四二	六・〇
同		同	同	市川國吉	同	一〇・二一	三六	四・〇
同		同	同	磯谷嘉之吉	同	九・三五	五四	八・〇
同		同	同	深津佐七	同	八・三三	四七	八・〇
同		同	同	大野惣五郎	右	一四・五八	五一	二・〇
一〇番手四本合		同	同	中根龜太郎	右	一一・四六	六一	六・〇
一〇番手五本合		同	同	同	右	一一・四六	六一	六・〇

疊絲試驗成績表





府縣名	點數	出品				擬賞等級				計	出品人員ニ對スル擬賞割合
		人員	一等	二等	三等	四等	計				
鳥取	二三	一六								二	●二
岡山	三七	三四								二	●二
廣島	三五	一四								一	●一
山口	五六	二五								二	●二
徳島	一六	一九								一	●一
香川	一五	一四								二	●二
愛媛	二五	一四								二	●二
高知	七八	四八								三	●三
愛知	七〇	三八								二	●二
計	五六八	二五三	三一	五	一五	三九	六二			二四	●二

五百二十四

第十一章

第三十四類 各種ノ製造ニ關スル方法成績並ニ特種ノ器具等

本類ヲ分チテ方法成績並特種ノ器具ノ二種ニ分チテ之ヲ審査セリ今其ノ區分ヲ明細ニ表示スレバ左ノ如シ

第三十四類 各種別人員及點數内譯表

府縣名	法方成績	組合成績	染型紙	綜統	杼	箴	特種器具	合	計
東京		二一					三四	一六	三六
京都						四	八	三	一〇
大阪						二		一	三
神奈川						一			一
兵庫				二		二		一	五
新潟						三		一	四
埼玉						六		三	九
群馬									
茨城									
栃木									
奈良									
三重									
静岡			二五					二八	二九
山梨			八〇					五	八
滋賀									
岐阜									
長岐									
計									

五百二十五

府縣名	法方成績	組合成績	染型紙	綜統	杼	篋	特種器具	合	計
福井	一	一		二	四	九		一	四
石川						二		二	五
富山					二			二	〇
鳥取								一	〇
島根									
岡山									
廣島									
山口									
和歌山									
徳島						一			
香川						四		四	七
愛媛									
高知									
愛知	一	三		三	一	九	七	三	三
合計	四	九	二	二	一	四	一	一	〇

其一 方法成績

本種ノ出品ハ組合ノ事業成績其ノ大部分ヲ占メ其ノ他製造方法ニ屬スルモノハ極メテ尠シ然シテ組合

ノ事業成績ニ到リテハ彼ノ重要物産同業組合法ノ下ニ成立チシモノニシテ其ノ成績ハ一ニ同業者ノ協  
同一致換言スレバ公德心ニ基カザルハナシ假令數多ノ法文アリト雖之ヲ活用スルナクンバ何ヲ以テカ  
共同ノ利益ヲ増進スルヲ得ベケンヤ出品中滋賀縣ノ近江麻布ハ其ノ成績ノ顯著ナルヲ認メ優賞ヲ擬シ  
其ノ他愛知縣下ノ組合モ亦成績佳良ナルヲ認メタリシモ一層當業者ノ團結心ヲ強クシ其ノ地方共同ノ  
利益ヲ揚ゲンコトニ百方盡力セラレンコトヲ冀望シテ已マザルナリ

其二 特種器具

本類ニ屬スル主ナルモノハ染型紙、綜統、杼、篋、等ニシテ其ノ他二三ノ器具アリタリト雖出品點數ノ  
最多キヲ箴トス之ガ出品人員四十九人點數壹百貳十九ナリ今順次之ヲ評セン  
染型紙ハ新潟三重ノ二縣ニシテ新潟ハ楯ニ一人二點ノミ敢テ云フベキ程ノモノナシト雖三重ハ本品ノ  
本場トモ云フ可キ白子町ノ出品多數ニ土リ二三佳品ノ稍觀ル可キモノアリタリ然レドモ一般ニ大柄物  
(五丁物)ハ意匠ニ斬新ノ考案ナキニ非ザルモ概シテ彫刻ニ於テ未ダ術ノ極致ニ達セズ之ニ反シテ小紋  
型(二丁物)ハ總シテ彫刻術ニハ稍熟達ノ域ニ進メルモノアリト雖意匠概テ舊套ヲ脱スルヲ得ズ當業者  
ハ今後一層大柄物ニ在リテハ意匠ノ斬新ト共ニ彫技ノ研鑽ヲ圖ル可ク小柄物ハ益々技術ノ練磨ト共ニ  
意匠ノ考案ヲ新ニスルヲ要ス

白子形紙業ノ沿革

其起源詳ナラズト雖足利ノ季世京都ノ公卿萩原中納言白子町ニ流居セシ際富器繪形（人物花鳥ノ形象ヲ彫ミタルモノ）ヲ製作シテ之ヲ鬻ギ以テ糊口ノ扶助トナセシニ始マリ漸次徳川幕府ノ代トナリ禮儀ニ用ヒシ社杯ニ小紋形ヲ染メシモノ出デ來リ其ノ型紙ヲ彫リ漸ク捺染術ノ基礎ヲ拓キタリキ爾來物換リ星遷リ凝リテ友仙染トナリ發シテ中形染ヲ生ジ爲ニ型紙ヲ需用スルコト益々盛ニ朋治ニ到リ愈々盛大トナレルナリ

案ズルニ白子町ニ型紙ノ盛ニナリシハ徳川ノ始メ江戸ニ開府セシ時伊勢商人ノ東京ニ出ヅルモノ多ク即チ今日ノ三井、白木屋等ハ俗ニ白子組ト稱シテ伊勢ヨリノ出身ナリト傳フ、從ツテ當時ノ白子町タル各地ノ貨物ヲ吸集シテ江戸ニ輸送セシ隨一ノ要港ナレバ型紙業モ發達セシナラント考フルモ舊記ノ據ルベキモノナキハ頗ル遺憾トスル所ナリ

白子町	三重縣河藝郡
戶數	一〇三七
人口	五、九三八人
内型紙業	
戶數	二五九
人口	六七七人

綜統ハ東京、京都、大阪、兵庫、新潟、三重、福井、鳥取、愛知ノ三府六縣ニ出品ヲ得タリト雖各府縣多クハ一人乃至三人ニ止マリ點數僅カニ貳拾五點而シテ其種類ハ京都ノ針金綜統及ビ大阪ノ綿布力

織機用ヲ除キテハ新潟福井二縣ノ絹織物用無雙綜統ノ外他ハ皆木綿織物用ニシテ多クハ綜小間ヲ使用セリ一ニ觀ル可キモノ無キニ非ザルモ多クハ綾絲ノ撚方不齊ニシテ原絲並ニ撚度ノ適當ナラザルモノアリ研磨整條ニ意ヲ注ガス細太ノ恰當ヲ得ズ大ニ學理ノ應用ニ待ツテ研究琢磨ノ功ヲ積ム可シ唯吾人ヲシテ意ヲ強カラシメタルハ製作ニ機械力ヲ應用セルモノ稍多キヲ加ヘテ緊結整齊能ク工費ヲ低減セルニアリ

篋ノ出品ハ京都、大阪、兵庫、三重、静岡、岐阜、福井、石川、和歌山、徳島、香川ノ諸府縣ニ於テ各多少ノ出陳ヲ見タリ中ニ就キ京都、大阪、福井ニ一二金篋アレドモ他ハ皆竹篋ニシテ其ノ内京都、福井、石川等ノ縮緬及ビ羽二重用篋ニ於テ稍佳良ノ製品アリ金篋モ亦觀ル可キモノアリ兵庫縣ハ最多ク木綿織物用竹篋ヲ出品セリト雖一二ノ良品ヲ除キテハ多ク價格ノ低廉ヲ競フテ研磨完カラズ編括剛カラズ今後一層ノ奮勵ヲ要ス蓋シ篋ノ良否ハ直ニ織物ノ品位ニ影響ヲ及スコト大ナルモノナレバ綿布用トテ等閑ニ附ス可ラズ殊ニ絹織物用ニ在リテハ注意ト熟練ノ技巧ヲ要ス

杼ノ出品アリタルハ京都、大阪、兵庫、静岡、福井、富山、愛知ノ二府五縣トス近時力織機用ノ杼ハヤ、其製作ニ慣レ大阪府ノ如キ價格ノ低廉ト製品ノ均等ナル點ハ稱ス可シ京都、福井ノ絹織物用ノモノハ稍可ナルガ如キモ致テ進歩ノ蹟ヲ見ズ其ノ他木綿織物用ノ杼ニ到リテハ大ニ製作上研鑽ノ餘地アリト云フベシ



第三十三類

五百三十二

審査官 生絲検査所技師 増田 由之  
同 同 技手 服部 宇左衛門

生絲

本會ニ出品シタル生絲ハ三百七十五點ニシテ三百六拾六名ノ出品ニ係ハレリ而シテ愛知縣ノ六拾壹點ヲ最多トシ岐阜縣ノ四拾六點石川縣ノ三十一點之ニ次ギ大阪府ノ一點廣島縣ノ一點最モ少ナシ從來共進會ニ於ケル生絲一點ノ出品數量ハ二總或ハ三總ノ僅少ニ過ギザリシガ之ヲ改メテ一點一括ニ定メタルハ一段ノ進歩ニシテ今回ヲ以テ嚆矢トナス此ノ如ク數量ヲ増加シタルガ爲メ自ラ小製絲家ノ出品ヲ阻碍シタルノ感アリ

出品生絲ハ優秀ナルモノ甚ダ多キヲ以テ嚴正ナル審査ヲ施シタリ

審査ノ方法ハ肉眼審査器械審査及調査ノ三トス肉眼審査ハ絲質ノ良否及總整理ノ適否ヲ審定シ甚シキ劣等ナルモノヲ除キ他ハ悉ク之ヲ器械審査ニ附シタリ器械審査ハ在横濱農商務省生絲検査所内ニ設備セル検査器械ヲ使用シ再繰織度類節強力仲度ヲ檢シ之ガ優劣ヲ定メタリ而シテ更ニ製産額市價等ヲ審案シ全出品物ヨリ百二十七點ヲ選出シ之ガ擬賞ヲナセリ即チ左表ノ如シ

府縣	出品				計	出品人員 ニ對スル 擬賞割合	摘要
	點數	人員	一等	二等			
東京	九	九			二	二・二	
京都	一五	一五			一	六・〇	
大阪	七	六			一	〇・〇	
神奈川	九	九			五	五・六	
兵庫	三	三			四	四・一	
茨城	一	一			三	六・五	
三重	〇	〇			三	三・三	
静岡	一	一			四	三・七	
山梨	五	五			二	一〇・〇	
滋賀	一	一			三	二・三	
岐阜	三	三			二	二・七	
長野	四	四			三	三・八	
福井	八	八			一	五・〇	
石川	二	二			一	〇・八	
富山	一	一			一	五・〇	
鳥取	一	一			七	七・〇	
計							
							數量不足

五百三十三

府縣	出品				計	出品人員 =對スル 擬賞割合	摘要
	點數	人員	一等	二等			
高根	一〇	一〇	—	—	一〇	五・〇	
岡山	一七	一七	—	—	一七	五・七	
廣島	一	一	—	—	一	〇・〇	
山口	八	八	—	—	八	三・八	
和歌山	六	六	—	—	六	一・七	
徳島	九	九	—	—	九	二・二	
愛媛	一四	一四	—	—	一四	五・七	
高知	二二	二〇	—	—	二二	三・〇	
愛知	六一	五九	—	—	六一	四・六	
計	三九五	三六六	四	一五	二四	八四	一二七
							三・五

備考  
右ノ内群馬縣出品ハ數量不足ナリシ爲メ擬賞ヲナスコト能ハザリシヲ遺憾トス  
即チ總出品人員ニ對スル擬賞數ハ三割五分ニ當リ各府縣中割合ノ最モ多キハ大阪府、山梨縣、廣島縣ノ

十割ニシテ三重縣ノ六割五分岡山縣、愛媛縣ノ五割七分之二次ギ最モ少ナキハ石川縣ノ皆無ナリトス  
次ニ聯合各府縣別ノ概評ヲ下セバ左ノ如シ

東京府 本府ノ出品生絲ハ九點人員九名ナリ其出品ハ概シテ絲色暗褐色ヲ帶ビ光澤少ナク手觸粗硬ニシテ抱合不良ナリ蓋シ原繭ノ不良或ハ製絲用水ノ不適之ガ主要ノ原因ナルベシト雖亦繰絲ノ技術ニ於テ未ダ及バザルモノアルヲ認ム總整理并ニ括造方法ハ概ネ拙ニシ絡交ノ紊亂ヲ來シタルモノカ絲ノ施シ方法ヲ過ルモノ等アリ注意ヲ要ス

京都府 本府ノ出品生絲ハ五點人員五名ナリ出品ハ概シテ絲色絲質共ニ優良ニシテ織度ノ開差甚ダ少カリシハ大ニ誇ルニ足ル又束裝整齊ニシテ賞揚スベキモノ多シト雖一二點絲色黝味ヲ帶ビ手觸軟弱ニ抱合極メテ不良ナルモノ及括造ノ甚ダ拙ナルモノアルヲ認ム

大阪府 本府ノ出品生絲數ハ一點人員一名ナリ絲質品位並ニ束裝ニ於テ特ニ缺點トスベキモノナシト雖織度齊整ヲ缺キ其開差甚ダ大ナリ

神奈川縣 本縣ノ出品生絲ハ七點人員六名ニシテ品質優等ノモノ少シ而シテ總ノ整理方法中絡交ノ紊亂セルモノ絡留力絲ノ施シ方拙ナルモノ多シ括造モ亦拙劣ニシテ總ノ排列齊整ヲ缺ケリ

兵庫縣 本縣ノ出品生絲ハ九點人員九名ナリ其出品ハ絲色稍黝味ヲ帶ビタルモノアリト雖概シテ絲色絲質共ニ優良ナリ總ハ單揚多クシテ再繰優良ナリ絡留ハ共絲ノ折返シ多ク容易ニ切斷スルコト能ハズ括造ハ概ネ重廻シノ折衷造リニシテ佳良ナラズ

群馬縣 本縣ノ出品生絲ハ二拾三點人員二拾三名ナリ出品生絲中絲質優良ナルモノアリト雖概シテ

絲色稍赤味ヲ帶ビ光澤ニ乏シク觸感軟弱ニシテ抱合不良ナルモノ多シ而シテビリ類及小類ノ甚ダ多キモノアルハ繰繰ノ方法ヲ過レルモノナルベシ總ノ整理方法ハ概ネ一定セリ殊ニ絡交ニ綱繰ヲ用キタルモノ多キハ斯業ノ一進歩トシテ賞揚スルニ足ルト雖綱繰絡交器ノ構造ニ缺クル所アルガ爲メ繰崩ヲ生ジ又榨角ニ適當ノ固着ナキ爲メ繰條ノ紊亂ヲ來シタルモノアリ注意ヲ要ス

茨城縣 本縣ノ出品生絲ハ十九點其人員十七名ナリ出品生絲中二三ノ優良品アルノミ他ハ概ネ絲色褐色ヲ帶ビ光澤乏シク手觸粗硬ニシテ抱合不良ナリ而シテ共同組合各社員ノ出品ニ係ルモノニテ其品質雜多ニシテ整理區々ナルハ互ニ競技ノ結果ナルベシト雖宜シク組合間ノ統一ヲ謀リ製品ヲ一定ナラシムルハ現下ノ急務ニ屬ス總ハ單揚ノモノ多ク再繰成績佳良ナリ緒留及力絲ノ施シ方不良ノモノ多シ又括造重廻造リニシテ形態可良ナリトス

三重縣 本縣ノ出品生絲ハ二十點其人員二十名ニシテ出品中光澤ニ富ミ絲質優良ナルモノ多キモ亦暗褐色ヲ帶ビ光澤ニ乏シク手觸粗硬ナルモノアリ強ヒテ絲色ヲ白カラシメントシテ反テ光澤ヲ失シ抱合ヲ害シタルモノ等アリ然レドモ品位成績中織度齊整ニシテ開差少カリシハ賞スベキナリ括造ハ概ネ重廻シナリト雖其技稍拙ナリ而シテ又緒留力絲ノ施シ方不良ノモノ及榨角ニ適度ノ固着ナク繰條ノ紊亂ヲ來セルモノ少カラズ

靜岡縣 本縣ノ出品生絲ハ十三點其人員十二名ニシテ其出品ハ細絲太絲和半ス由來本縣ハ細絲ノ產出

地トシテ其名著ハレタリト雖今回ノ出品中優等品ニ乏シク絲色ハ白クシテ光澤ニ富ミ手觸軟滑ナリシモ毛類ビリ類小類等多ク又繰條ノ細斑少ナカラザリシハ甚ダ遺憾トスル所ナリ總整理ノ方法ハ稍一定シテ完美ナルモノ多キモ榨角ノ固着其適度ヲ過レルモノ多キハ缺點ナリトス

山梨縣 本縣ノ出品生絲ハ五點其人員五名ナリ品質優良ニシテ殊ニ山梨生絲固有ノ光澤ヲシテ益々發揮シタルハ頗ル賞揚スルニ足ルモ中ニ一二黝色ヲ帶ビ稍々光澤ニ乏シキモノヲ存セリ括造亦良好ニシテ一定セルハ本縣ノ大ニ誇示スル所ナルベシ然レドモ尙總ノ整理ニ於テ緒留ノ稍不完全ナルモノ編絲ノ太キニ過ギタルモノ榨角ノ固着適良ナラザルモノ等ノ缺點アルヲ見ル

滋賀縣 本縣出品生絲ハ十三點人員十三名ニシテ其出品ハ概シテ絲色暗褐色ヲ帶ビ光澤ニ乏シク手觸粗硬ニシテ絲質ノ優良ナルモノ少シ又強ヒテ絲色ヲ白カラシメンガ爲メ却テ底黒キ光澤ニ乏シキ軟弱ナル生絲トナシタルガ如キモノアリ此等ハ製絲ノ技術上拙ナルモノト認ム總ノ整理方法ハ概シテ良好ナリト雖編絲ニ絹ノ撚絲ヲ用ヒタルモノ或ハ力絲ノ位置ヲ過リタルモノ榨角ノ固着適良ナラザル爲メニ繰條ノ紊亂ヲ來シタルモノアリ括造方法ハ重廻法ニシテ一定セリト雖其技未ダ完カラズ

岐阜縣 本縣ノ出品生絲ハ四十六點其人員四拾五名ニシテ出品數ノ多キコトハ愛知縣ニ次グリ出品中優良ナルモノ少カラズト雖尙區々ニシテ不同ナルモノ多々アルヲ見ル絲色ハ徒ニ純白ナラシメンコトヲノミ努メ爲メニ絲質ヲ劣等ナラシメタルモノ又抱合ノ不良ナルモノ多ク且大ニ強伸ニ力ヲ減耗シタ



ルモノアリ總整理方法中編絲ニ絹ノ燃絲ヲ用キタルモノ又編絲ノ太キニ過ギタルモノ緒留ノ不完全ナルモノアリ括造ハ重造ニ一定シ山梨縣ニ亞ギ佳良ナリトス

長野縣 本縣出品ノ生絲ハ八點其人八人ニシテ本邦ニ於ケル主産地トシテハ出品數ノ少キノ感アリ且其出品ハ特ニ絲色ヲシテ純白ナラシメンガ爲メ却テ光澤ヲ損ジ手觸ヲ粗軟ナラシメタルノミナラズ器械検査ノ成績ニ於テ強力伸度ヲ傷害シタルハ大ニ注意ヲ加フベキナリ然レドモ細斑、小類等ノ比較的少ナク生絲整理法ノ齊整ニ注意ヲ加ヘタルハ稍斯界上ニ一歩ヲ進メタルモノト謂フベシ但編絲太ク且之ヲ施スノ位置適良ナラザルコト及括造ノ搬造ナルハ速ニ之ヲ改善スルヲ要ス

福井縣 本縣ノ出品生絲ハ二點人員二名ニシテ出品ハ細絲ナリ絲質ハ優良ナルモノニ乏シク絲色底黒ク手觸軟弱ニシテ小類多シト雖織度ハ甚ダ齊整ニシテ開差少キハ本縣出品生絲ノ優秀ナル所トス總整理法ハ拙ニシテ編絲ニ絹ノ燃絲ヲ用ユルモノ又其編絲ヲ施スベキ位置宜シキヲ得ズ之ヲ改メザルベカラズ

石川縣 本縣ノ出品生絲ハ三十一點其人三十一名ニシテ出品ノ多キハ愛知縣、岐阜縣ニ次ギ第三位ニアリト雖品質劣等ナルハ聯合各府縣中其比ヲ見ザルナリ絲色ハ褐色ヲ帶ビ光澤ハ甚ダ乏シ又絲色ノ白キモノアルモ底黒ク或ハ縷ノ内外色澤ヲ異ニセル所謂裏毛ヲ生ジタルモノアリ觸感粗硬ニシテ趣味甚ダ乏シク織度不齊再繰成績宜シカラズ類節又甚ダ多シ括造ハ重廻造ナルモ其技甚ダ拙ナリ束絲方法

亦然リ宜シク繰絲ノ術ヲ進ムルト同時ニ總整理ニ努ムル所アルベシ

富山縣 本縣出品生絲ハ十二點其人十二名ニシテ出品物ハ概シテ絲色黝褐色ニシテ手觸軟弱抱合不良織度甚ダ不齊ニシテ再繰中ノ切斷亦甚ダ多シ加之絡交ハ粗放ニシテ絲條ノ紊亂セルモノ多ク總整理方法良好ナルモノ甚ダ少シ

鳥取縣 本縣ノ出品生絲ハ十四點其人十四名ナリトス出品生絲ハ一般ニ絲色絲質共ニ優良ナリト雖往々純白繰絲ノ傾向アリテ手觸軟弱ノ嫌アリ而シテ再繰中ノ切斷多ク且織度ノ開左稍々多キヲ以テ品位ノ成績不良ナリ

括造法ハ重ネ撮ミ折衷造ナルヲ以テ括頭展開シ易ク外觀ノ美ヲ損スルノミナラズ往々絲條ノ損傷ヲ來スコトアリ宜シク改善スベシ

島根縣 本縣ノ出品生絲ハ十點其人十名ニシテ概ネ品質優良ナリト雖絲色褐色ヲ帶ビ手觸粗硬抱合不良ナルモノアリ品位ノ成績ハ織度稍不齊ナリ括造ハ一般ニ拙ニシテ括頭展開シ取扱上絲條ノ切斷シ易キモノアルハ束絲ト共ニ之ヲ改ムルヲ要ス

岡山縣 本縣ノ出品生絲ハ七點人員七名ニシテ品質品位共ニ優良ノモノ多カリシモ縷ノ整理方法不全ナリ

廣島縣 本縣ノ出品生絲ハ一點一名ニシテ絲色絲質共ニ優良ナリシモ絲色ノ白キニ努メタルノ傾向アリ

リ爲メニ抱合ヲ害シ強伸ニ力ヲ少カラシメ且再線中ノ切斷ヲ多カラシメタリ又總ノ整理方法ハ可良ナラズ宜シク改善スベシ

山口縣 本縣ノ出品生絲ハ八點其人員八名ニシテ絲色絲質共ニ優良ナリトス然ルニ其絲色白キヲ努メ却テ手觸ヲ害シタルノミナラズ再線中切斷數ヲ加ヘ強伸ニ力ヲ減ジタルナリ總整理ノ方法ハ稍可良ナリト雖括造法ハ一般ニ不良ナリ

和歌山縣 本縣ノ出品生絲ハ六點人員六名ニシテ其出品ハ絲色稍暗褐色ヲ帶ビ光澤乏シク手觸粗硬ニシテ抱合ノ不良ナルモノ其多キヲ占メ優良ナルモノ甚ダ少シ總整理ノ方法モ不完全ニシテ稍々見ルベキモノハ僅カニ二三點ニ止マレリ

德島縣 本縣ノ出品點數ハ九點其人員九名ニシテ出品ハ概シテ品質劣等ニシテ見ルベキモノ少シ本縣ハ由來繭質ノ優良ヲ以テ名アルニ係ハラズ斯ノ如ク製品ニ優良ノモノ少ナキハ或ハ繰技ノ未ダ進歩セザルニ依ルカ括造ハ重振折衷造ニシテ浮絲多ク爲メニ絲條ノ切斷シタルモノアリ器械審査成績中再線最モ不良ナリトス

愛媛縣 本縣ノ出品生絲ハ十四點人員十四名ナリ出品ハ絲質優等ノモノ多ク品位ノ成績亦佳良ナルモノ多シ然レドモ生絲整理方法ノ如キハ從來ノ儘ニシテ其進歩ノ跡少キハ甚ダ遺憾ナリトス東絲及括造ノ改善ヲ努ムルコト最モ切要ナリ

高知縣 本縣ノ出品點數ハ二十二點人員二十名ナリ其出品中多クハ共同組合及團體員ノ出品ニ係リ優良ナルモノ少シトス其東裝ハ折返造十點其他ノ東裝ハ重、撮、折衷造ニシテ捻造及括造其他總整理方法ニ於テ其適法ヲ施サザルモノ多キガ爲メ絲條ノ切斷セルモノ少カラズ然レドモ生絲ノ張彈力ニ富ムハ本縣ノ他ニ優越セル所ナリ

愛知縣 本縣ノ出品生絲ハ六十一點其人員五十九名ニシテ聯合府縣中其數最モ多シトス然レドモ其品質區々ニ精粗同一ナラズ概シテ色澤良好ニシテ觸感軟滑絲質ノ優良ナルモノ多シト雖徒ラニ絲色ノ白キニ努メ爲メニ生絲ノ趣味ヲ損傷シ且抱合ヲ害シ絲力ヲ減少シタルハ遺憾ナリトス  
揚返方法ハ單揚ニ係ルモノ大ニ増加シタリト雖緒留力絲ノ施シ方不良ナルモノ多シ括造ハ重廻シニシテ一定セリ唯括而ニ浮絲アルモノ多シ注意ヲ要ス  
更ニ器械審査ノ成績ヲ掲ゲ其詳細ヲ示セバ左ノ如シ

府縣名	絲別點數	再線中切斷數			織度平均	織度ノ開差			類	節	強力	伸度
		平均	最多	最少		平均	最多	最少				
東京	細	10	15	5	146	150	135	大	小	520	110	
太	中	8	12	4	146	150	135	大	小	520	110	

滋賀	山梨	静岡	愛知	三重	茨城
中細	太中細	太中細	特太中細	太中細	太中細
二	五	六	四	八	三
二	一	一	四	一	三
三	三	三	六	四	五
三			二	一	一
一三、三五	一四、八一	一四、七八	一七、七六	一五、一一	一四、五九
六五〇	二、七〇	二、七二	三、五八	二、三八	二、五八
六五〇	三、五〇	三、五〇	四、五〇	三、五〇	四、〇〇
六五〇	一、五〇	一、〇五	一、七五	一、三五	一、五〇
二			一	二	一
一八七	一五六	一九五	一八三	一三四	二〇四
四四〇	五三六	五〇七	六二〇	五三九	五二五
二、一〇	二、一六	二、三五	二、一八	二、三四	二、二二

五百四十三

群馬	兵庫	神奈川	大阪	京都	府縣名
太中細	太中細	特太中細	太中細	太中細	絲別點數
	八	三	一	三	再繰中切斷數
	一	一	一	三	平均
	二	二	一	二	最多
	一	一	一	一	最少
	一四、九五	一七、六二	一五、〇六	一五、六六	織度平均
	二、八一	二、九三	四、三三	二、五〇	平均
	四、三三	三、五〇	四、三五	三、〇〇	最多
	二、〇〇	二、五〇	四、三五	二、〇〇	最少
	一	一		一	大類
	一八八	三二七	二六	一五	小類
	五、三五	六、五三	五、六〇	五、五〇	強力
	二、二四	二、二七	二、一〇	二、三〇	伸度

五百四十二

	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	富山
細	太中細	太中細	太中細	太中細	太中細	太中
	八	一	七	八	三	三
	一	三	三	一	二	五
	四	三	九	三	四	九
		三			一	〇
	一五〇八	一三〇九	一四九五	一四八四	一四八一	一五三六
	二五〇〇	二〇〇〇	二二五五	二八一	二七五	二二五
	四五〇〇	二〇〇〇	二七五	四三五	四二五	二五〇〇
	一五〇〇	二〇〇〇	一七五	一〇〇	一三五	二〇〇〇
	一		一	一	一	一
	一七三	二六八	一八七	一五五	一八九	二六八
	五〇九	四四〇	五三〇	五三六	五二一	四五七
	二二五	二〇〇	二一九	二二五	二二〇	二〇八

五百四十五

	石川	福井	長野	岐阜	滋賀	府縣名
細	特大	太中細	太中細	特大	太	絲別
四	一七二二二一	一一一	六	一五八三	二二	點數
六	二四七四	一一一	一	一一二五	三	再繰中切斷數
七	四〇七四	一一一	三	一三四二	五	平均最多最少
五	一六四	一一一				織度平均
一〇	一七八四	一三〇	一四三九	一〇一六	一五二	平均
三	四〇三	一七五	三〇〇	一〇三五	二九〇	織度ノ開差
五	八七五	一七五	四〇〇	一〇三五	五〇〇	最多
三	一七五	一七五	一三五	一〇三五	一五〇	最少
三	一	二	一	三	一	大
二	一九三	二七三	三六	三三	二〇三	小
四	六四五	四七〇	四八七	一一〇	五三八	強力
一〇	二二五	二一〇	三〇七	三二〇	二二〇	伸度

五百四十四

府縣名	和歌山			徳島			愛媛			高知			合計及平均
	太	中	細	太	中	細	太	中	細	太	中	細	
糸別點數	六			一	七		二	三		二	〇	一	三
再線中切斷數													
平均	三			一	三		一	四		三	二	三	三
最多	三			一	七		四	一〇		五	七	三	四
最少										一		三	一
織度平均	一四三・五			一七三・五	一五〇・九		一五四・八	一二七・三		三〇・六	一五・〇	一三・八	一〇・三
平均	二・八三			一・三五	二・七一		二・八三	一・五〇		三・七〇	二・七五	三・五〇	二・二六
最多	三・七五			一・三五	四・五〇		四・〇〇	二・〇〇		五・〇〇	六・〇〇	三・五〇	五・〇〇
最少	一・七五			一・三五	一・〇〇		一・〇〇	〇・七五		二・〇〇	一・五〇	三・五〇	〇・七五
類	大			二	一		一	一		一	一	一	一
節	小			一	一		一	一		一	一	一	一
強力	五・五			六・〇	五・四		五・八	四・三		八・七〇	五・九	五・四〇	三・六五
伸度	二・三			三・〇	二・四		三・三	二・〇		二・三	二・九	二・一〇	二・〇三

五百四十六

特太	三七	三	六	一	一八九六	三八九	一三五	一三五	一	二二六	七二・二	二二
----	----	---	---	---	------	-----	-----	-----	---	-----	------	----

総整理ハ製絲ノ末技トナシ之ヲ願ルモノ少キガ如シ故ニ其成績佳良ナラズ整理ノ缺點要項ヲ列記セバ  
 緒留移動シ易キモノ  
 鬆緊ノ緩キモノ

- 緒留絲ノ絲條多キ(又ハ少キ)ニ過ルモノ
- 鬆絲ノ緒口ヲ被覆セルモノ
- 緒留力絲ノ位置不良ノモノ
- 緒口ノ絲條亂シタルモノ
- 緒留割ノ少キモノ
- 括周圍ニ浮絲アルモノ
- 枠角固着甚シキモノ
- 括頭部ノ展開セルモノ
- 括頭部ノ展開セルモノ
- 絡交ノ不充分ナルモノ



種別	縣別																
	大	神	兵	群	茨	三	愛	靜	山	滋	岐	長	福	石	富	鳥	島
密査	一	七	九	三	二	〇	六	一	三	五	四	八	二	三	二	一	〇
重子廻	一	三	一	一	七	四	五	九	八	一	二	一	二	九	一	八	一
撮	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
折返	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
重子撮	六	四	一	一	六	四	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一
括力周	一	四	一	一	三	一	一	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一
括面浮	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
括頭展	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
括糸位	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
結口	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

五百五十

種別	縣別																
	大	神	兵	群	茨	三	愛	靜	山	滋	岐	長	福	石	富	鳥	島
密査	一	七	九	三	二	〇	六	一	三	五	四	八	二	三	二	一	〇
重子廻	一	三	一	一	七	四	五	九	八	一	二	一	二	九	一	八	一
撮	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
折返	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
重子撮	六	四	一	一	六	四	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一
括力周	一	四	一	一	三	一	一	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一
括面浮	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
括頭展	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
括糸位	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
結口	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

已上ノ審査成績ニ考ヘ左ニ將來ニ於ケル希望ノ概要ヲ序説スベシ  
 色澤 元來色澤ハ生絲ノ品質ヲ標榜シ美觀ヲ附與スベキ要素ナルヲ以テ線絲ニ際シ原繭固有ノ美質ヲ  
 發揮セシメ加フルニ原繭中ニ含有セル膠質ヲ以テ互ニ纖維ヲ抱合癒着セシメ線質ヲシテ強韌ナラシム  
 ルヲ緊要ナリトス故ニ徒ラニ線色ヲ白カラシメントセバ自ラ膠質ヲ失シ抱合力ヲ緩メ生絲ノ強力ヲ減  
 耗スベシ然ルニ今回ノ出品生絲ハ一般ニ優良ナル原料繭ヲ使用シタルニ係ラズ線色ノ白キニ努メタル  
 ガ爲メ抱合ヲ害シ強力ヲ薄弱ナラシメタル傾向アリ宜シク線質ヲ脆弱ナラシメザルヲ度トシ色合ヲ恰  
 適ナラシムベシ  
 絲質 已ニ達練ノ技ヲ以テ線製ニ勉ムルモ原繭良好ナラザレバ遂ニ優良ナル生絲ヲ製出スル能ハザル  
 ハ勿論ナリト雖モ生絲ハ器械方ヲ藉ルモノ少クシテ工女ノ指頭働作ニ俟ツモノ多キヲ以テ其技術ノ練

五百五十一

磨ニ依頼スル所アルハ明カナリ

今ヤ生絲ノ需要者タル機業家ノ状態ハ力織機ヲ用ユルモノ多キヲ加ヘ生産力ノ増進ヲ計リ且精巧ノ織物ヲ産出センコト努ムルニ至レルヲ以テ自ラ強靱精緻ナル生絲ヲ供給セザルベカラズ是ヲ以テ原繭ノ選定ハ乾燥貯藏并ニ煮繭繰絲ニ注意シ光澤豊美ニシテ緊堅、強力強靱ナル生絲ヲ繰製スルニ努ムルコト肝要ナルベシ

今回出品生絲中絲質ノ優秀ナルモノハ愛媛、山梨、島根ノ各縣ニ多キヲ見タリ

總整理 生絲整理ノ目的タルヤ其取扱上ノ便益及ビ状態ノ善美ヲ完整セシメンガ爲メニシテ其整理ノ適否ハ諸多ノ作業上ニ利害ノ關係ヲ及スモノ少シトセズ故ニ生絲整理ノ完整セルモノハ其弊價ヲ昂進スルコトアルモ往々之ヲ末葉視シ省ルモノ少キハ遺憾ナリトス

今茲ニ總整理上必要ナル項目ニ就キ其一斑ヲ述ブベシ

絡交 絡交ハ絲條ノ乾燥ヲ速カナラシメ束裝ヲ容易ニナシ且運搬取扱上ニ於テ絲條ノ紛亂錯綜ノ憂ヲ除キ再繰ノ工程ヲ容易ナラシムルニアリ故ニ總絲ノ排列秩序正シク均一ノ角度ヲ以テ一定總巾中ニ儼ヒ絲條ヲ交叉セシメザルベカラズ

其割合ハ巾二寸五分長四尺九寸五分ノ總ニ對シ絡交桿ノ一往復ニ對シ大枠ノ回轉數一回五分乃至一回七分以内ヲ最良トス

近時米國綾ト稱シ網綾ヲ用ユルモノアリ是レ揚返中總ノ乾燥速ニシテ再繰上ノ作業比較的容易ナリ然レドモ若シ器械ノ粗造ナルカ又ハ取扱上ニ不注意アルトキハ絡交亂レテ却ツテ總ノ外觀ヲ損スルモノナリ其割合ハ大枠ノ回轉數二十八回ニ對シ絡交桿ノ往復十七回ヲ以テ最モ適當ナリトス

絡交ノ良好ナルモノハ愛媛、神奈川、長野、島根ノ出品ニ其多キヲ見タリ

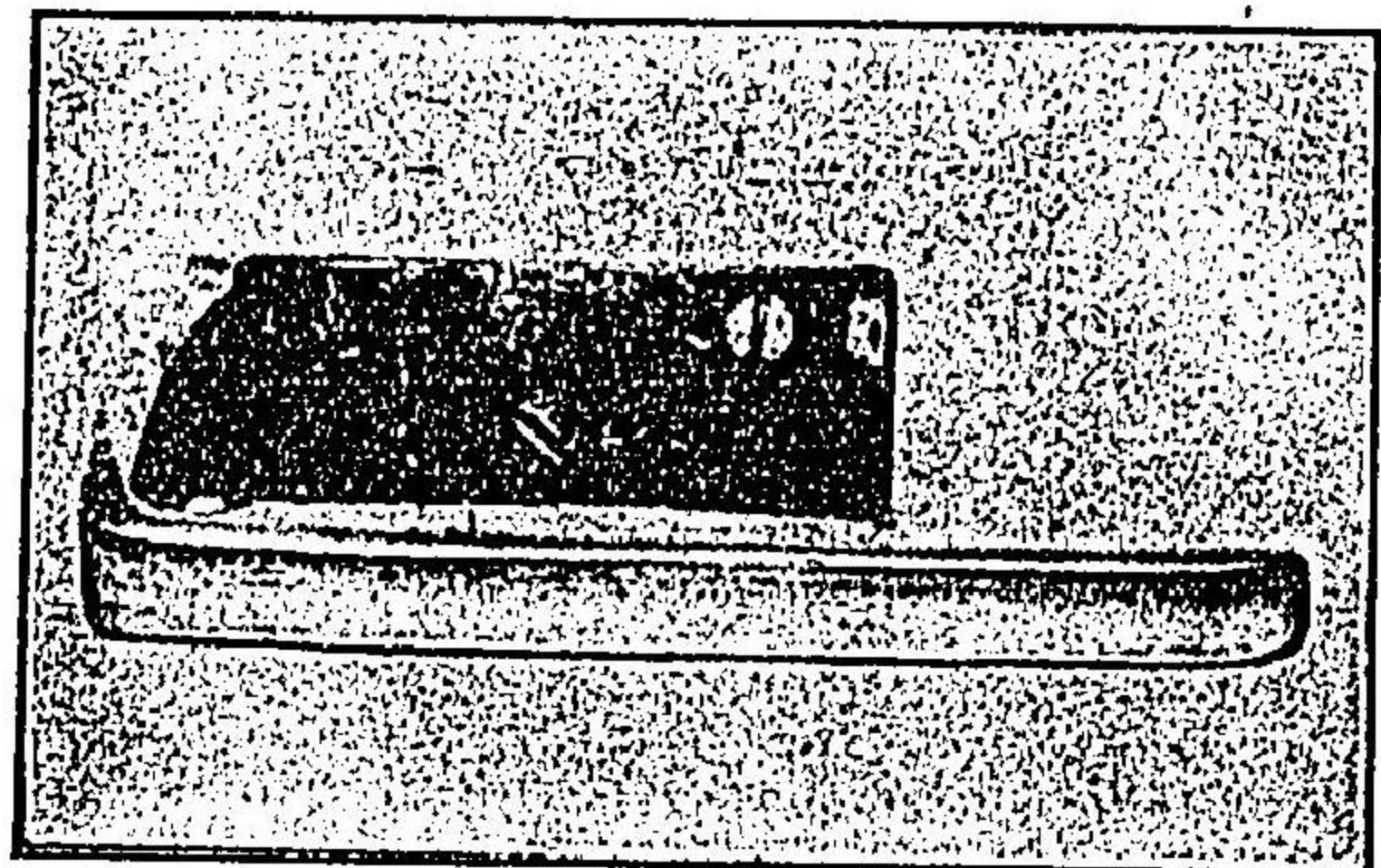
枠角 枠角固着セバ再繰中切斷ヲ生ジ易キヲ以テ之ヲ少カラシメザルベカラズ然レドモ亦極端ニ之レ無キトキハ編絲ノ施シアルモノト雖取扱上絲條ノ紊亂ヲ來スモノナリ故ニ枠角ノ固着緊緩其適度ニ保タシムルヲ要ス

緒留 緒留ハ之ヲ施スコト簡易ニシテ生絲再繰ニ際シ其紊亂ヲ容易ナラシムルヲ以テ主要トス即方法ハ種々アリト雖其最良ノ方法ハ上緒ヲ折返シテ約十本トナシ少シク撚ヲ施シ下緒ヲ合シテ總巾ノ二分ノ一ヲ割リテ之ヲ留ムルカ又ハ輪留トナシ別ニ編絲ヲ編ミ込ミ其移動ヲ防グベシ尙各縣出品生絲ノ緒留及其位置不適當ナルモノ多シ

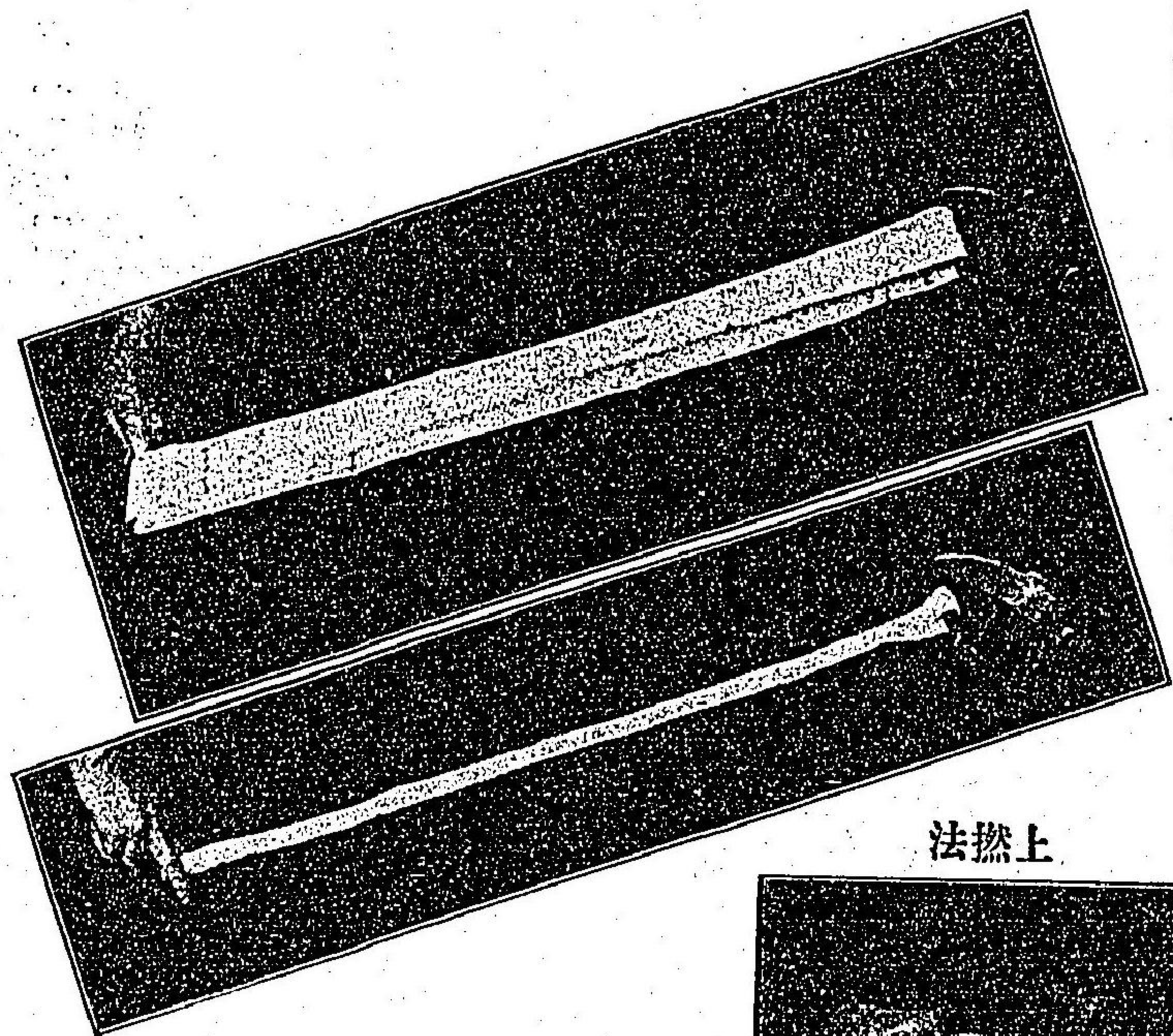
編絲 編絲ハ總ノ形態ヲ保チ其紊亂ヲ防グガ爲メニ之ヲ施スモノナルヲ以テ特ニ絹ノ撚絲又ハ染色絲等其他太絲ヲ使用スルノ必要ナキノミナラズ之ガ爲メニ生絲ヲ汚染シ或ハ編絲ノ大ナルモノハ之ヲ切斷スルノ際往々生絲ヲ損傷スルノ虞アリ編絲ハ四十二番手晒双子絲ヲ用ヒ總ノ二ヶ所ニ枠角ヨリ一寸隔リタル所ニ相對シテ施スヲ以テ可トス



東裝 生絲ノ光澤ヲ發揮セシメ且運搬取扱上ノ利便ヲ得ルニハ結束スルヲ要ス即チ總ノ大小ニ依リ適  
 當ノ撚ヲ施シ捻造トナシ三十捻ヲ集メ之ヲ括詰メトナスベシ括詰ハ重子廻造トナスヲ最モ適當ナリト  
 ス括絲ハ無撚ノモノ可ナリ  
 今回出品府縣中括造ノ優良ナリシハ山梨縣ナリトス  
 左ニ編絲緒留ノ位置及其施シ方標準捻絲括造ノ寫真圖ヲ示シ參考ニ資ス

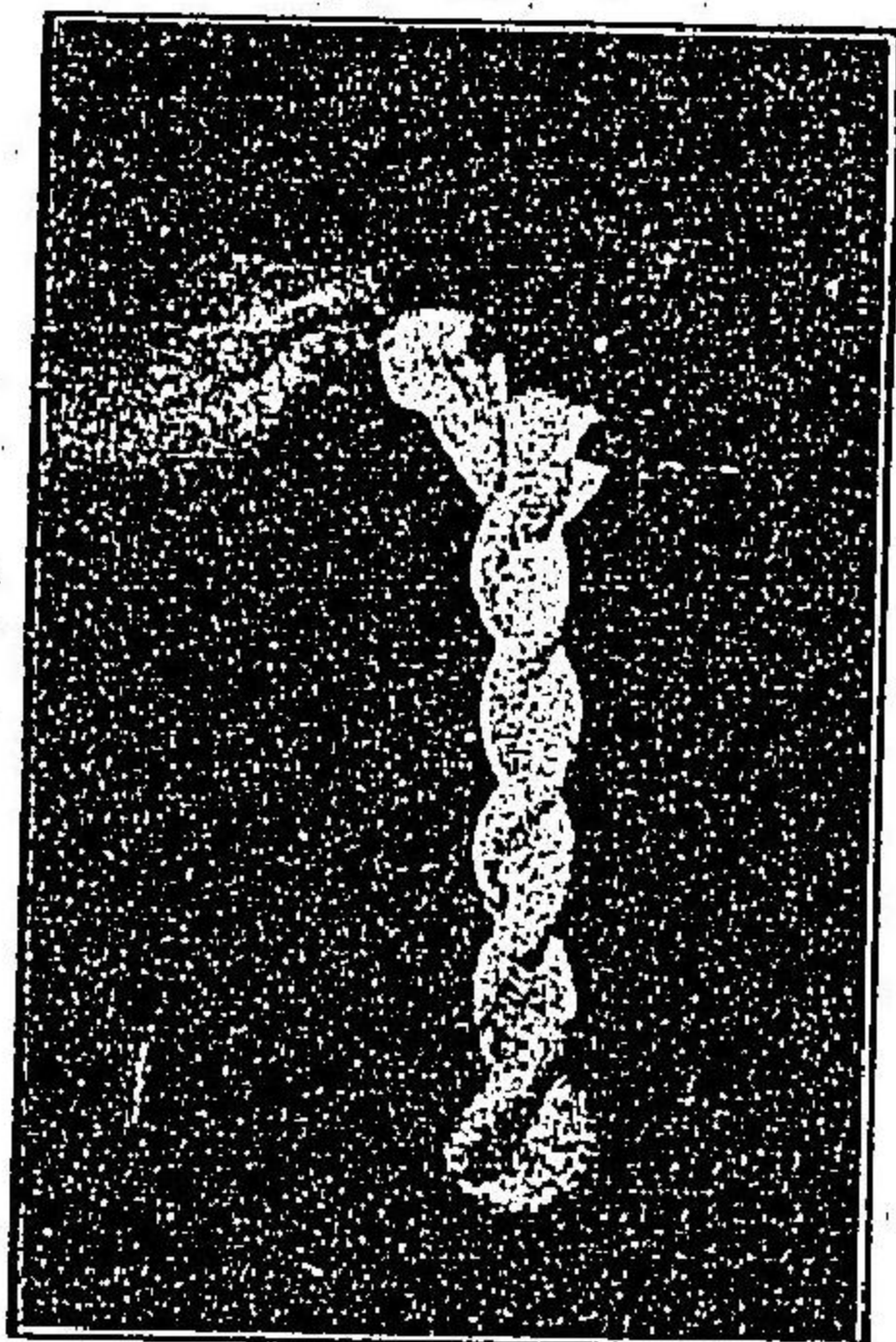


溝鈎總揃法

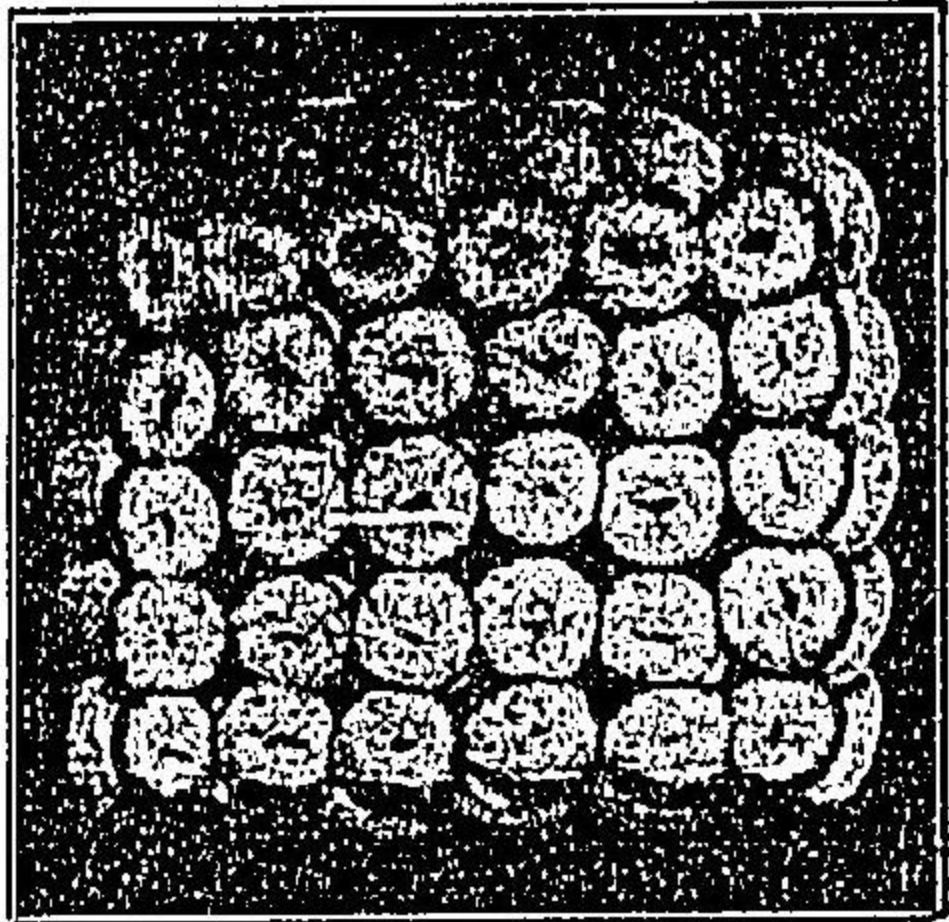


下撚法

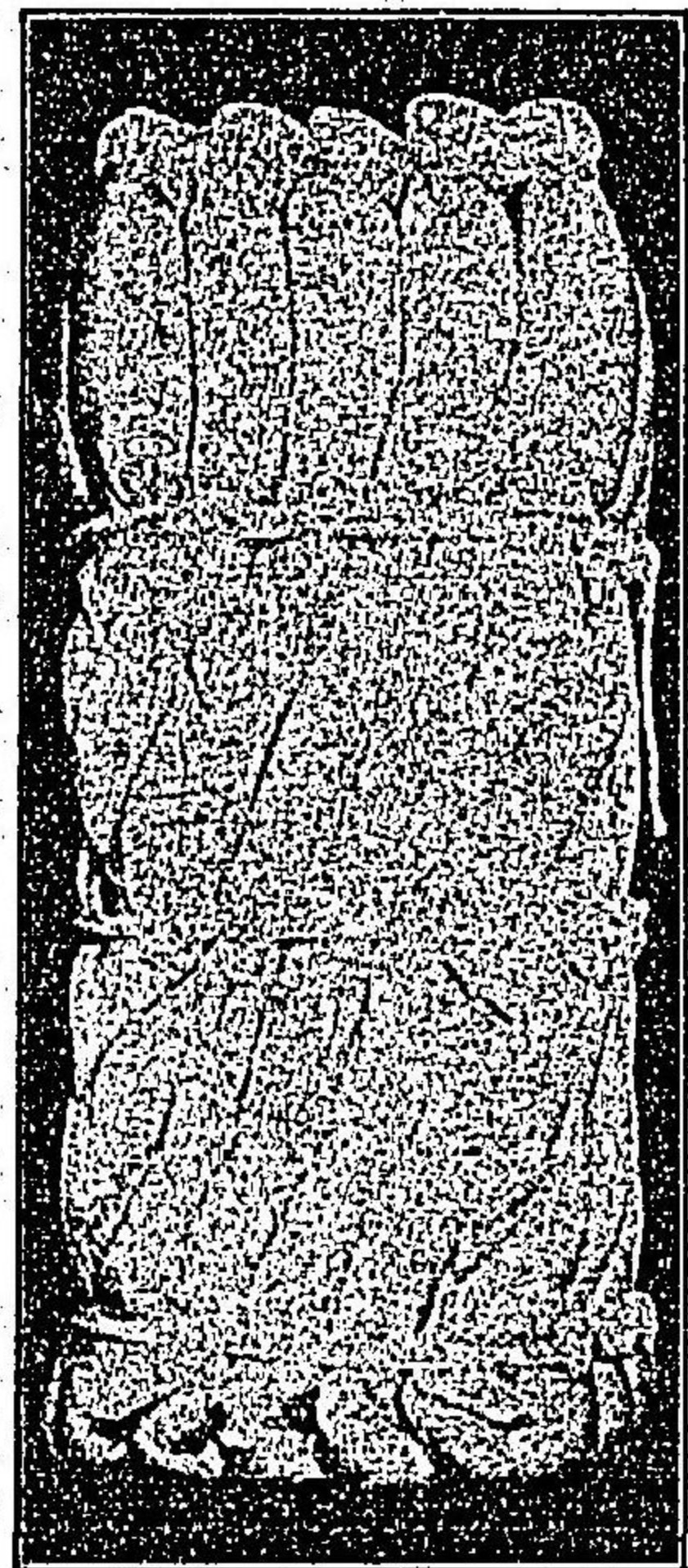
法撚上



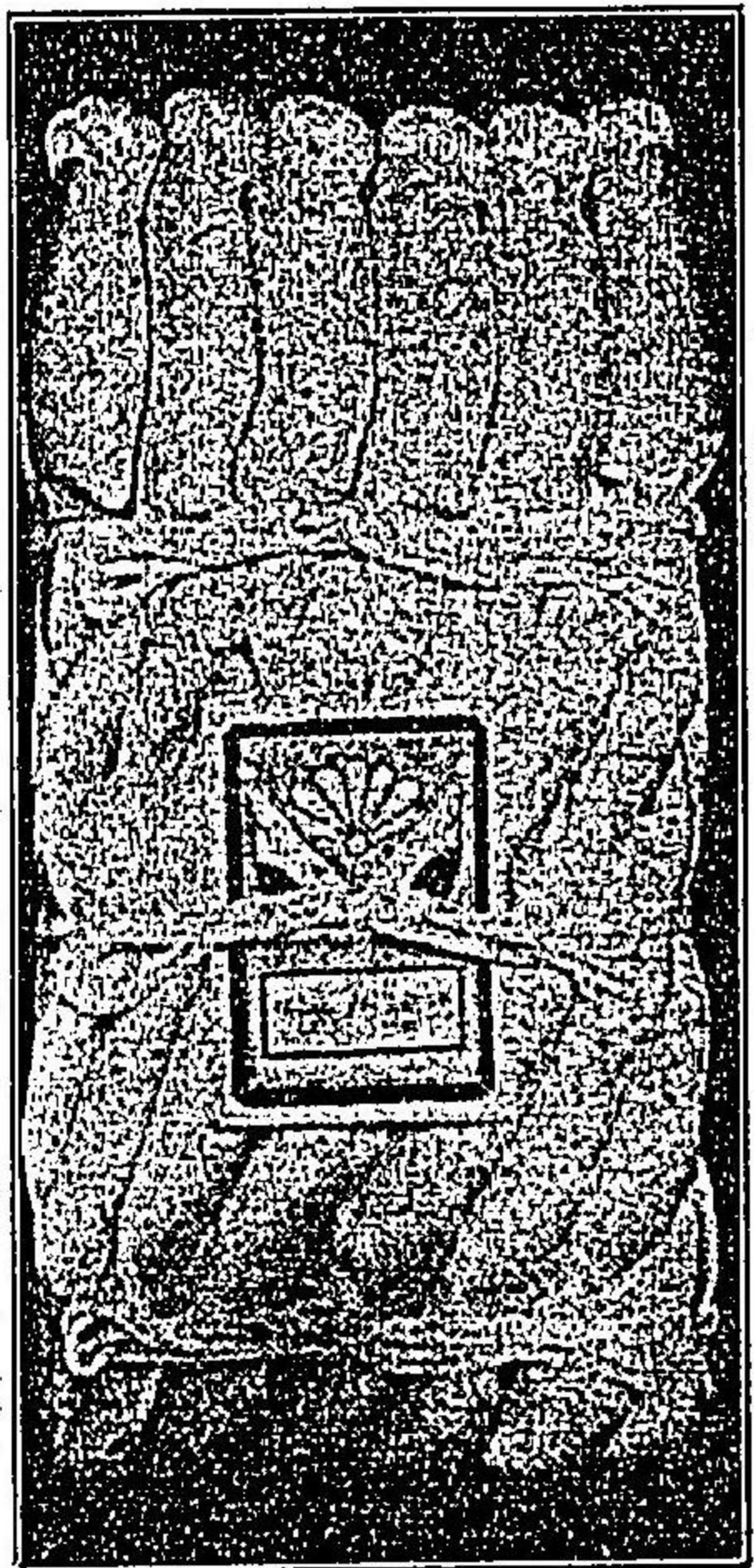
造シ廻ネ重  
部 頤 括



面 表 括



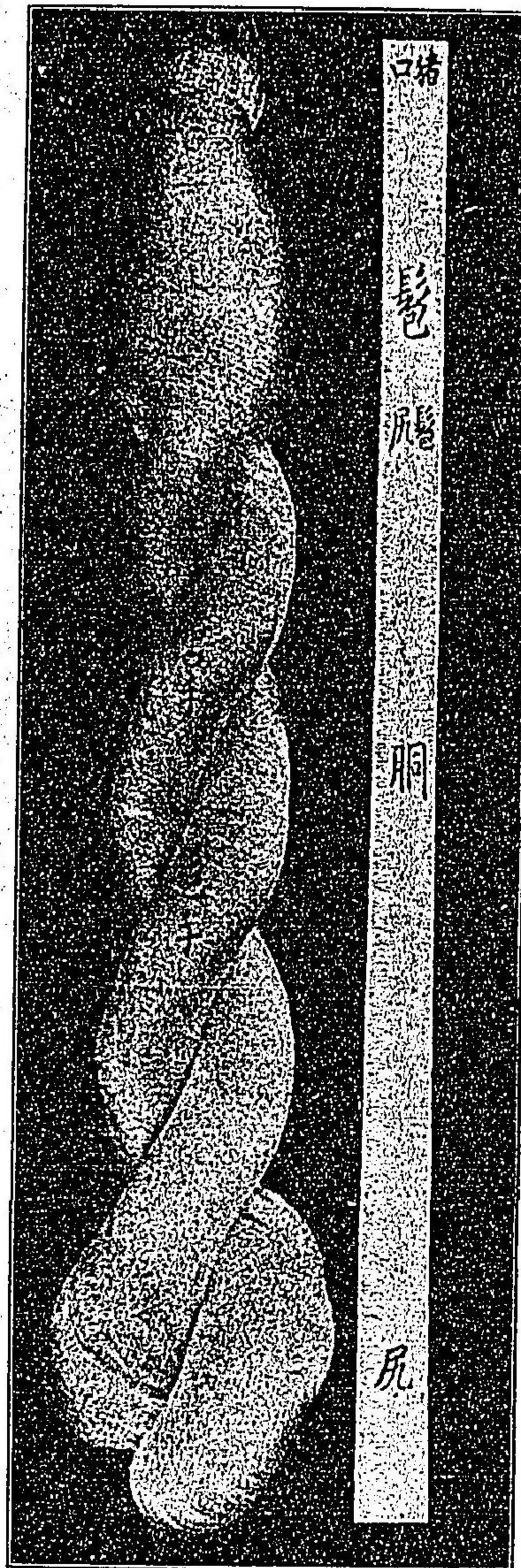
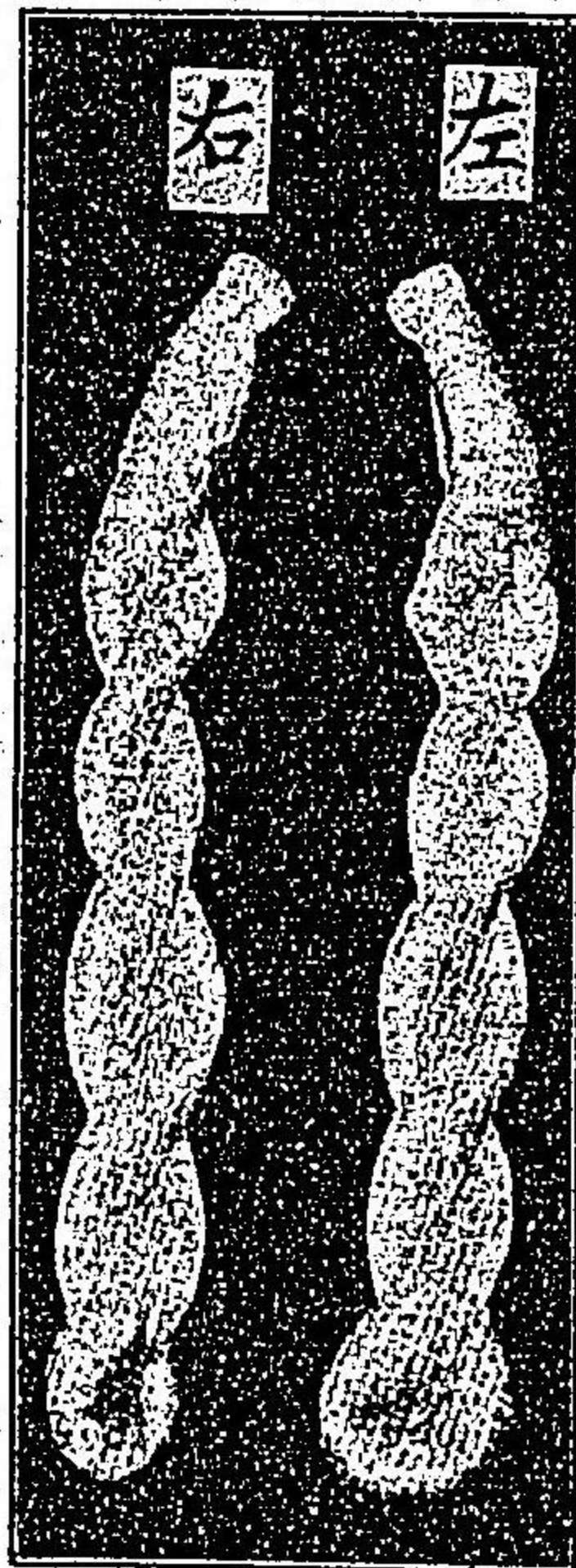
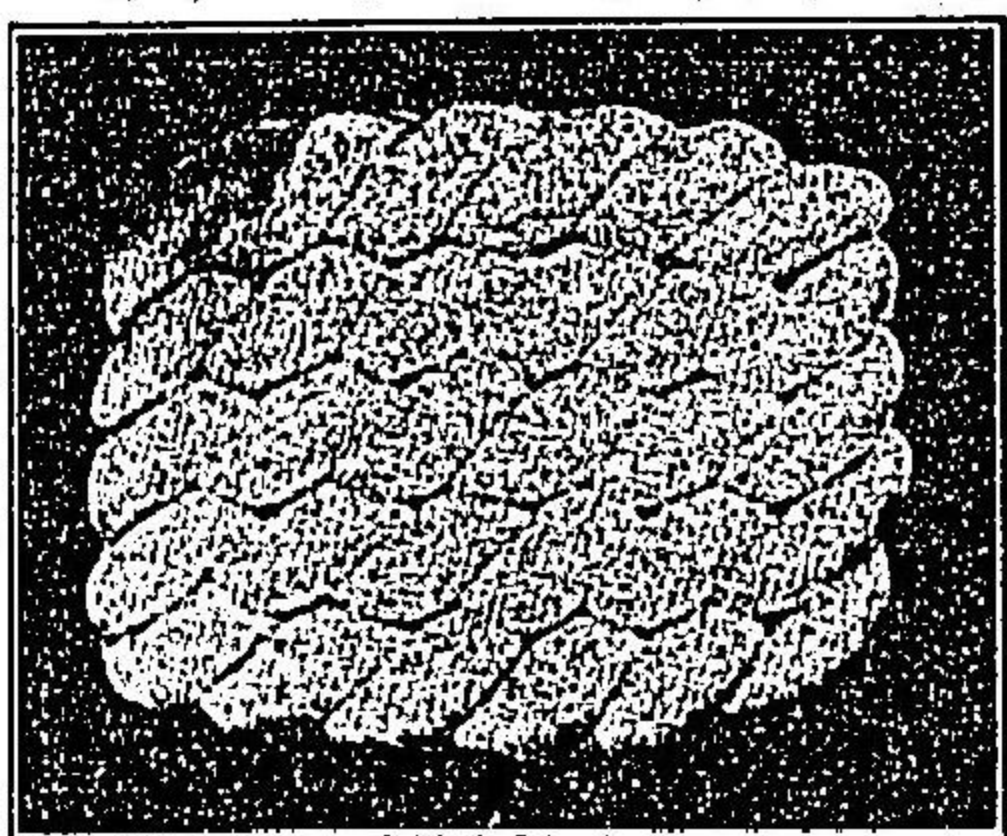
括 右 側



括 左 側



尻 括



捻造絲各部名稱

總量及總長 總ノ絲量ハ十八匁前後ノ單總ニシテ其長サ四尺九寸五分前後ヲ以テ最モ取扱上適當ノモ  
トス

再繰 抑生絲ノ織物原料トシテ消費セラル、ニハ先ヅ再繰ノ工程ヲ經ザルベカラズ再繰中切斷ノ多寡  
ハ直接此工程ノ難易ニ影響スルモノニシテ職工賃金ノ不廉ナル米國等ニ於テハ其經濟上殊ニ甚ダシキ  
ヲ見ル而シテ之ガ原因ハ要スルニ絡交ノ粗鬆桿角及總ノ糊着織度不齊即チ細斑傷絲等ヨリ來ルモノナ  
ルヲ以テ宜シク再繰中ノ其切斷ヲ少カラシメンコトヲ努ムベシ

織度 生絲ハ其需要ノ目的ニヨリ先ヅ始メニ於テ自己ノ太サト其齊否ノ度合トヲ表證シ目的織物ノ織  
度ノ細太ヲ整ヘシメザルベカラズ此標的織度ニ均似セル生絲ヲ繰製セバ其需要ニ好適セルモノト謂フ  
ベシ而シテ目的織度ト檢定織度トノ開差ハ平均六分七厘ニシテ其最モ多キハ四デニール七分ニ及ブモ  
ノアリ

抑目的織度並ニ細太ノ開差ノ多寡ハ其商取引ニ利害ノ影響ヲ與フルモノ實ニ甚大ナルモノニシテ今回  
出品生絲ノ目的織度ノ調節ヲ過リタルハ一大恨事トナスベシ生絲ハ數類ノ繭絲ノ異リタル織絲ヲ添接  
綜合シ一條ノ絲縷トナスヲ以テ之ガ均齊ヲ謀ルコトハ甚ダ難事ナリト雖原繭ノ選別ト繰絲ノ技術ニ注  
意ヲ加ヘ以テ機織ノ好原料ヲ供給スベキアリ

左ニ目的織度ト密查織度トノ開差ノ多寡ニ府縣別ヲテ表示ス

府縣名	平均	最多	最少
東京	1.15	1.45	0.75
京都	1.75	1.75	0.75
大阪	1.35	1.00	0.50
兵庫	1.75	1.60	0.50
茨城	1.55	1.90	0.50
三重	1.65	1.30	0.50
靜岡	1.46	1.20	0.50
山梨	1.25	1.35	0.50
滋賀	1.60	1.55	0.50
岐阜	1.80	1.40	0.50
長野	1.25	1.00	0.50
福井	1.40	1.75	0.75
石川	1.40	1.70	0.70
富山	1.21	1.55	0.68
鳥取	1.55	1.95	0.67
島根	1.45	1.67	0.67
岡山	1.80	1.60	0.90
廣島	1.90	1.90	0.90
山口	1.90	2.15	0.90
和歌山	1.35	1.95	0.90
徳島	1.70	1.65	0.90
愛媛	1.70	1.65	0.90
高知	1.05	1.95	0.90
愛知	1.50	1.90	0.90
總平均	1.85	1.70	0.75

類節 類節多キ生絲ハ織物ノ品質ヲ損傷スルモノニシテ又強伸力ヲ減損シ且切斷ヲ多カラシムルモノナレバ原料繭ノ選別煮繭線ニ注意シ勉メテ之ヲ寡ナカラシムルヲ要ス出品生絲中類節ノ最モ少キハ大阪府三重縣ニシテ其最モ多キハ東京及富山縣ナリトス

強伸及伸度 生絲ノ強力及伸度ノ多寡ハ織物ノ良否生産ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナリ今回ノ

出品物ハ伸度稍々優良ナリト雖強力ハ概シテ劣レリ是レ優良ナル原料繭ヲ用ヒタルニ係ラズ特ニ綠色ノ強白ニ努メタルノ結果其抱合力ヲ弱メタルニ依ルベシ宜シク注意スベシ

出品生絹中強伸二力ニ富メルハ神奈川高知ニシテ其最モ少キハ廣島長野ノ二縣ナリトス

第三十三類

審査官 生絲検査所技師 増田 由之  
 同 同 技手 服部 宇左衛門

玉絲及天蠶柞蠶絲

今回出品ニ係ル玉絲及天蠶柞蠶ハ聯合府縣中二府十縣ニシテ總計八十點人員七十七名ナリトス而シテ其出品點數ノ最モ多キハ愛知縣ニシテ山梨縣之ニ次ギ東京府京都府兵庫縣滋賀縣富山縣ノ各一點最モ少シ

今府縣別ニ依リ出品種類ヲ表示スレバ左ノ如シ

府縣名	玉絲	天蠶絲	柞蠶絲	合計點數	出品人員
東京	—	—	—	—	—
京都	—	—	—	—	—
兵庫	—	—	—	—	—